

山梨県保険者協議会 医療費・健診データ分析
(令和4年度データ分析)

令和7年3月
山梨県保険者協議会

目 次

◆分析の目的及び内容	1
I 医療費統計（協会けんぽ・国保・後期高齢者）	
1 制度別年齢階層別加入者数・割合	2
2 制度別年齢階層別受診率（入院・入院外・歯科）	5
3 1人当たり医療費（入院・入院外・歯科）	
(1) 制度別年齢階層別1人当たり医療費	7
(2) 市町村別制度別1人当たり医療費	9
4 疾病別医療費	
(1) 制度別疾病別医療費割合・1人当たり医療費（大分類）	10
(2) 市町村別疾病別医療費（大分類）	12
II 特定健康診査（協会けんぽ・国保）	
1 受診率	
(1) 制度別受診率の推移	17
(2) 【国保】性別年齢階層別受診率	17
(3) 市町村別制度別受診率	18
2 メタボリックシンドローム該当者・予備群の人数、割合	20
3 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（肥満リスク）	22
4 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（血圧リスク）	24
5 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（血糖リスク）	26
6 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（脂質リスク）	28
7 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（喫煙）	30
8 市町村別生活習慣病リスク保有者の割合	
(1) メタボリックシンドローム該当者・予備群	32
(2) 肥満リスク	34
(3) 血圧リスク	36
(4) 血糖リスク	38
(5) 脂質リスク	40
(6) 喫煙	42
◆まとめ	44
【参考資料】	
・KDBシステムに関する補足資料：疾病大・中・最小分類表	46

◆分析の目的及び方法

1 目的

医療保険制度の枠組みを超えて、医療費や特定健診結果の分析を行うことにより、山梨県における現状や課題を明らかにし、県の「医療費適正化計画」や「医療計画」、「健やか山梨21」に示された目標の達成に寄与するとともに、保険者協議会としての意見提出を行う参考資料とする。

また、保険者協議会として共同で取り組む事業及び各医療保険者における保健事業の企画・実施にあたっての資料とする。

2 方法

(1) 使用データ

次の県内医療保険者における令和4年度のデータを使用した。

- ・全国健康保険協会（協会けんぽ）山梨県支部
- ・山梨県内27市町村国保保険者（国保組合は除く）
- ・山梨県後期高齢者医療広域連合

(2) 集計方法

- ・山梨県内27市町村国保保険者及び山梨県後期高齢者医療広域連合に関するデータは、国保データベースシステム（KDBシステム）を使用し、国保連合会において作成した。
- ・全国健康保険協会（協会けんぽ）山梨県支部のデータは、山梨県支部において作成した。
- ・国保連合会において、上記のデータ（個人情報を含まない）を集計し、グラフ、考察等を作成した。

3 留意点

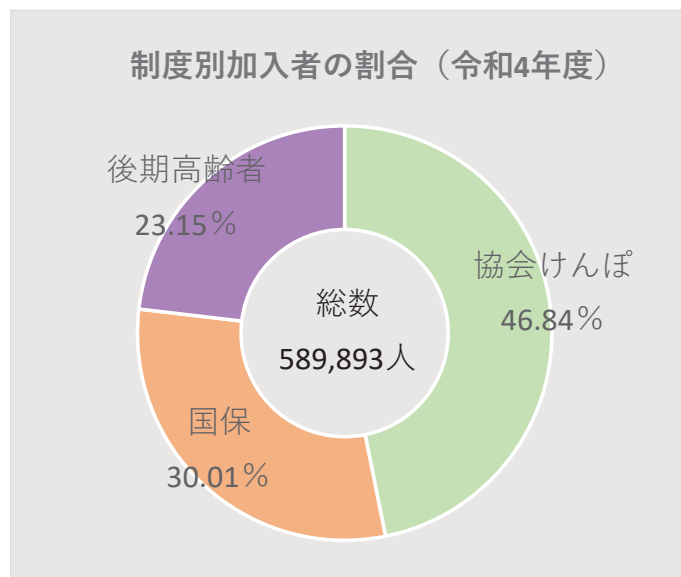
- ・本データは、年齢調整を行っていないため、保険者比較において、一般的に、高齢者が多い保険者は疾病割合や有所見者割合が高くなる傾向がある。
- ・全国データとの比較は、NDBデータを参照する。

1 医療費統計(協会けんぽ・国保・後期高齢者)

1 制度別年齢階層別加入者数・割合

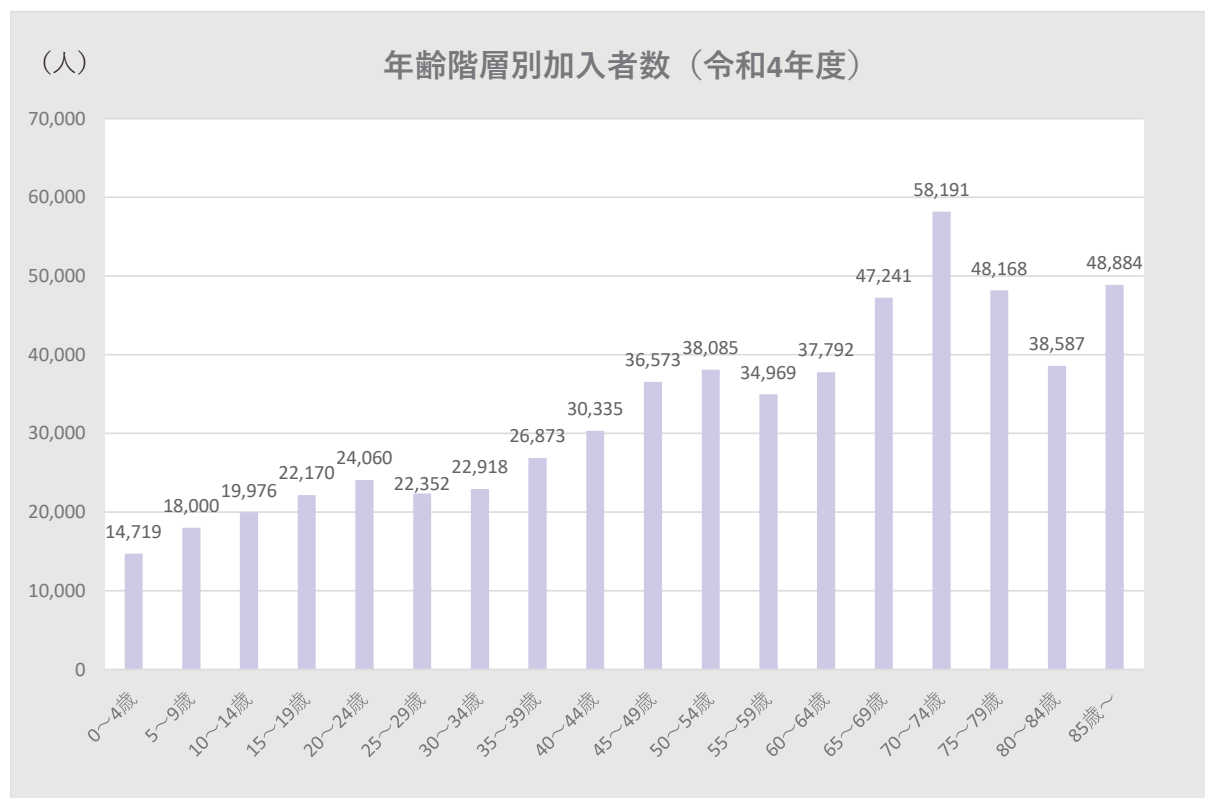
加入者の総数は、約59万人で同時期の県人口80万人の約74%を占め、制度加入者の割合をみると、協会けんぽが最も高く46.84%を占める。また、年齢階層別にみると、70～74歳が58,191人で最も多く、男女別でみると、50～54歳以下は男性が多く、55～59歳以上は女性が多い。協会けんぽと国保を比較すると、60～64歳以下は協会けんぽが多く、65～69歳以上は国保が多い。

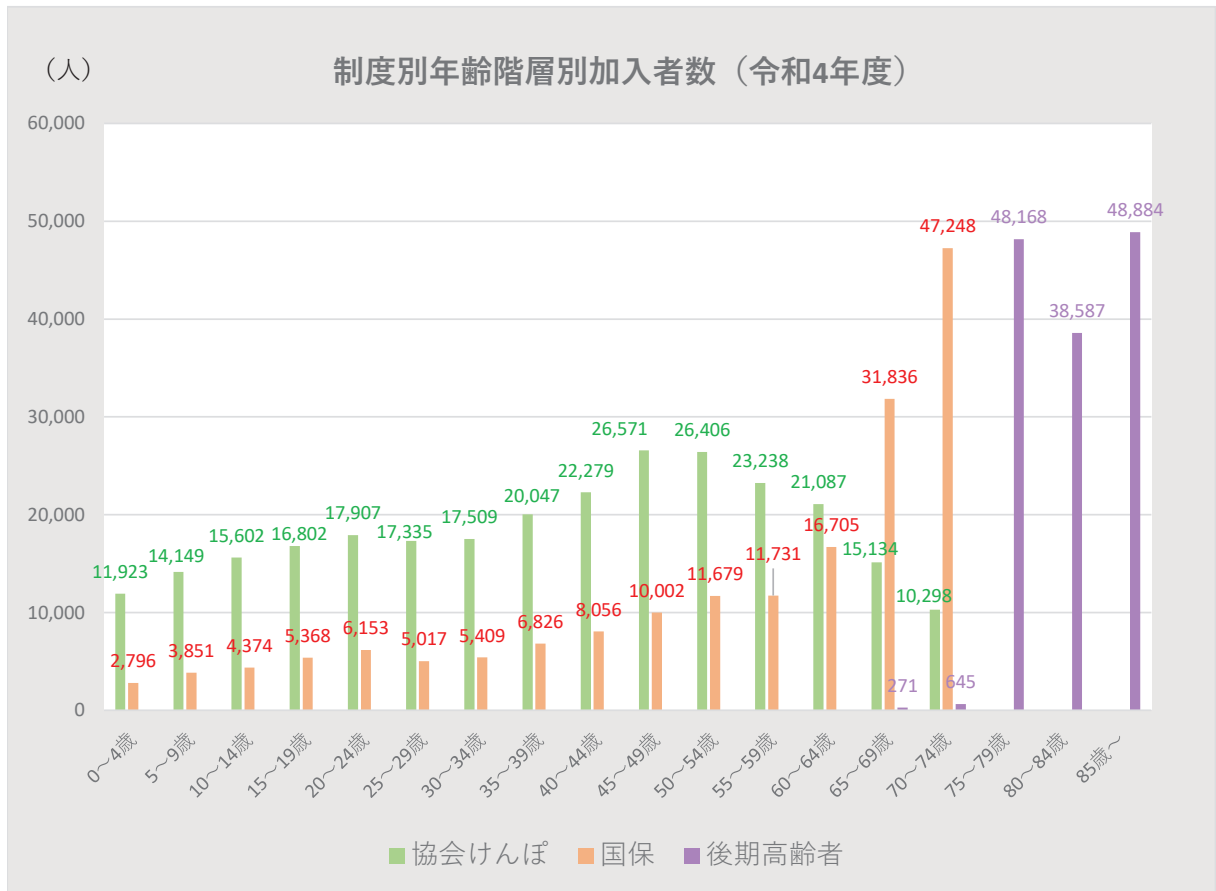
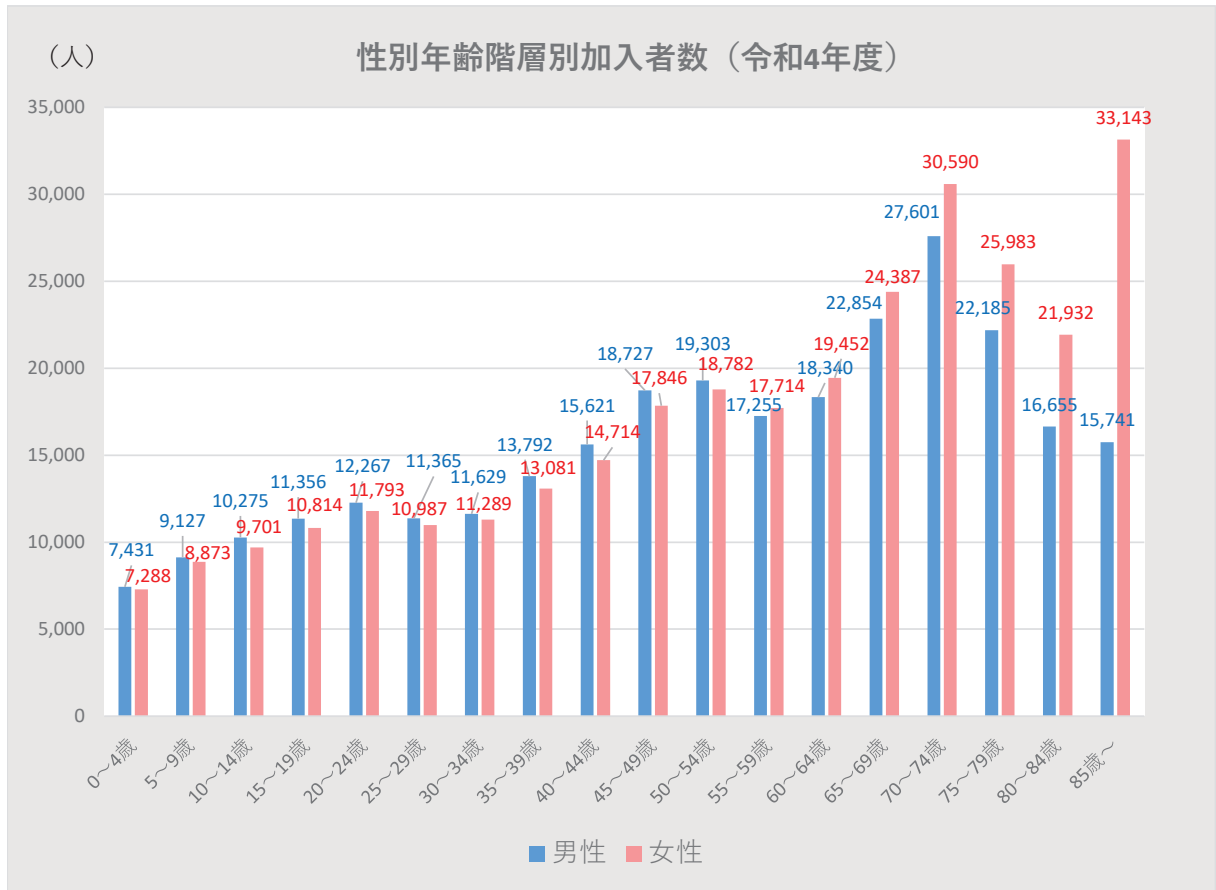
* 国保、後期高齢者医療は令和5年3月現在、協会けんぽは年度平均で算出



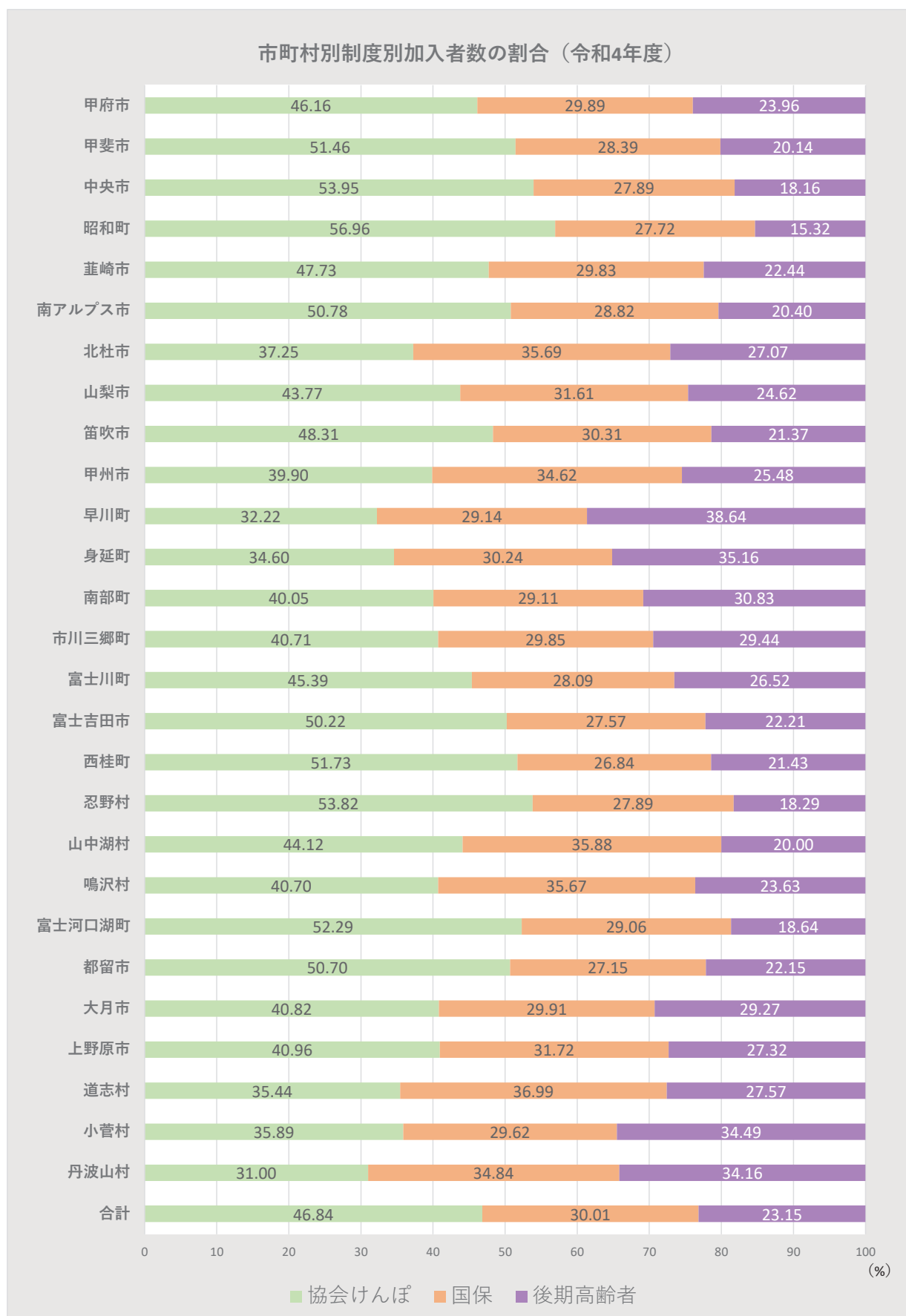
制度別性別加入者数

制度	性別	人数
協会けんぽ	男性	137,874
	女性	138,413
	計	276,287
国保	男性	88,531
	女性	88,520
	計	177,051
後期高齢者	男性	55,119
	女性	81,436
	計	136,555
合計	男性	281,524
	女性	308,369
	計	589,893





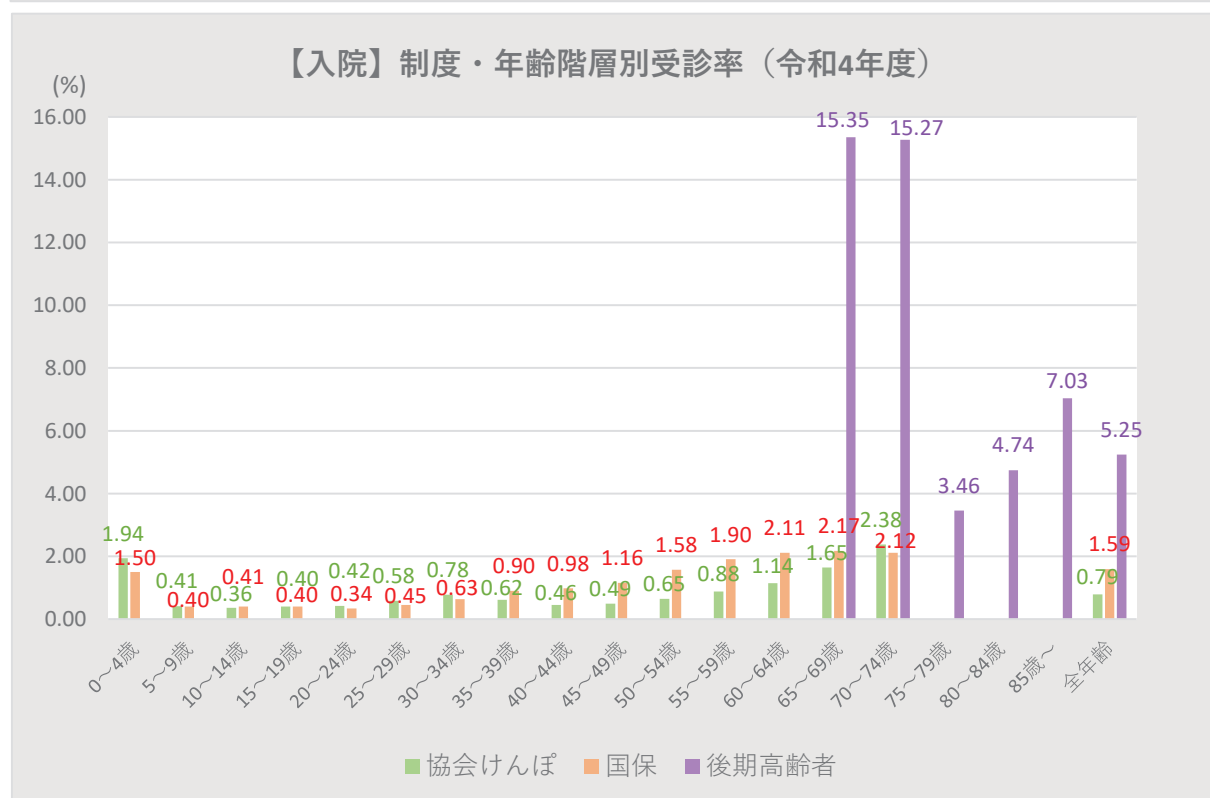
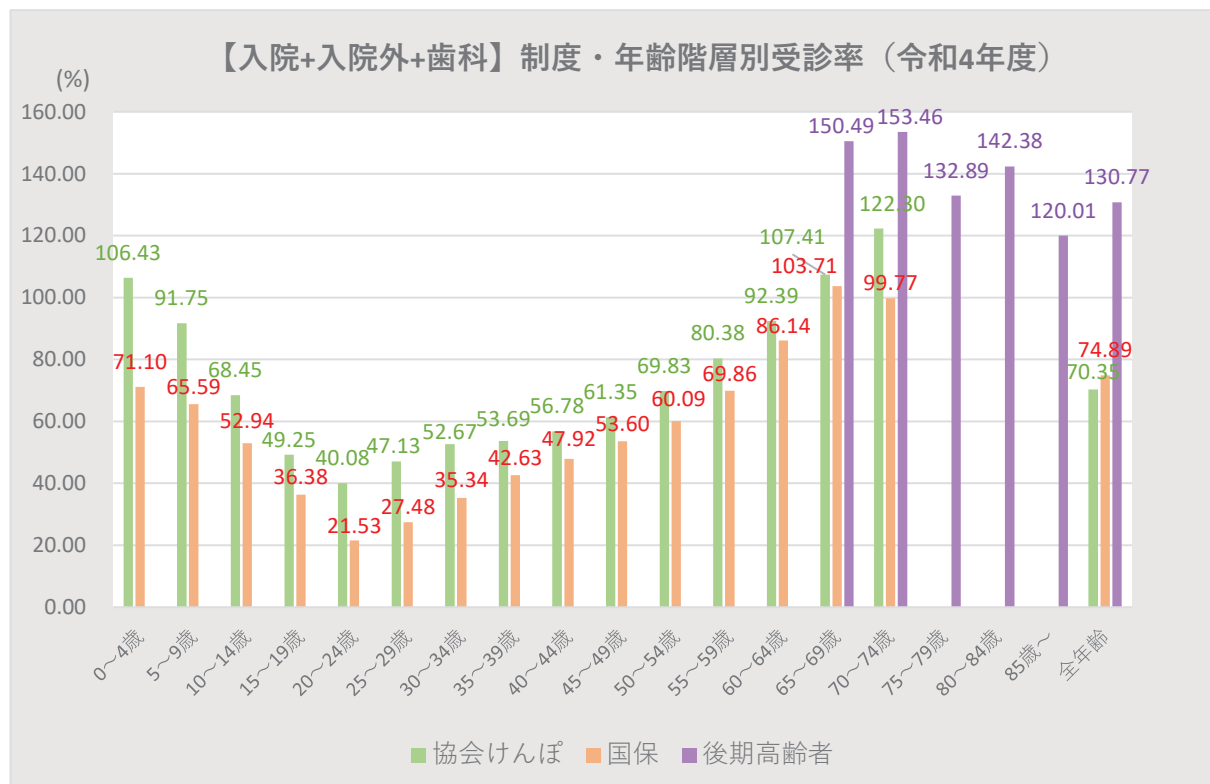
市町村別制度別加入者割合をみると、協会けんぽは、昭和町、中央市、忍野村の順に高く、国保は、道志村、山中湖村、北杜市の順に高い。後期高齢者医療は、早川町、身延町、小菅村の順に高い。



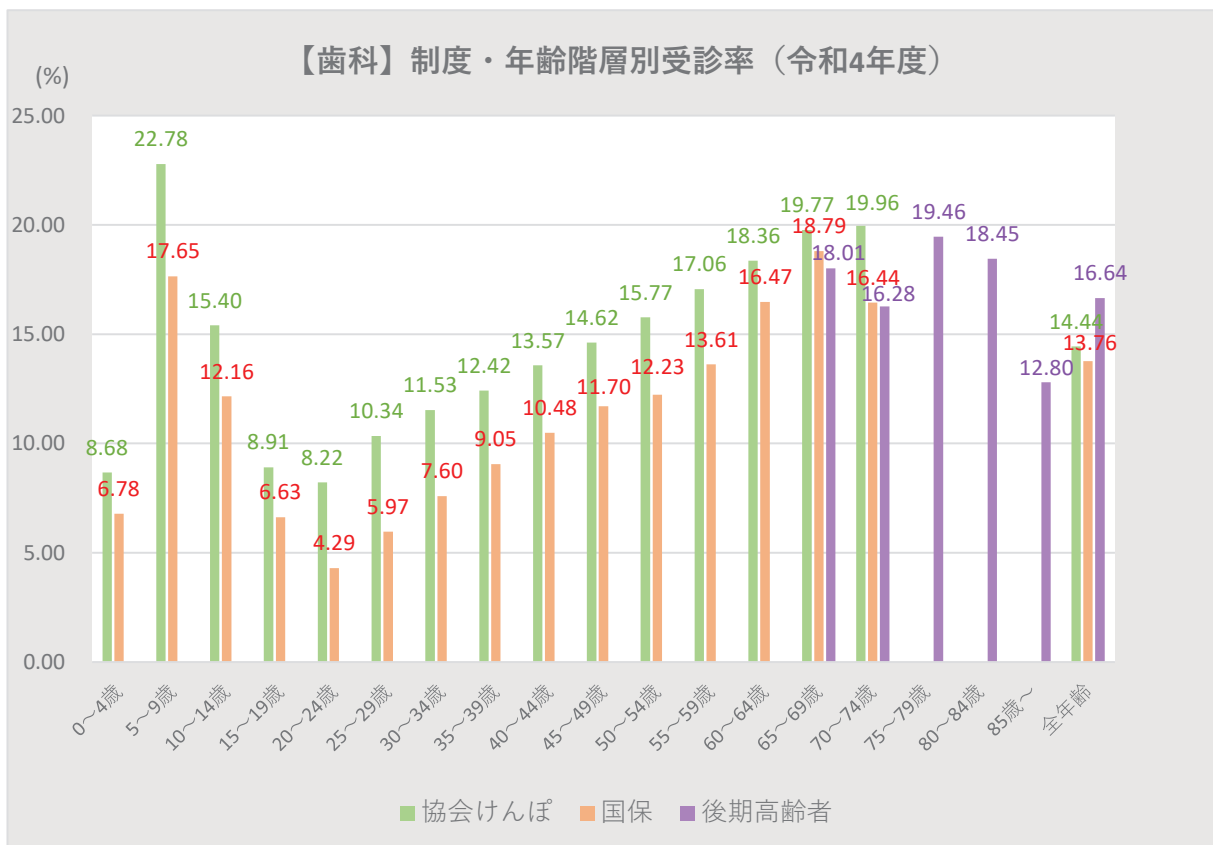
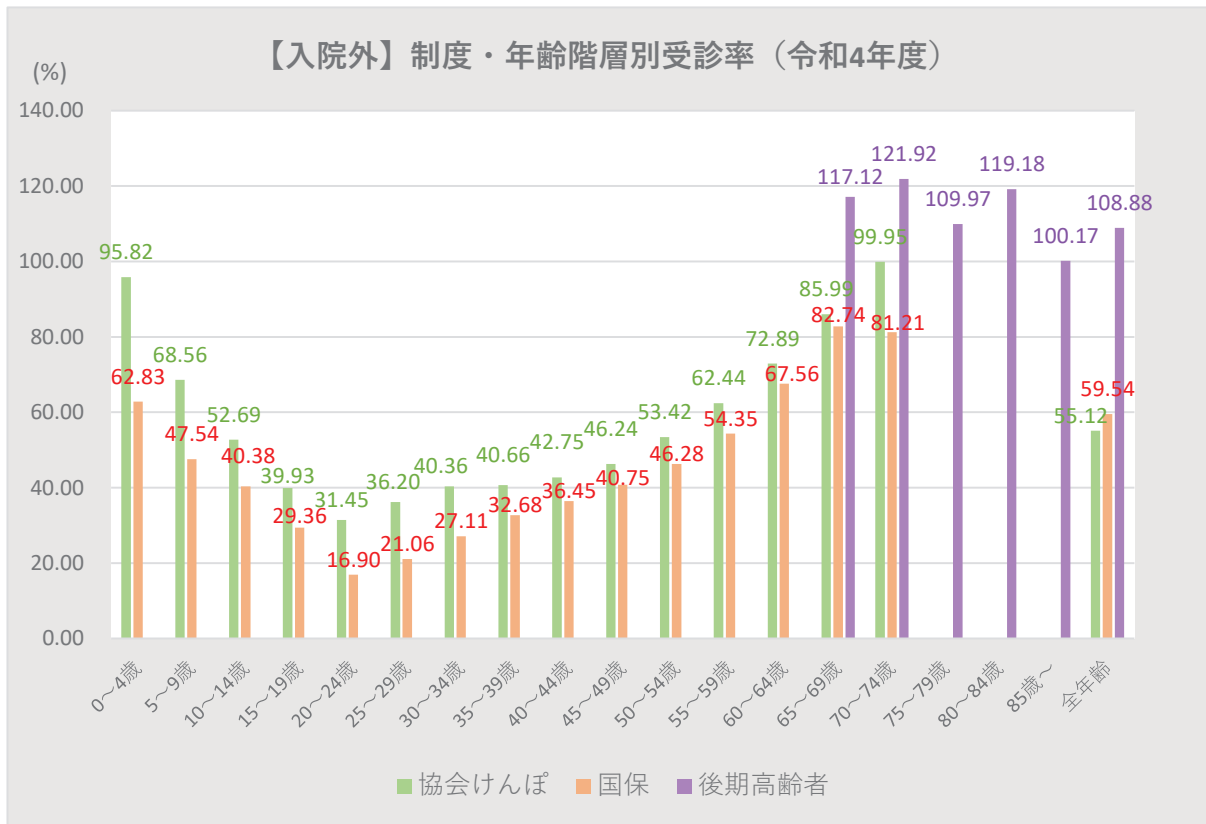
2 制度別年齢階層別受診率（入院・入院外・歯科）

$$\text{受診率(\%)} = \text{レセプト件数(件)} \div \text{加入者数(人)} \times 100$$

年齢階層別受診率をみると、後期高齢者が全体的に高く、協会けんぽ及び国保は0～4歳で高く、徐々に下がり20～24歳で最も低い。その後、徐々に上がり、協会けんぽは70～74歳で、国保は65～69歳で最も高い。なお、後期高齢者医療のうち65～69歳、70～74歳は障害がある場合の加入であり、受診率（特に入院）が高くなっている。



協会けんぽと国保を比べると、入院外と歯科では全ての年齢階層で協会けんぽの受診率が国保より高いが、35～39歳の入院では国保の受診率が協会けんぽより高くなっている。

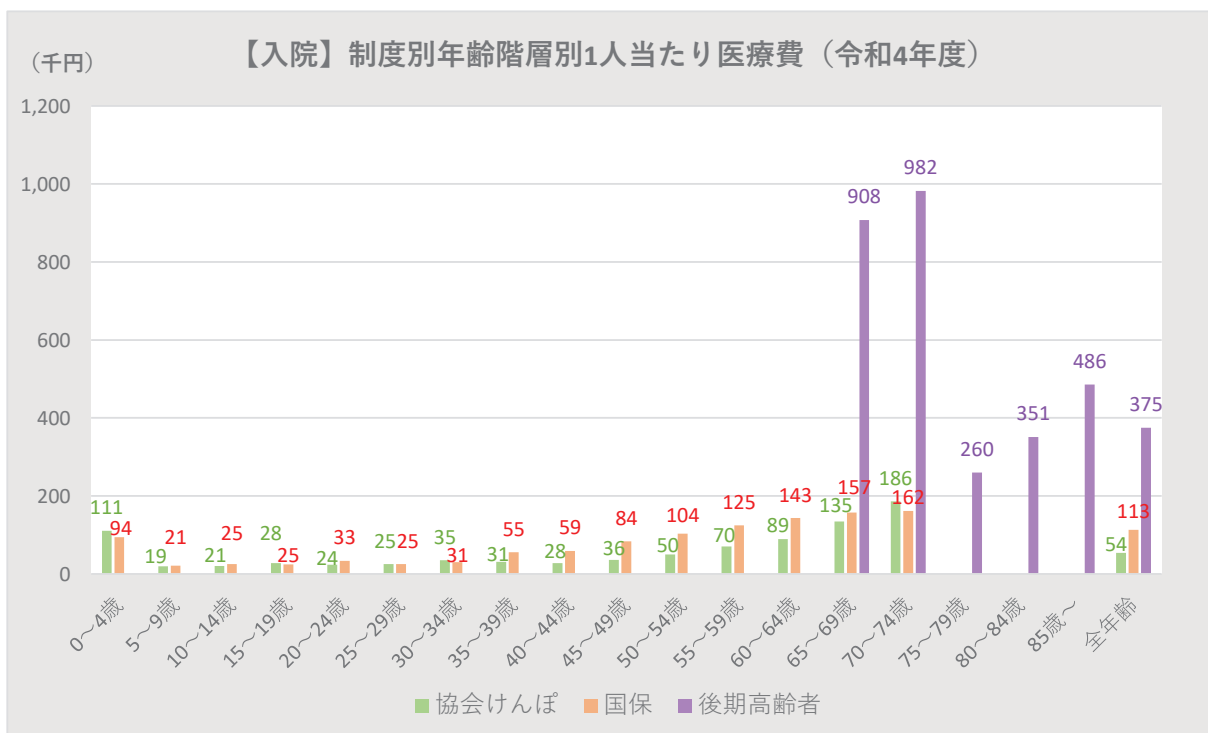
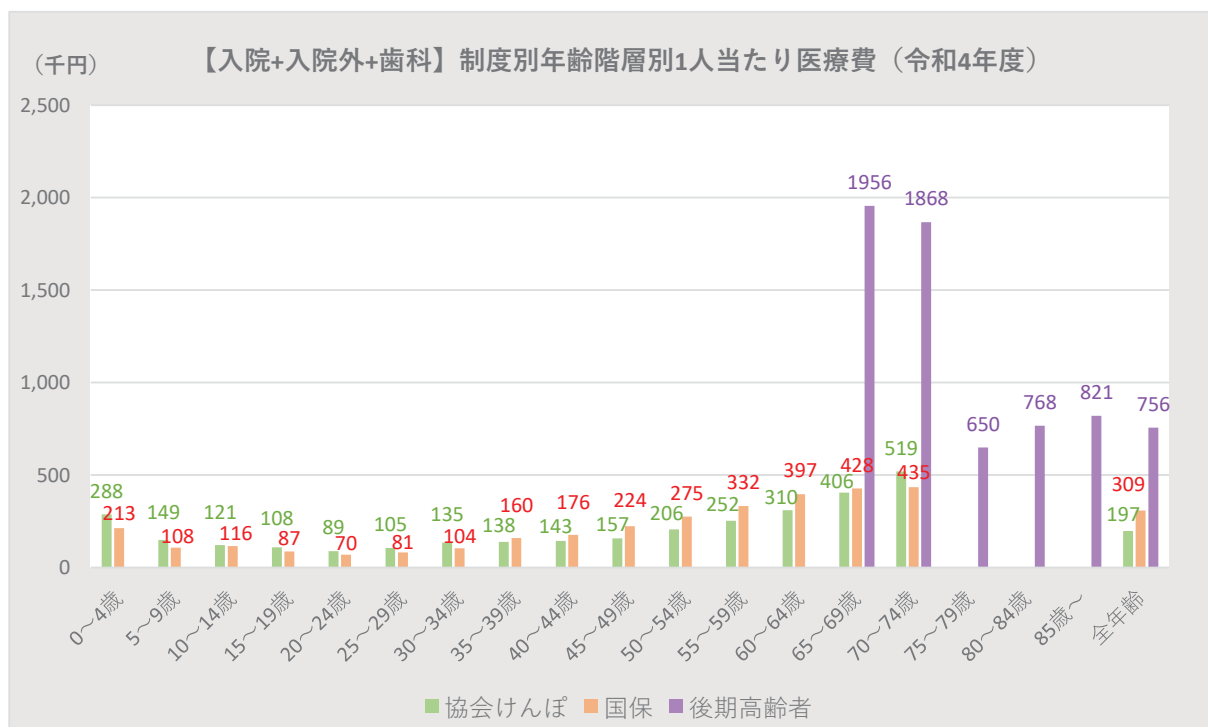


3 1人当たり医療費（入院・入院外・歯科）

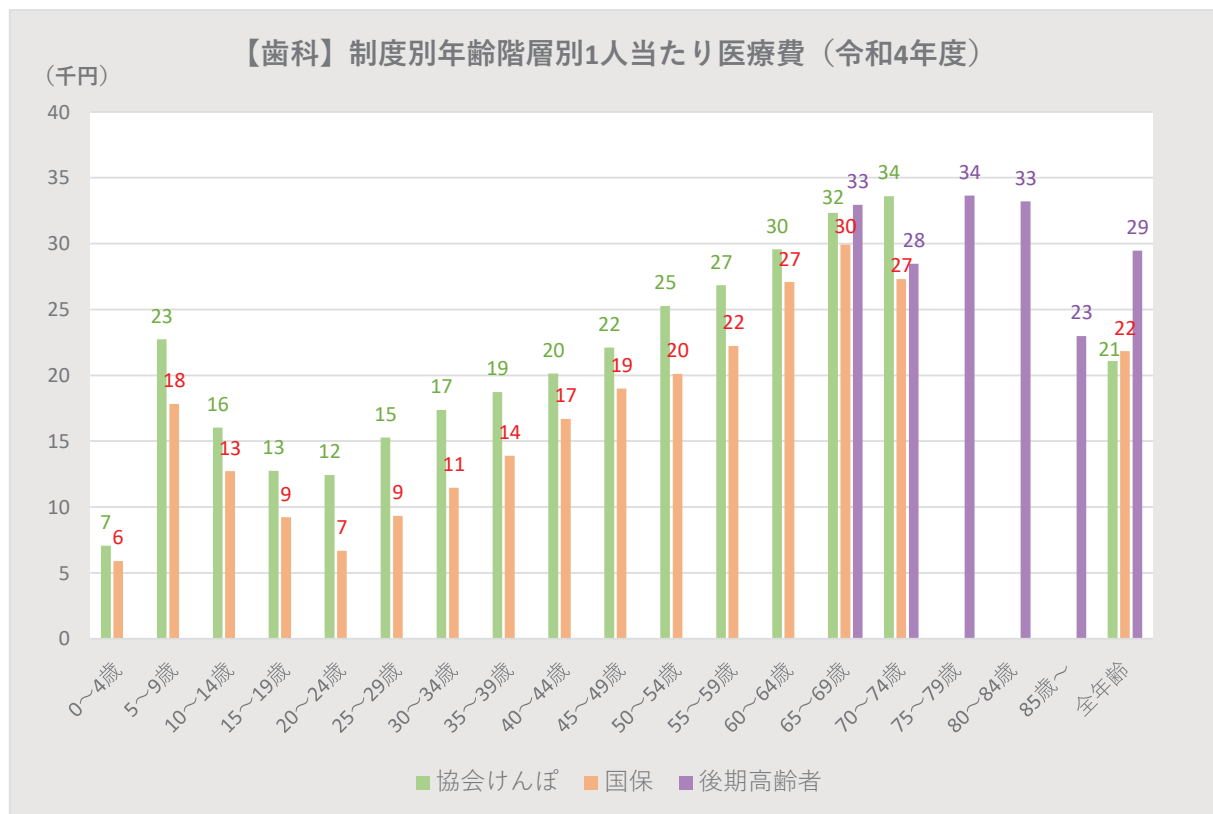
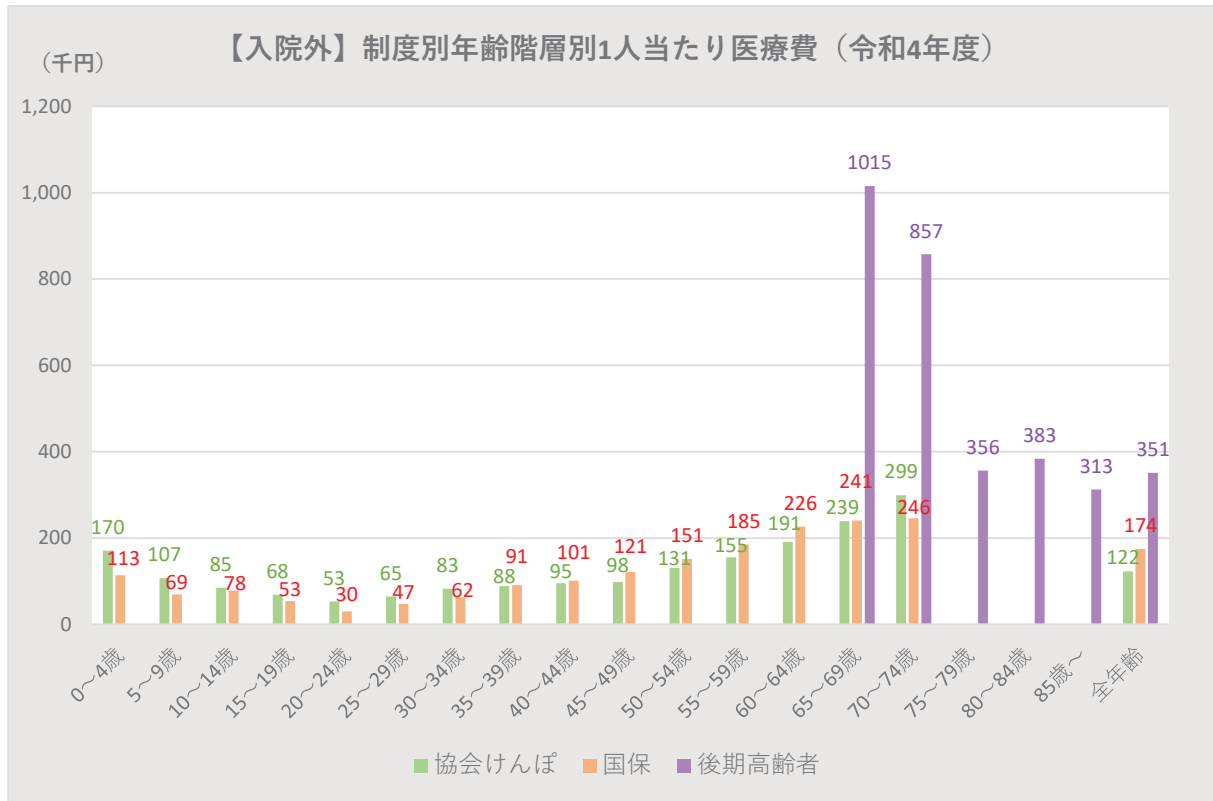
$$1人当たり医療費(円) = 費用額(円) \div 加入者数(人)$$

(1) 制度別年齢階層別1人当たり医療費

1人当たり医療費（年額）は、後期高齢者756,000円、国保309,000円、協会けんぽ197,000円の順に高く、後期高齢者は国保の約2.5倍、協会けんぽの約3.8倍になっている。協会けんぽ及び国保は0～4歳で高く、緩やかに下がり20～24歳で最も低い。その後、年齢に伴い上がり70～74歳で最も高い。なお、後期高齢者医療のうち65～69歳、70～74歳は障害がある場合の加入であり、1人当たり医療費が顕著に高くなっている。

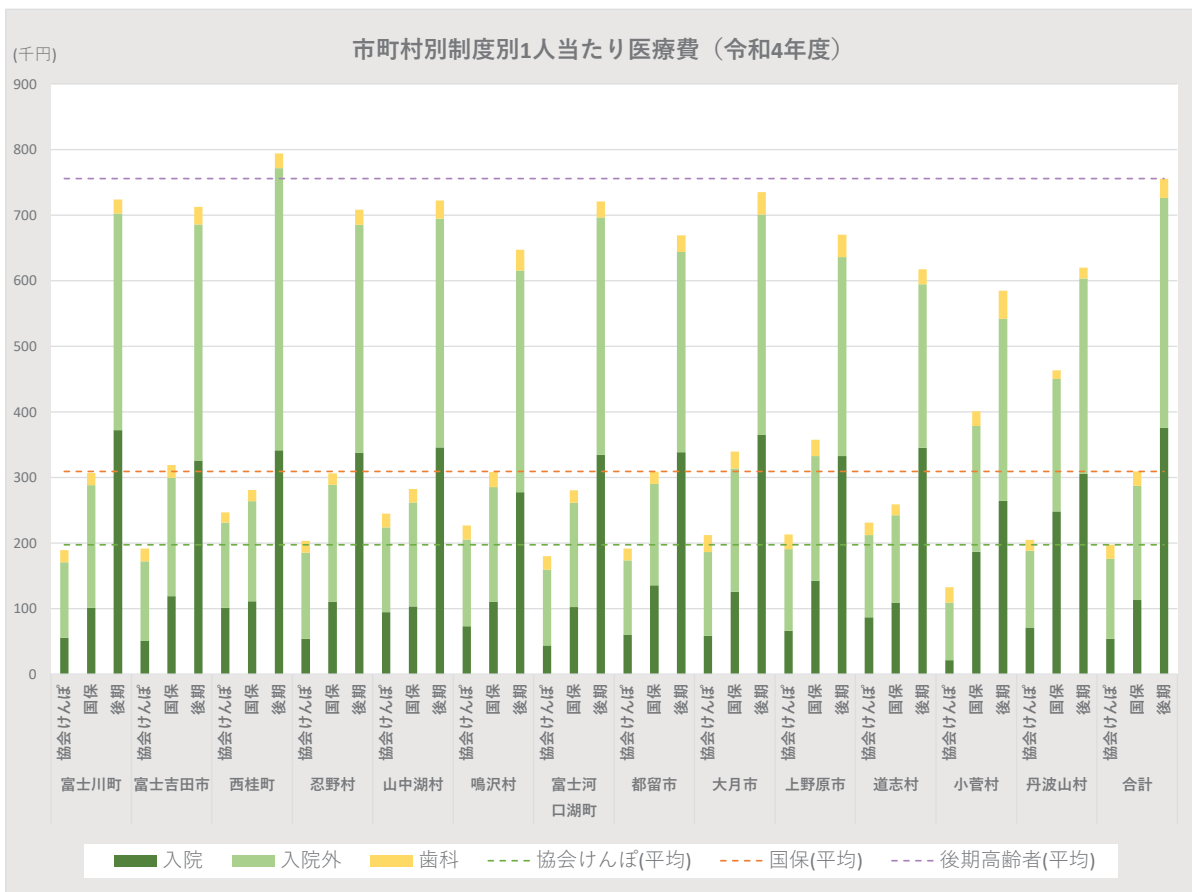
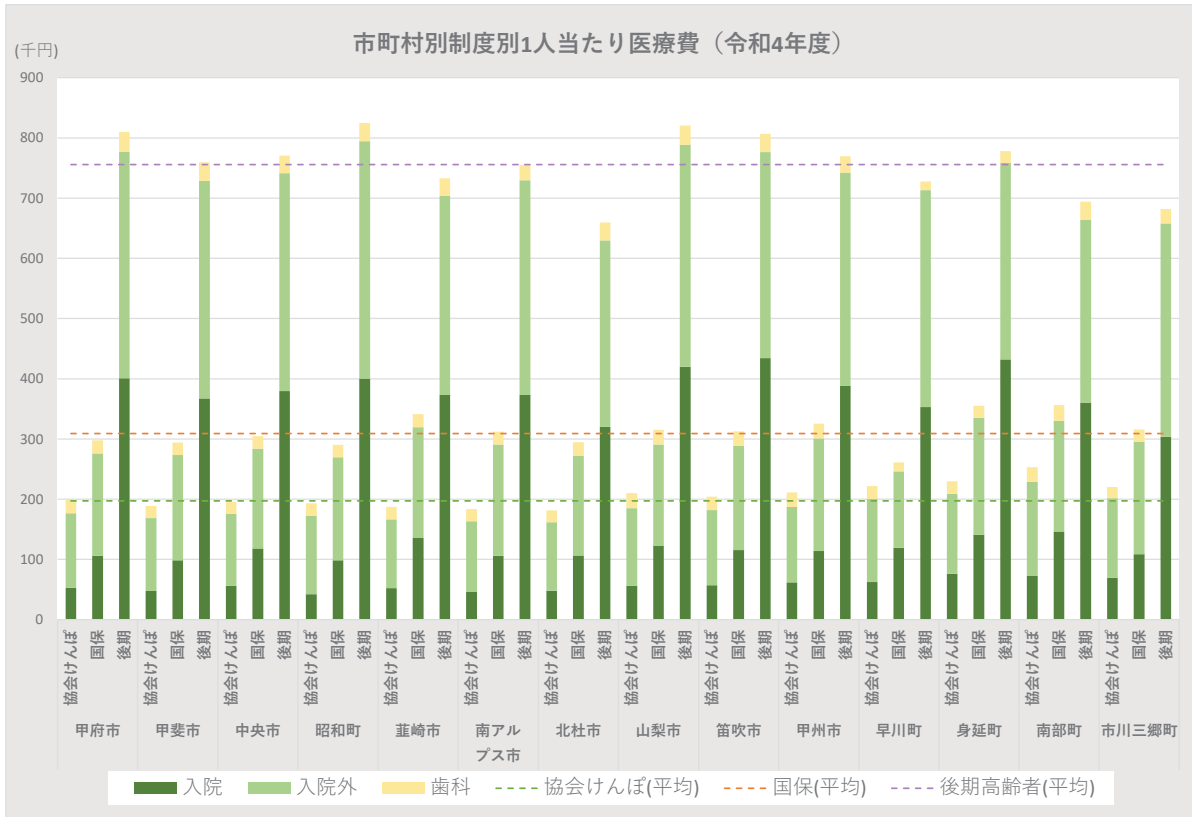


1人当たり医療費を協会けんぽと国保で比べると、30～34歳以下の入院はほぼ同程度で、入院外は協会けんぽがやや高く、35～39歳以上は入院、入院外ともに国保が高い。歯科は、すべての年齢階層で協会けんぽが高い。



(2) 市町村別制度別1人当たり医療費

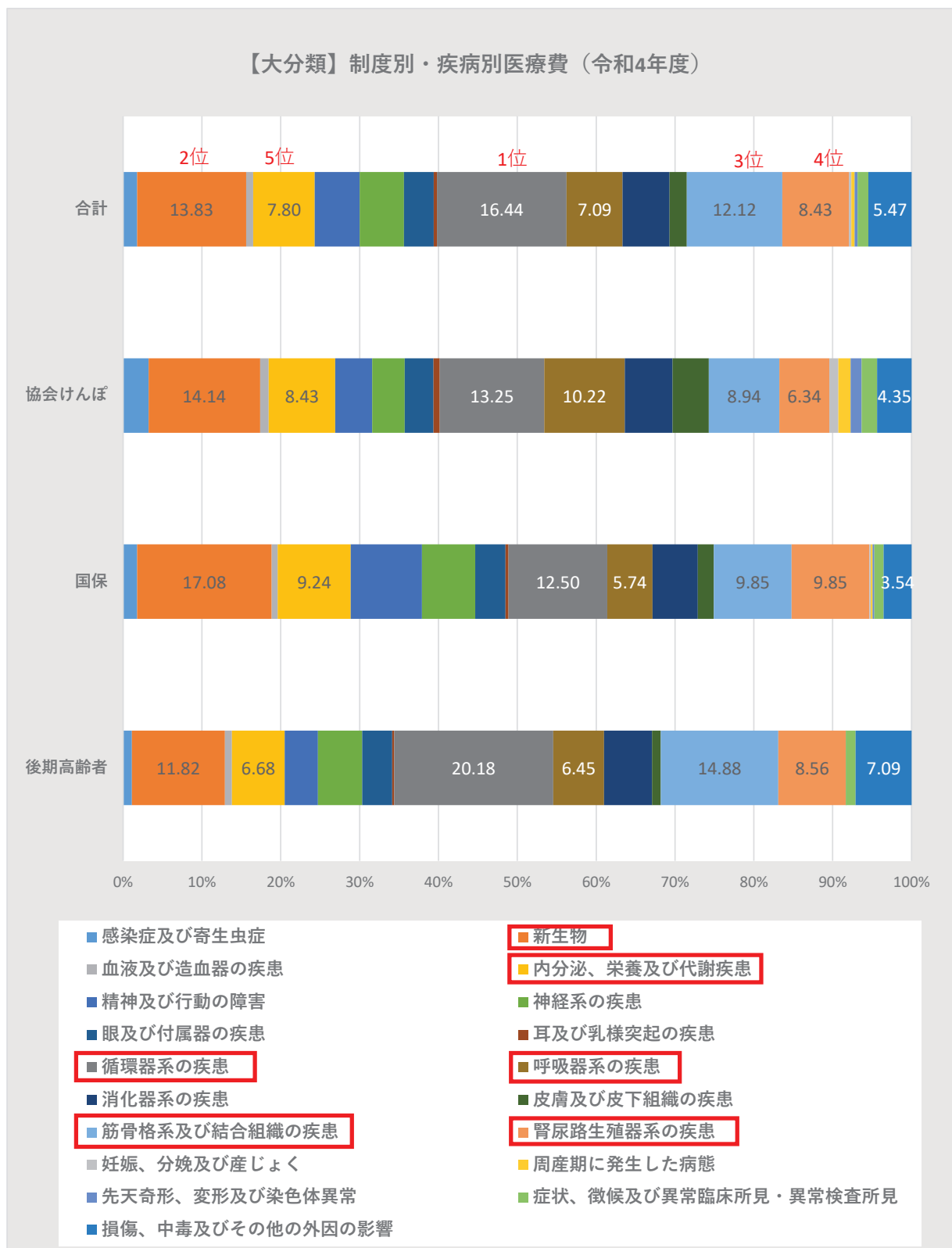
市町村別の1人当たり医療費をみると、協会けんぽでは、南部町、西桂町、山中湖村の順に高く、国保では、丹波山村、小菅村、上野原市の順に高い。また、後期高齢者では、昭和町、山梨市、甲府市の順に高い。



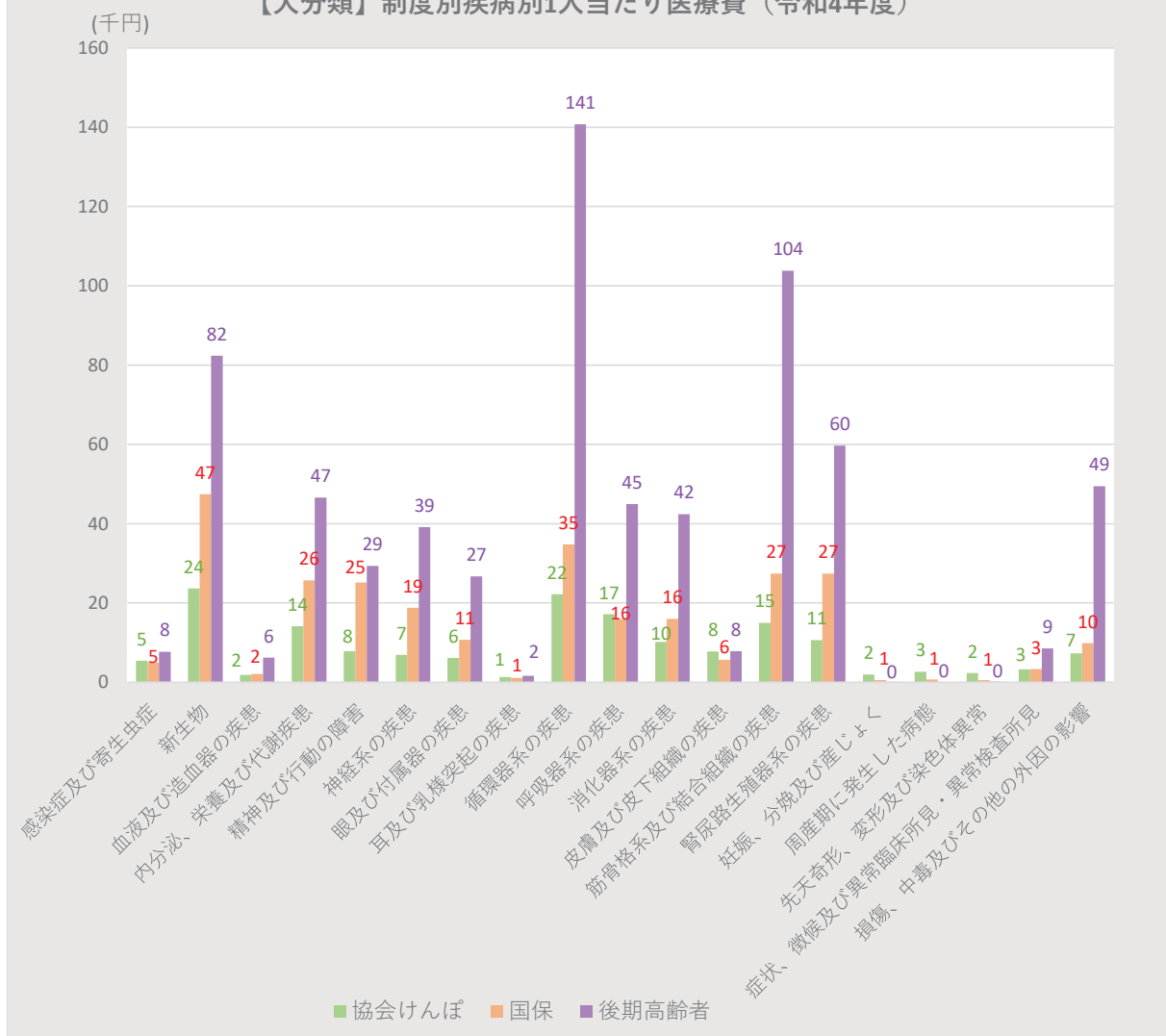
4 疾病別医療費

(1) 制度別疾病別医療費割合・1人当たり医療費（大分類）

疾病別医療費割合、1人当たり医療費ともに、後期高齢者では循環器系の疾患、筋骨格系及び結合組織の疾患、新生物の順に高く、国保では新生物、循環器系の疾患、筋骨格系及び結合組織の疾患と腎尿路生殖器系の疾患の順に高い。また、協会けんぽでは新生物、循環器系の疾患、呼吸器系の疾患の順に高い。



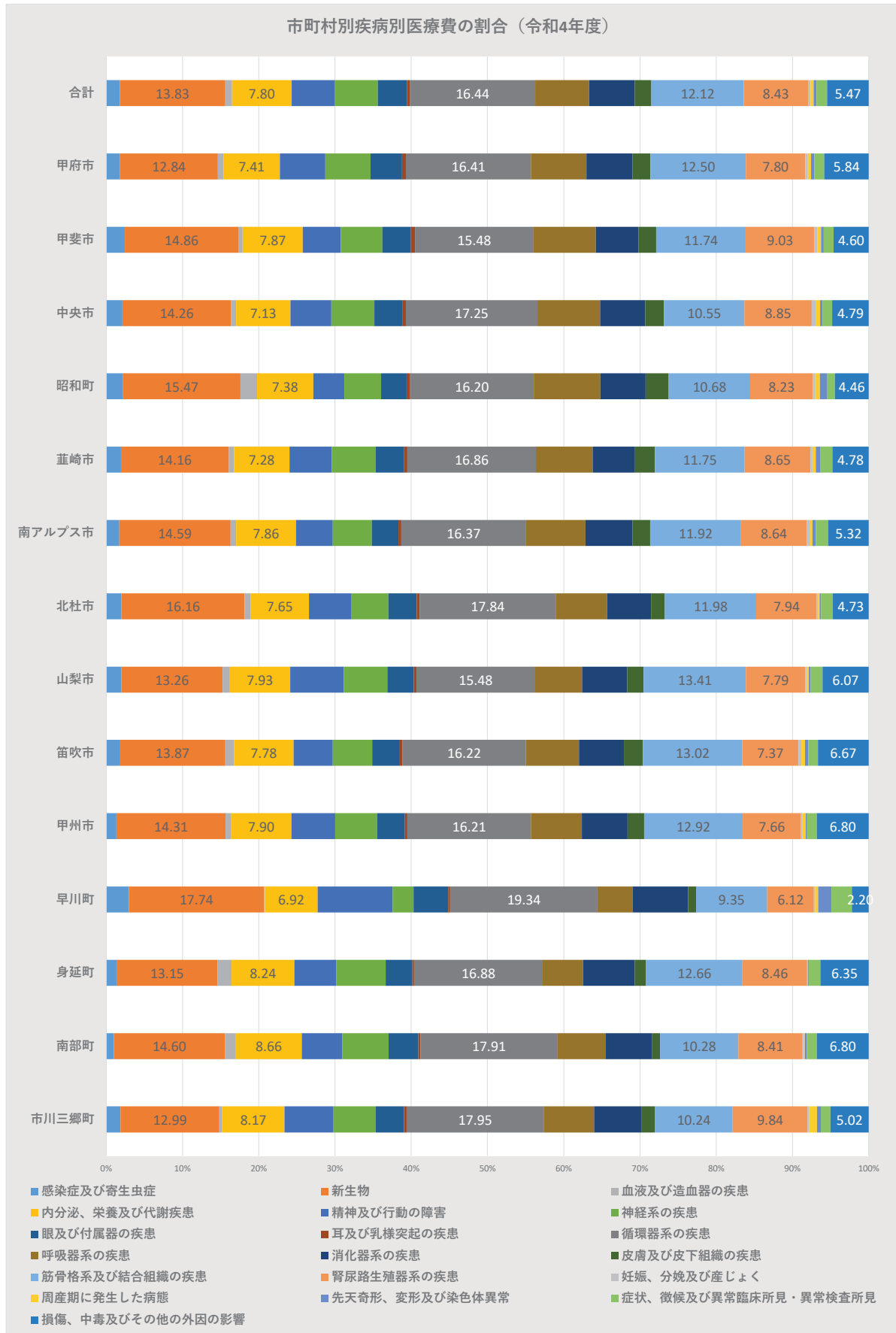
【大分類】制度別疾病別1人当たり医療費（令和4年度）



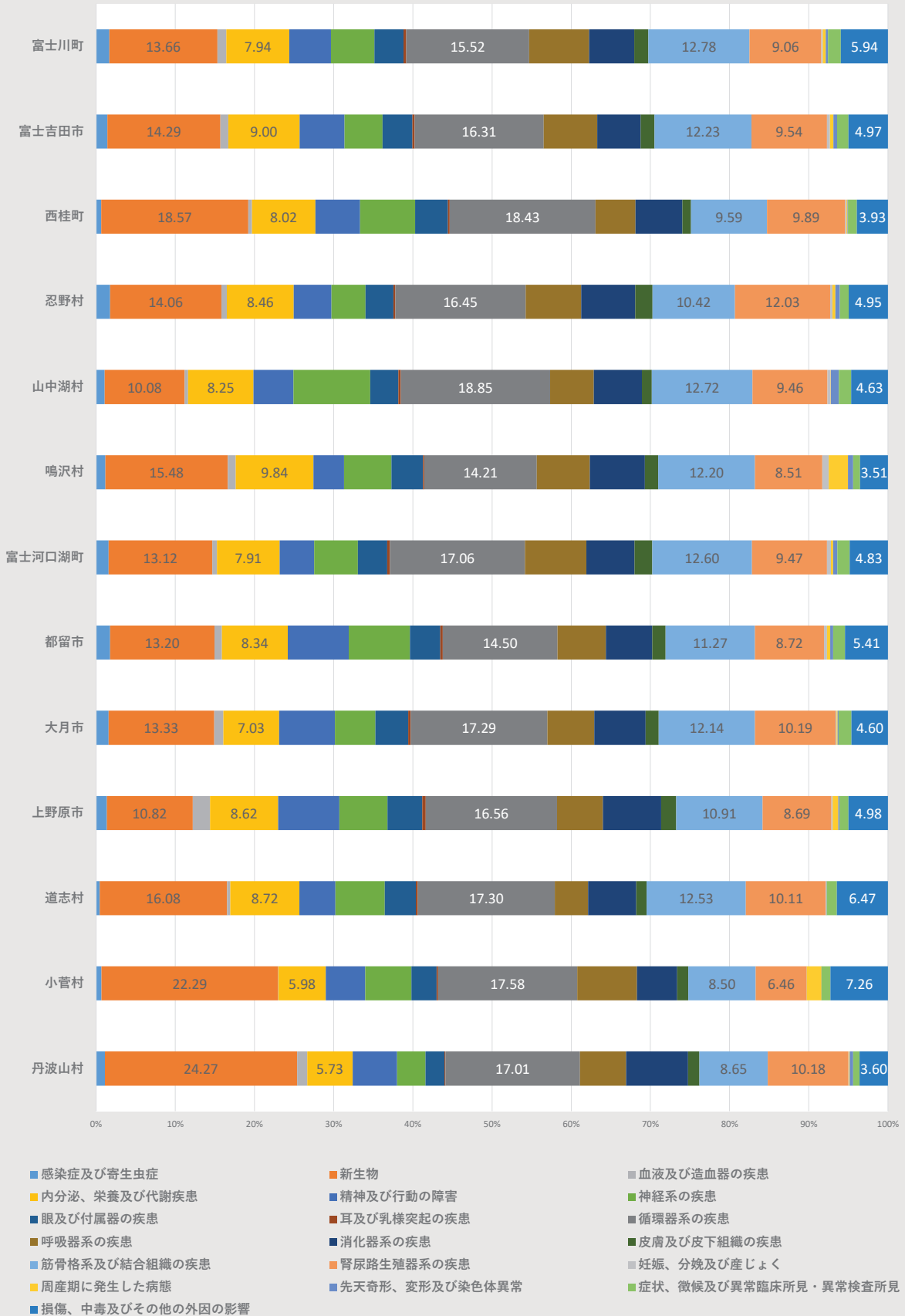
【大分類】制度別疾病別1人当たり医療費の順位

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
制度合計	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響
協会けんぽ	新生物	循環器系の疾患	呼吸器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	腎尿路生殖器系の疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害	皮膚及び皮下組織の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響
国保	新生物	循環器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患	消化器系の疾患	呼吸器系の疾患	眼及び付属器の疾患
後期高齢者	循環器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	新生物	腎尿路生殖器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	内分泌、栄養及び代謝疾患	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	神経系の疾患	精神及び行動の障害

(2) 市町村別疾病別医療費（大分類）



市町村別疾病別医療費の割合（令和4年度）



【大分類】市町村別疾病別医療費の順位

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
甲府市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響
甲斐市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	呼吸器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	消化器系の疾患	神経系の疾患	精神及び行動の障害	損傷、中毒及びその他の外因の影響
中央市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	呼吸器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	消化器系の疾患	神経系の疾患	精神及び行動の障害	損傷、中毒及びその他の外因の影響
昭和町	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	呼吸器系の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	消化器系の疾患	神経系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	精神及び行動の障害
韭崎市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	呼吸器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	神経系の疾患	精神及び行動の障害	消化器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響
南アルプス市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	神経系の疾患	精神及び行動の障害
北杜市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響
山梨市	循環器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	新生物	内分泌、栄養及び代謝疾患	腎尿路生殖器系の疾患	精神及び行動の障害	呼吸器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	消化器系の疾患	神経系の疾患
笛吹市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	腎尿路生殖器系の疾患	呼吸器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	消化器系の疾患	神経系の疾患	精神及び行動の障害
甲州市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	腎尿路生殖器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
早川町	循環器系の疾患	新生物	精神及び行動の障害	筋骨格系及び結合組織の疾患	消化器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	腎尿路生殖器系の疾患	呼吸器系の疾患	眼及び付属器の疾患	感染症及び寄生虫症
身延町	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	消化器系の疾患	神経系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	精神及び行動の障害	呼吸器系の疾患
南部町	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	腎尿路生殖器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	神経系の疾患	精神及び行動の障害
市川三郷町	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	呼吸器系の疾患	精神及び行動の障害	消化器系の疾患	神経系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響
富士川町	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	呼吸器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	消化器系の疾患	神経系の疾患	精神及び行動の障害
富士吉田市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	呼吸器系の疾患	精神及び行動の障害	消化器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	神経系の疾患
西桂町	新生物	循環器系の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	神経系の疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害	呼吸器系の疾患	眼及び付属器の疾患
忍野村	循環器系の疾患	新生物	腎尿路生殖器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	精神及び行動の障害	神経系の疾患
山中湖村	循環器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	新生物	神経系の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	消化器系の疾患	呼吸器系の疾患	精神及び行動の障害	損傷、中毒及びその他の外因の影響
鳴沢村	新生物	循環器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	腎尿路生殖器系の疾患	消化器系の疾患	呼吸器系の疾患	神経系の疾患	眼及び付属器の疾患	精神及び行動の障害

富士河口湖町	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	神経系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	精神及び行動の障害
都留市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	神経系の疾患	精神及び行動の障害	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響
大月市	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	精神及び行動の障害	内分泌、栄養及び代謝疾患	消化器系の疾患	呼吸器系の疾患	神経系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響
上野原市	循環器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	新生物	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	精神及び行動の障害	消化器系の疾患	神経系の疾患	呼吸器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響
道志村	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	神経系の疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害	呼吸器系の疾患
小菅村	新生物	循環器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	呼吸器系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	神経系の疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害
丹波山村	新生物	循環器系の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	消化器系の疾患	呼吸器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	精神及び行動の障害	損傷、中毒及びその他の外因の影響	神経系の疾患
市町村計	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患	損傷、中毒及びその他の外因の影響

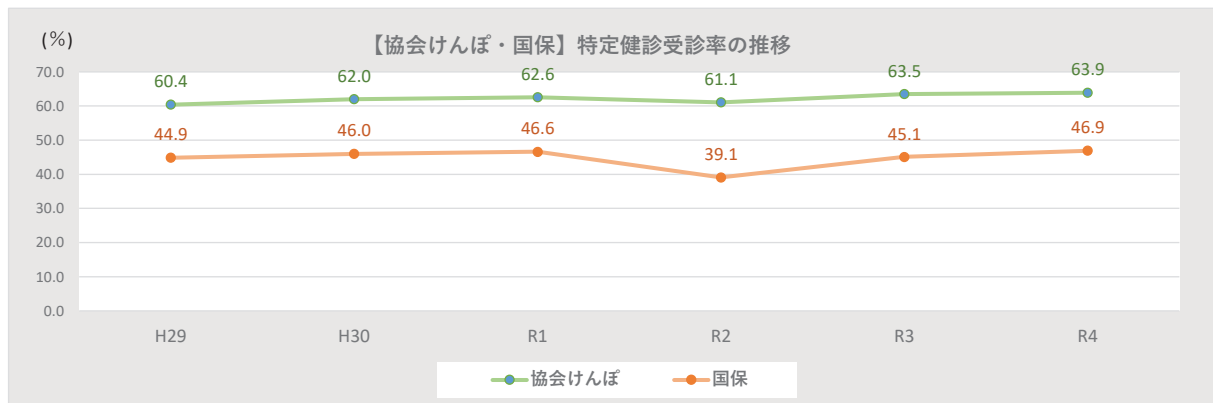
協会けんぽ、国保、後期高齢者を合計した医療費を市町村別疾病別にみると、第1位は23市町村が循環器系の疾患で、第2位は20市町村で新生物、第3位は20市町村で筋骨格系及び結合組織の疾患であった。

Ⅱ 特定健康診査(協会けんぽ・国保)

1 受診率

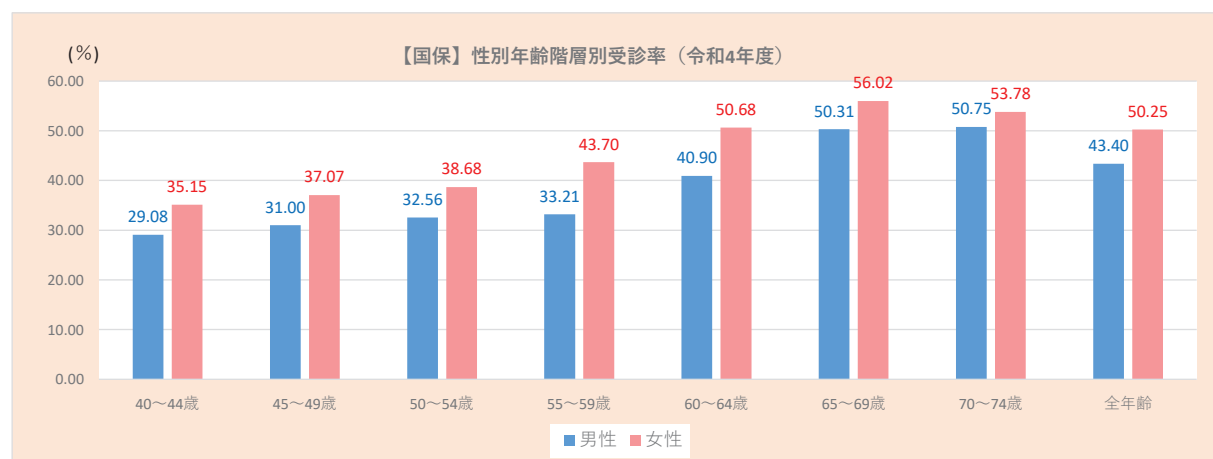
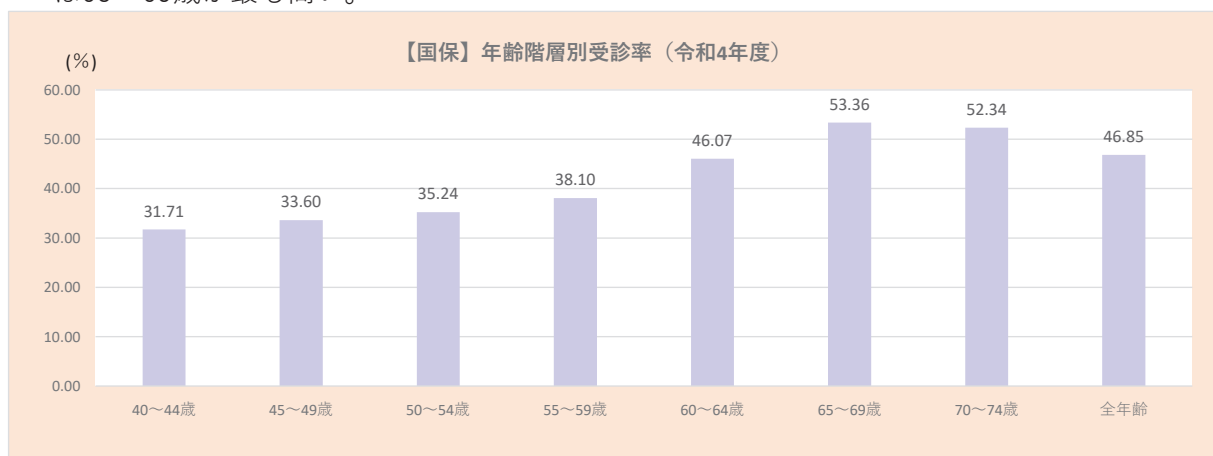
(1) 制度別受診率の推移

特定健診の令和4年度の受診率は、協会けんぽ63.9%、国保46.9%で、新型コロナウイルス感染症流行の影響もあり、令和2年度に減少したが、協会けんぽ、国保ともに新型コロナウイルス感染症流行以前の受診率を上回っている。



(2) 【国保】年齢階層別性別受診率

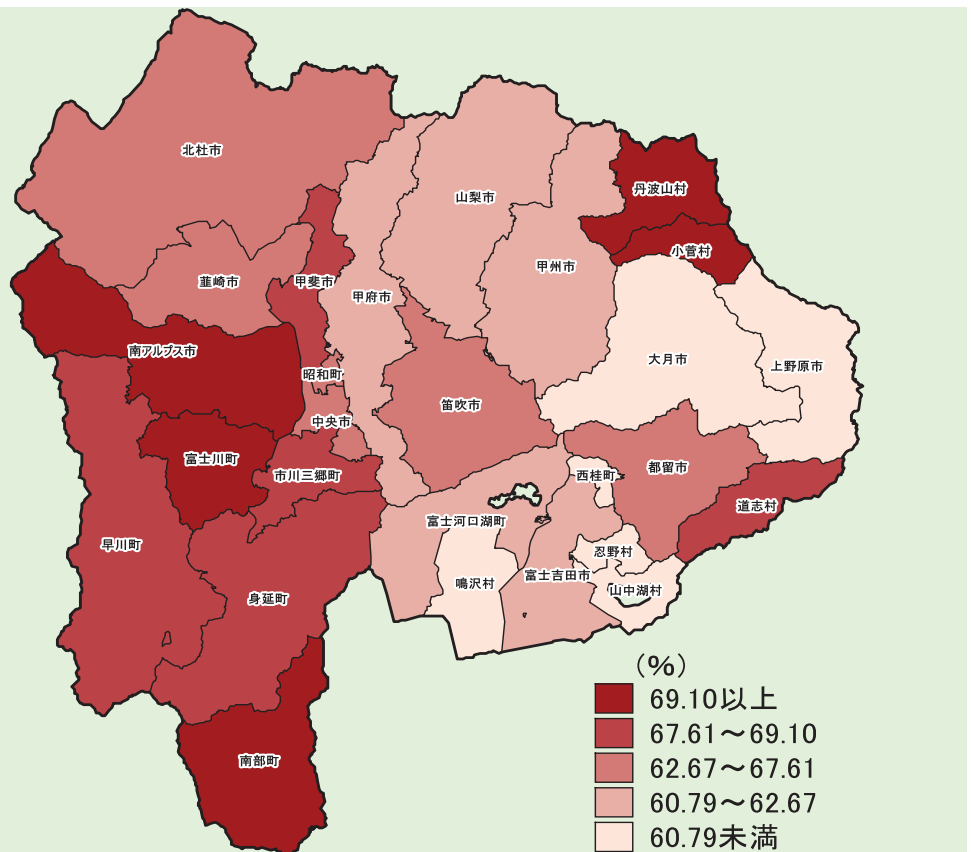
国保の特定健診受診率を年齢階層別にみると、40～44歳が最も低く、年齢が上がるとともに高くなり、65～69歳が最も高いが、70～74歳はやや減少している。また、男女別にみると、全年齢階層で男性より女性の方が受診率が高く、男性は70～74歳が最も高く、女性は65～69歳が最も高い。



(3) 市町村別制度別受診率

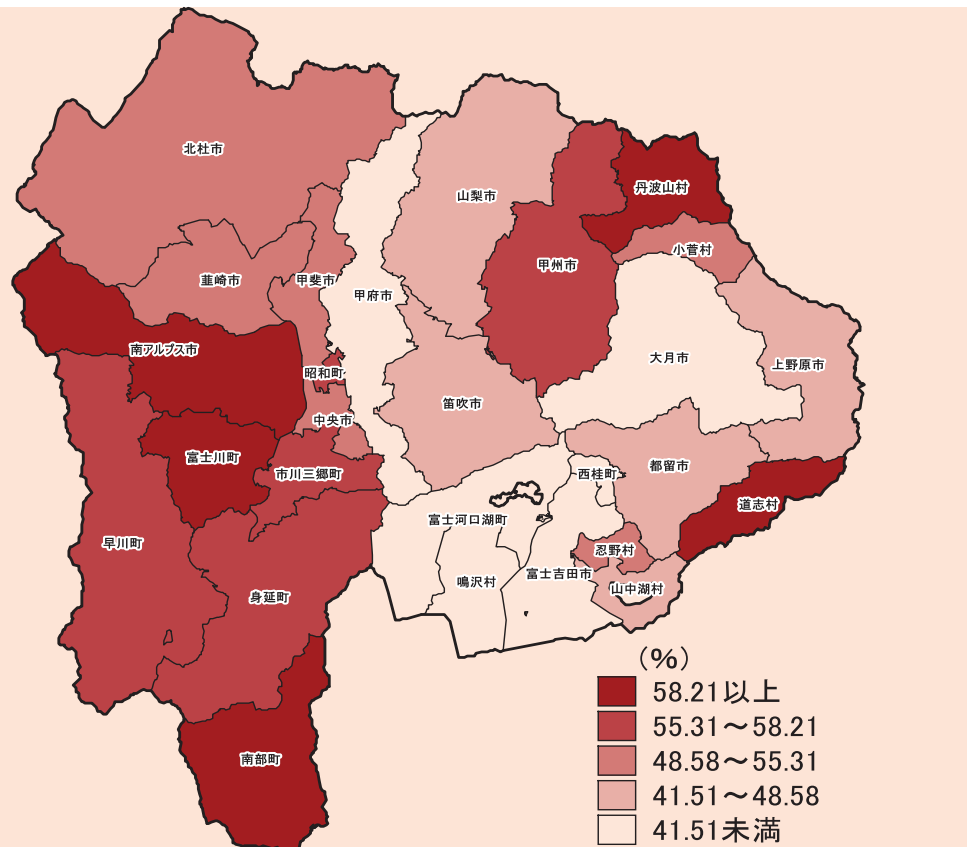
【協会けんぽ】市町村別受診率

市町村名	(%)
甲府市	62.56
甲斐市	67.75
中央市	63.85
昭和町	64.74
韭崎市	66.44
南アルプス市	69.75
北杜市	65.63
山梨市	61.28
笛吹市	62.90
甲州市	62.33
早川町	67.61
身延町	67.89
南部町	69.68
市川三郷町	68.63
富士川町	69.10
富士吉田市	61.84
西桂町	58.40
忍野村	57.57
山中湖村	54.04
鳴沢村	60.76
富士河口湖町	60.79
都留市	62.67
大月市	56.28
上野原市	59.66
道志村	68.99
小菅村	75.47
丹波山村	72.84
合計	63.93

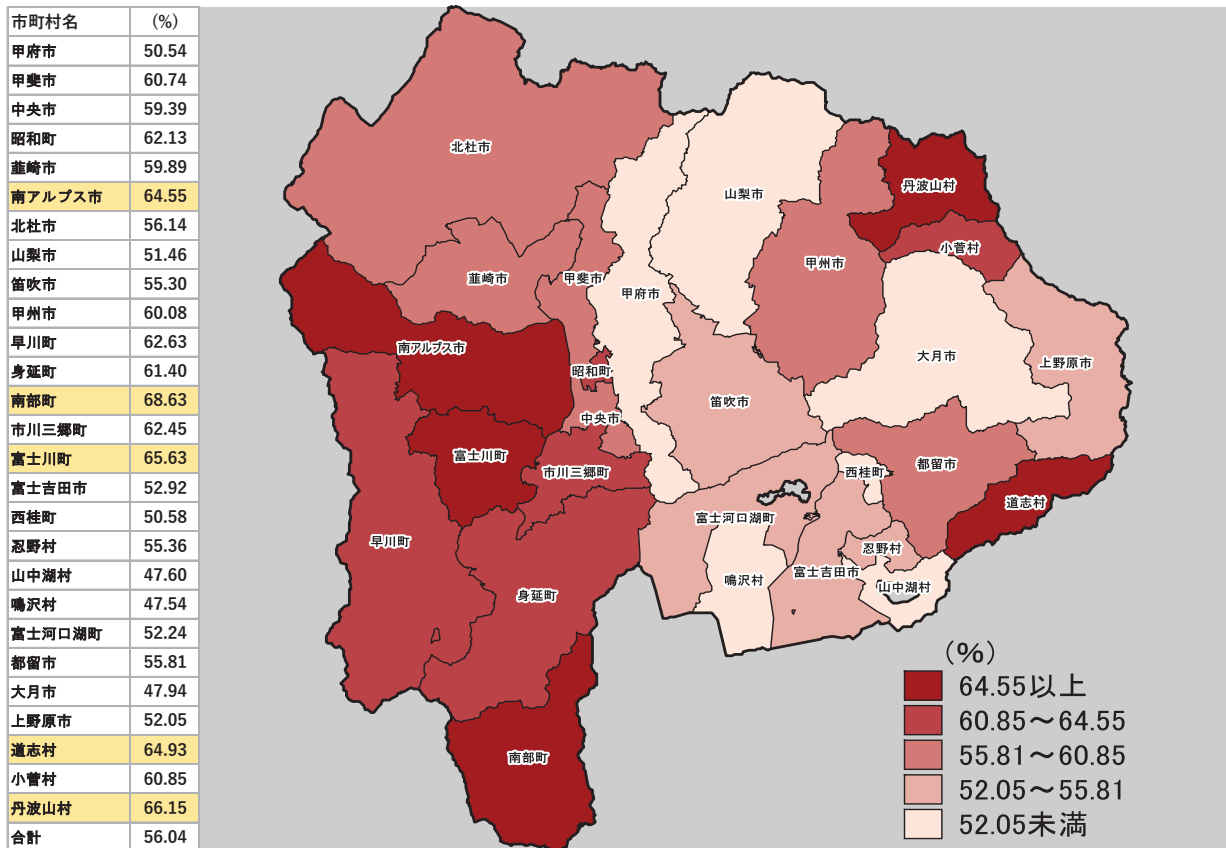


【国保】市町村別受診率

市町村名	(%)
甲府市	35.77
甲斐市	51.72
中央市	53.11
昭和町	58.17
韭崎市	52.44
南アルプス市	58.21
北杜市	48.58
山梨市	41.51
笛吹市	46.48
甲州市	58.18
早川町	57.82
身延町	55.31
南部町	67.56
市川三郷町	56.16
富士川町	61.17
富士吉田市	40.20
西桂町	38.81
忍野村	52.10
山中湖村	41.58
鳴沢村	36.05
富士河口湖町	40.64
都留市	46.42
大月市	39.24
上野原市	44.77
道志村	61.41
小菅村	48.84
丹波山村	61.26
合計	46.85



【協会けんぽ+国保】市町村別受診率



市町村別の特定健診受診率をみると、協会けんぽでは、小菅村、丹波山村、南アルプス市、南部町、富士川町の順に高く、国保では、南部町、道志村、丹波山村、富士川町、南アルプス市の順に高い。受診率の高い市町村も低い市町村も、協会けんぽ、国保でほぼ同様の傾向が見られる。

2 メタボリックシンドローム該当者・予備群の人数、割合

〈メタボリックシンドローム該当者及び予備群の判定基準〉

腹囲	男性 \geq 85cm、女性 \geq 90cm (内臓脂肪面積男女ともに \geq 100センチ cm^2)
※腹囲に以下の基準を2項目以上該当:該当者、1項目該当:予備群	
脂質	中性脂肪 \geq 150mg/dl かつ/又は HDLコレステロール $<$ 40mg/dl
血圧	収縮期 \geq 130mmHg かつ/又は 拡張期 \geq 85mmHg
血糖	空腹時血糖 \geq 110mg/dl かつ/又は HbA1c \geq 6.0%

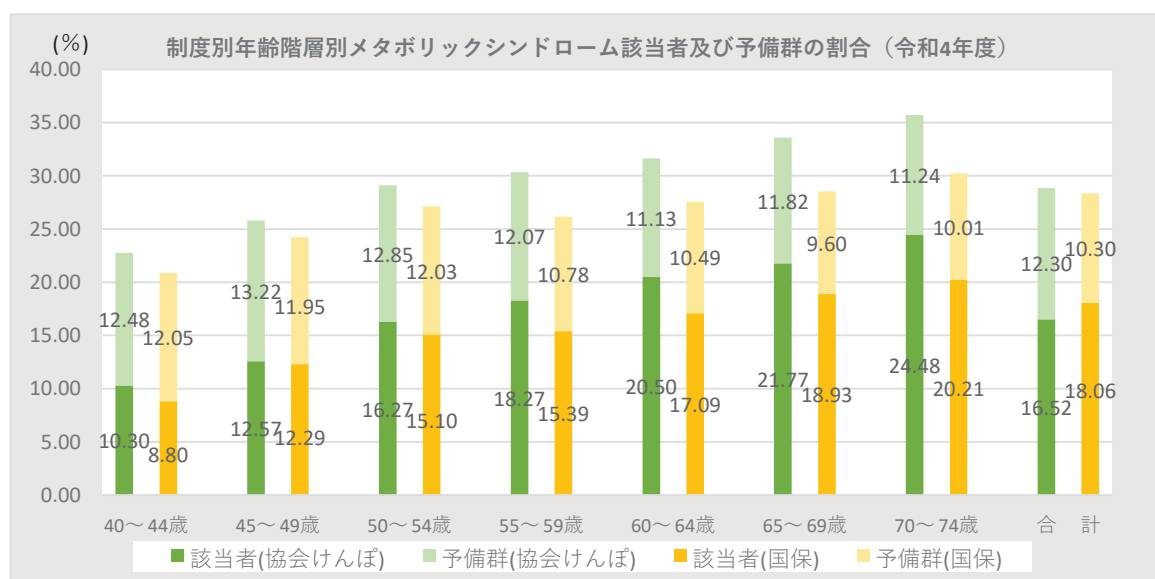
制度別にメタボリックシンドローム該当者・予備群の割合をみると、全ての年齢階層で国保に比べて協会けんぽの割合がやや高い。男女別にみると、50歳以上の男性は協会けんぽ、国保ともに4割以上がメタボリックシンドローム該当者及び予備群で、女性の約3～4倍高い。

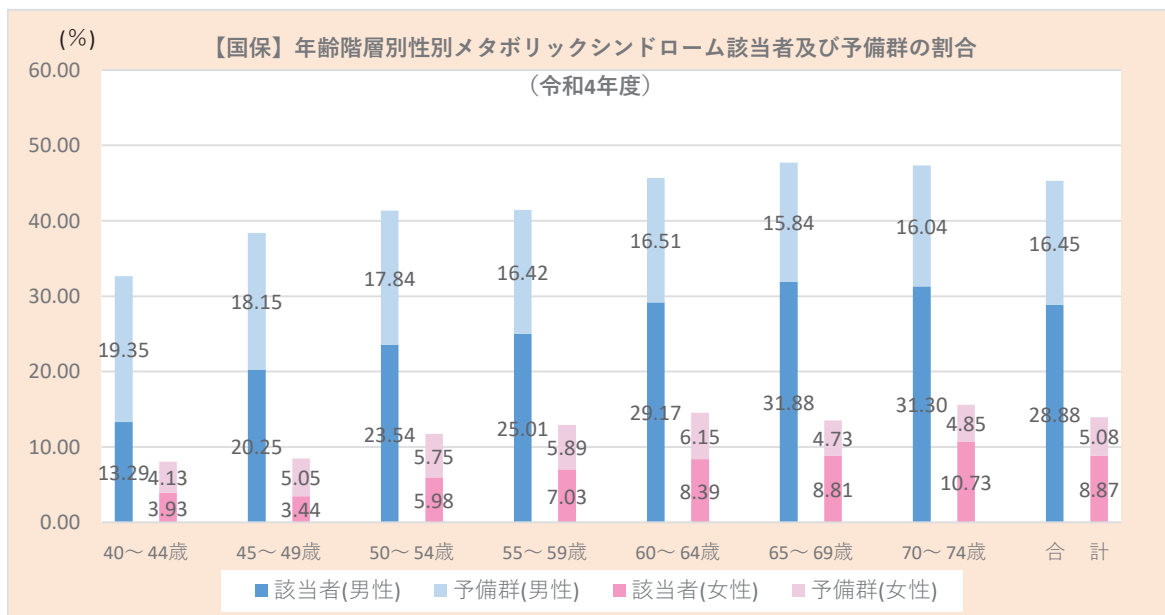
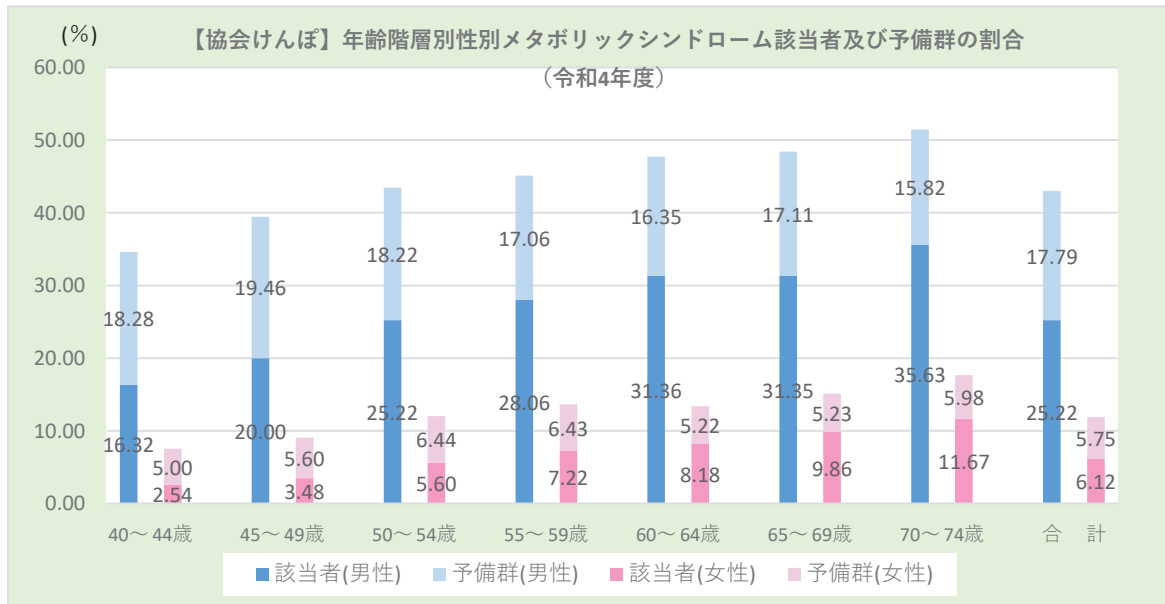
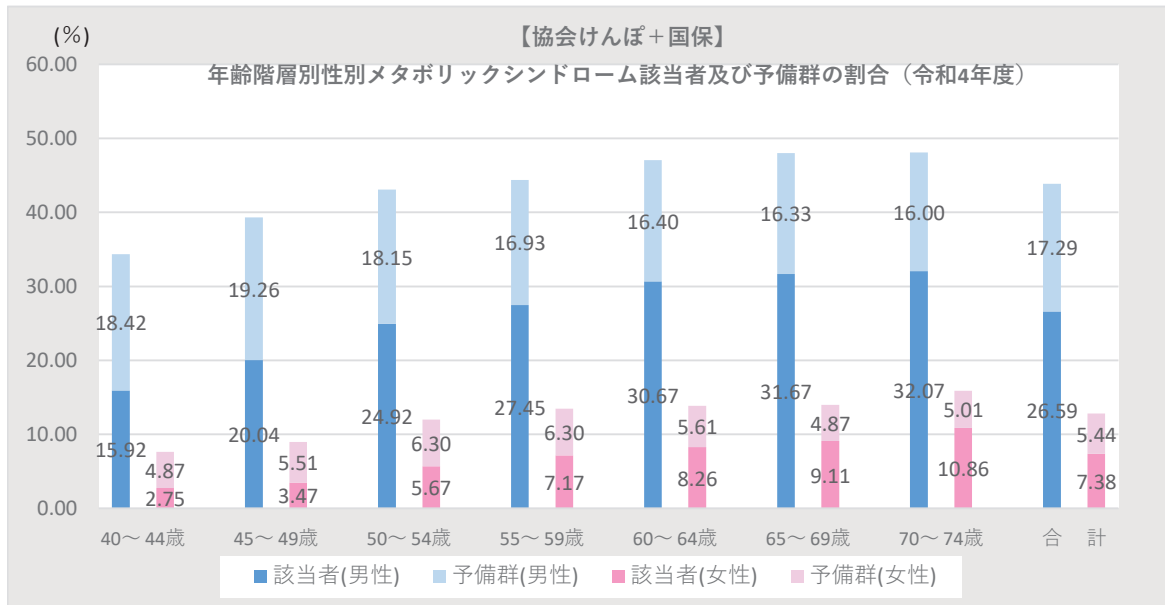
【協会けんぽ】年齢階層別メタボリックシンドローム該当者・予備群の人数、割合（男女合計）

		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
対象者(人)		12,889	15,829	15,942	13,845	11,616	7,803	4,457	82,381
人数(人)	該当者	1,327	1,989	2,594	2,530	2,381	1,699	1,091	13,611
	予備群	1,608	2,093	2,048	1,671	1,293	922	501	10,136
	計	2,935	4,082	4,642	4,201	3,674	2,621	1,592	23,747
割合(%)	該当者	10.30	12.57	16.27	18.27	20.50	21.77	24.48	16.52
	予備群	12.48	13.22	12.85	12.07	11.13	11.82	11.24	12.30
	計	22.77	25.79	29.12	30.34	31.63	33.59	35.72	28.83

【国保】年齢階層別メタボリックシンドローム該当者・予備群の人数、割合（男女合計）

		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
対象者(人)		2,124	2,888	3,617	3,932	6,769	15,416	23,658	58,404
人数(人)	該当者	187	355	546	605	1,157	2,918	4,782	10,550
	予備群	256	345	435	424	710	1,480	2,368	6,018
	計	443	700	981	1,029	1,867	4,398	7,150	16,568
割合(%)	該当者	8.80	12.29	15.10	15.39	17.09	18.93	20.21	18.06
	予備群	12.05	11.95	12.03	10.78	10.49	9.60	10.01	10.30
	計	20.86	24.24	27.12	26.17	27.58	28.53	30.22	28.37





3 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（肥満リスク）

<肥満リスクありの判定基準>

下記のいずれかを満たす健診受診者

- ①内臓脂肪面積 $\geq 100\text{cm}^2$
- ②腹囲 男性85cm以上、女性90cm以上
- ③BMI ≥ 25

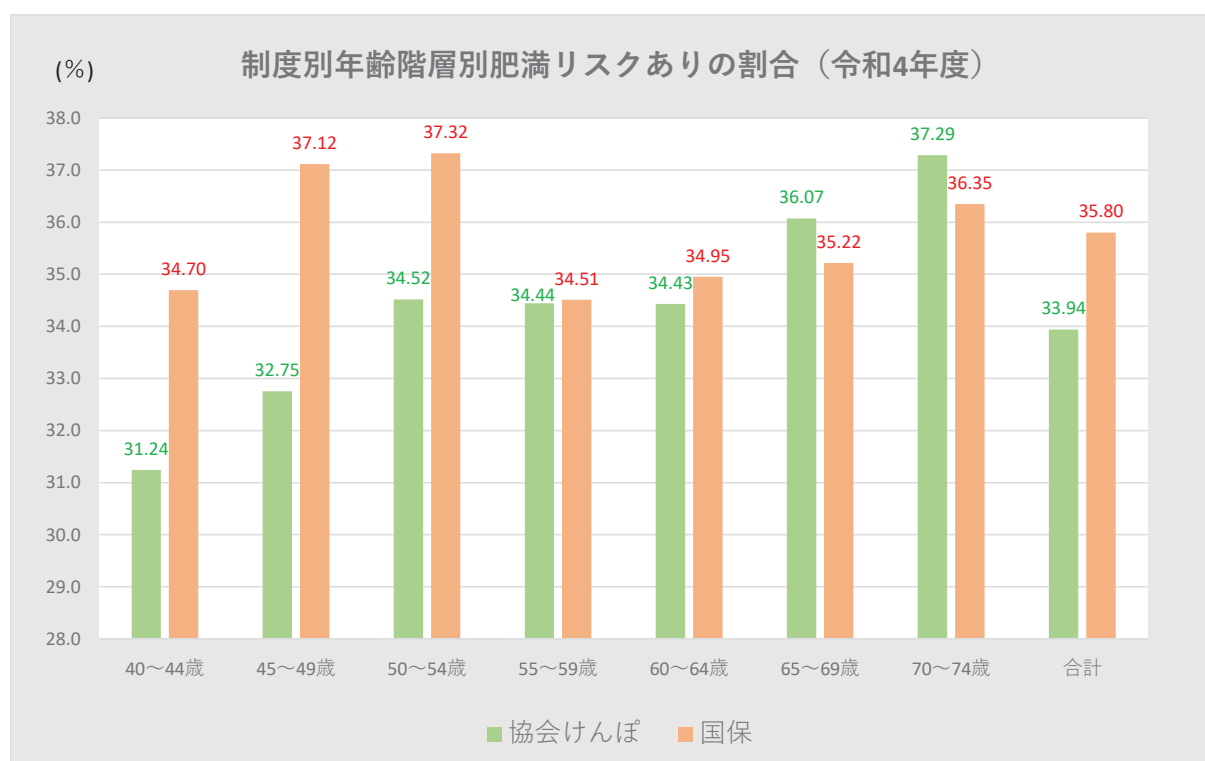
制度別に肥満リスク割合をみると、60～64歳以下は協会けんぽに比べて国保の割合が高く、65～69歳以上は協会けんぽの割合がやや高い。男女別にみると、男性は協会けんぽ、国保ともに5割前後に肥満リスクがあり、女性の約2～3倍高い。また、国保の女性は協会けんぽの女性に比べて全ての年齢階層で肥満リスク割合が高い。

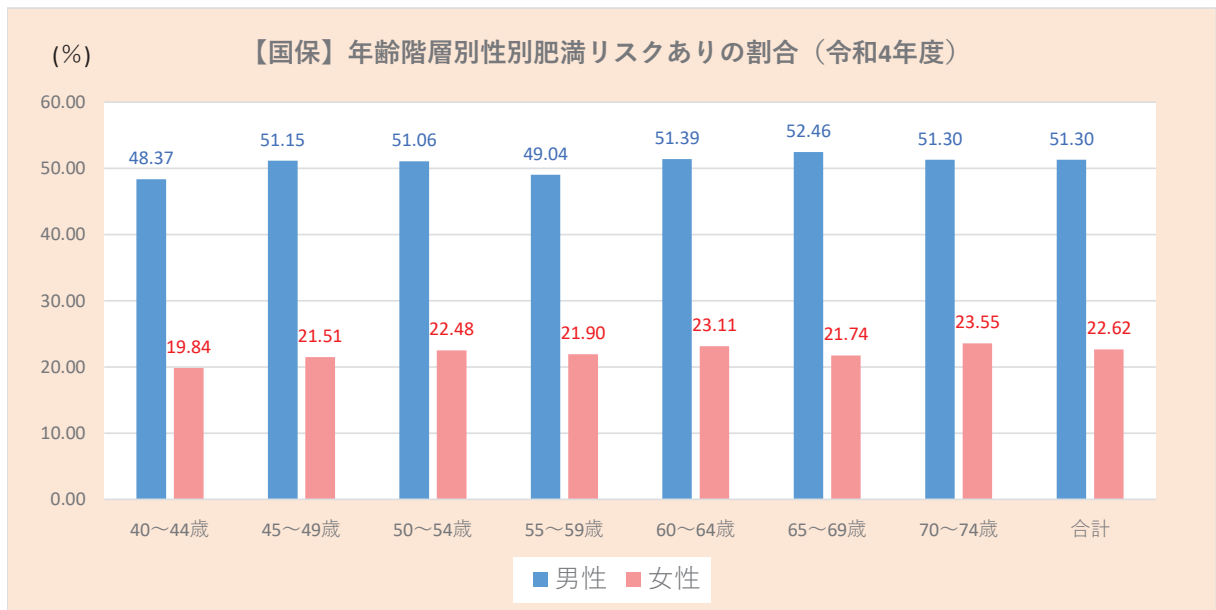
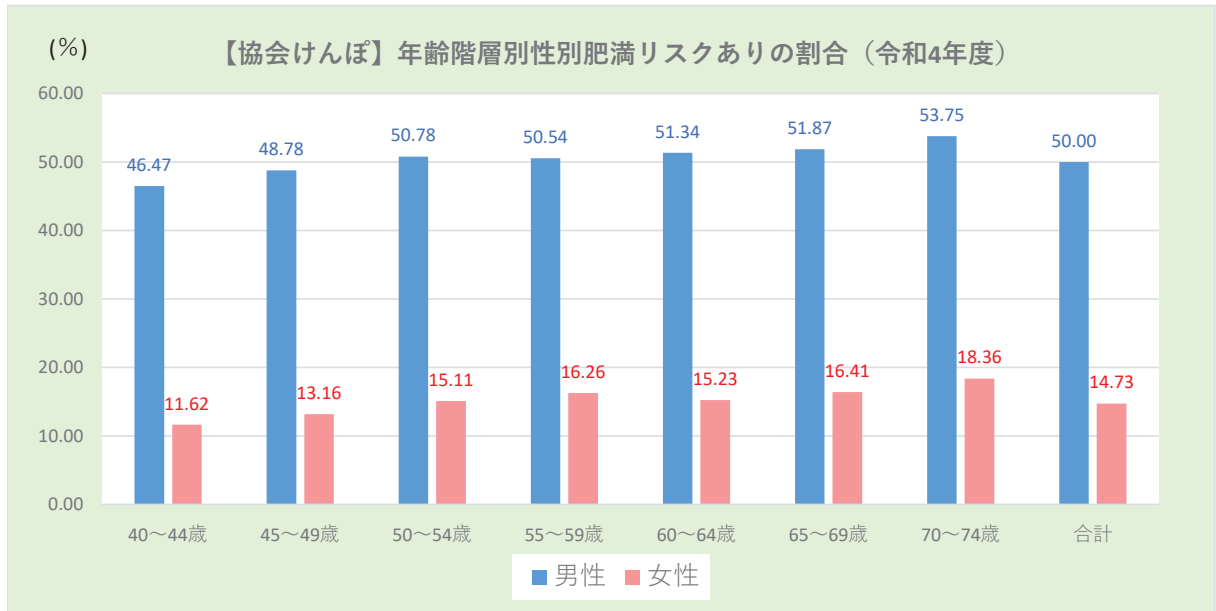
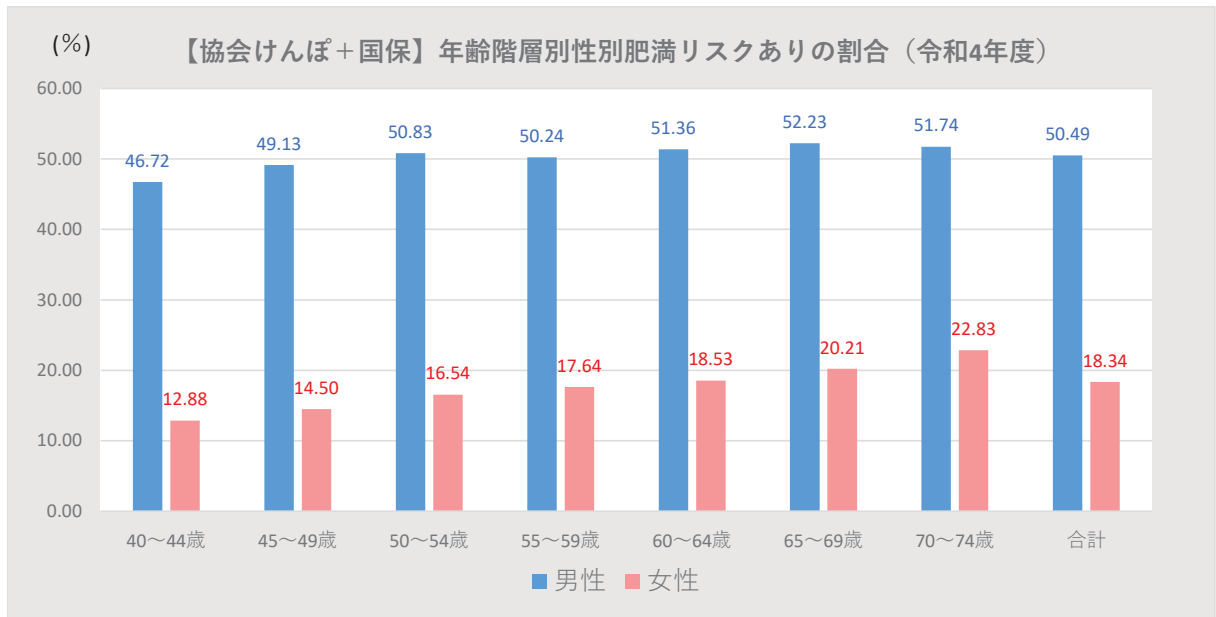
【協会けんぽ】年齢階層別肥満リスクありの人数、割合（男女合計）

	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
対象者(人)	12,896	15,840	15,950	13,854	11,621	7,807	4,460	82,428
該当者(人)	4,029	5,188	5,506	4,772	4,001	2,816	1,663	27,975
割合(%)	31.24	32.75	34.52	34.44	34.43	36.07	37.29	33.94

【国保】年齢階層別肥満リスクありの人数、割合（男女合計）

	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
対象者(人)	2,124	2,888	3,617	3,932	6,769	15,416	23,658	58,404
該当者(人)	737	1,072	1,350	1,357	2,366	5,429	8,599	20,910
割合(%)	34.70	37.12	37.32	34.51	34.95	35.22	36.35	35.80





4 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（血圧リスク）

＜血圧リスクありの判定基準＞

下記のいずれかを満たす健診受診者
①収縮期血圧 \geq 130mmHg
②拡張期血圧 \geq 85mmHg
③血圧：服薬あり

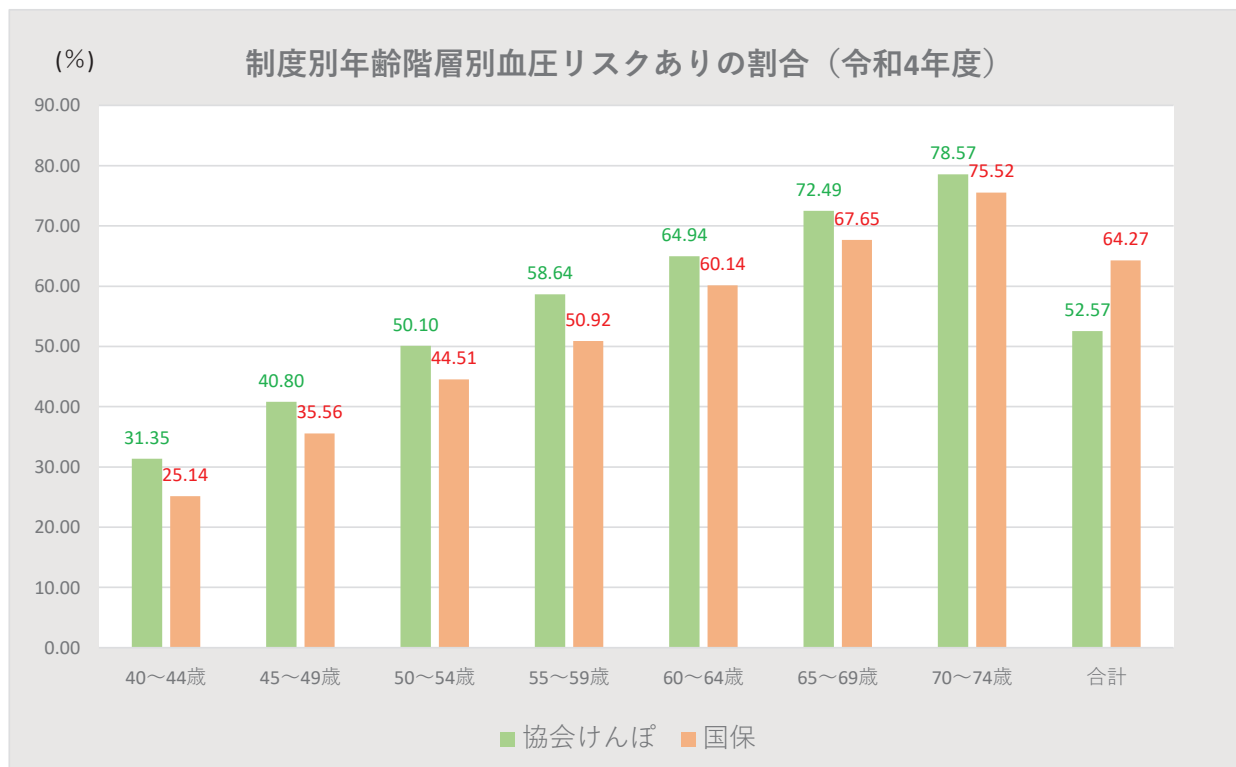
制度別に血圧リスク割合をみると、合計では協会けんぽより国保が高いが、年齢階層別にみると、全ての年齢階層で男女ともに協会けんぽが高い。特に、協会けんぽでは、若い世代の40～44歳で男性の4割、女性の2割、45～49歳で男性の5割、女性の3割に血圧リスクがある。また、男女別にみると、協会けんぽ、国保ともに女性に比べて男性のリスク割合が高い。

【協会けんぽ】年齢階層別血圧リスクありの人数、割合（男女合計）

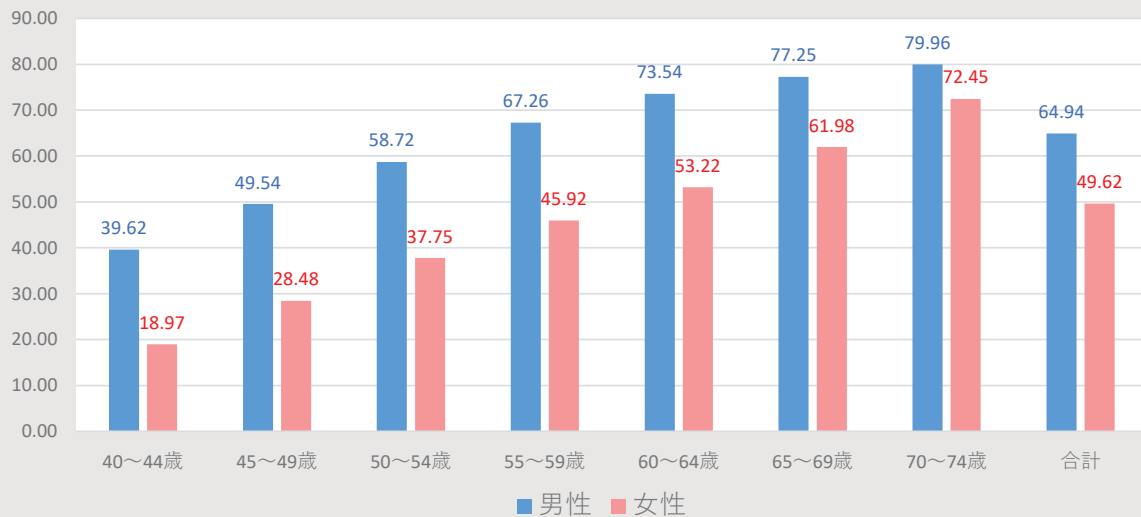
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
対象者(人)	12,896	15,840	15,950	13,854	11,621	7,807	4,460	82,428
該当者(人)	4,043	6,462	7,991	8,124	7,547	5,659	3,504	43,330
割合(%)	31.35	40.80	50.10	58.64	64.94	72.49	78.57	52.57

【国保】年齢階層別血圧リスクありの人数、割合（男女合計）

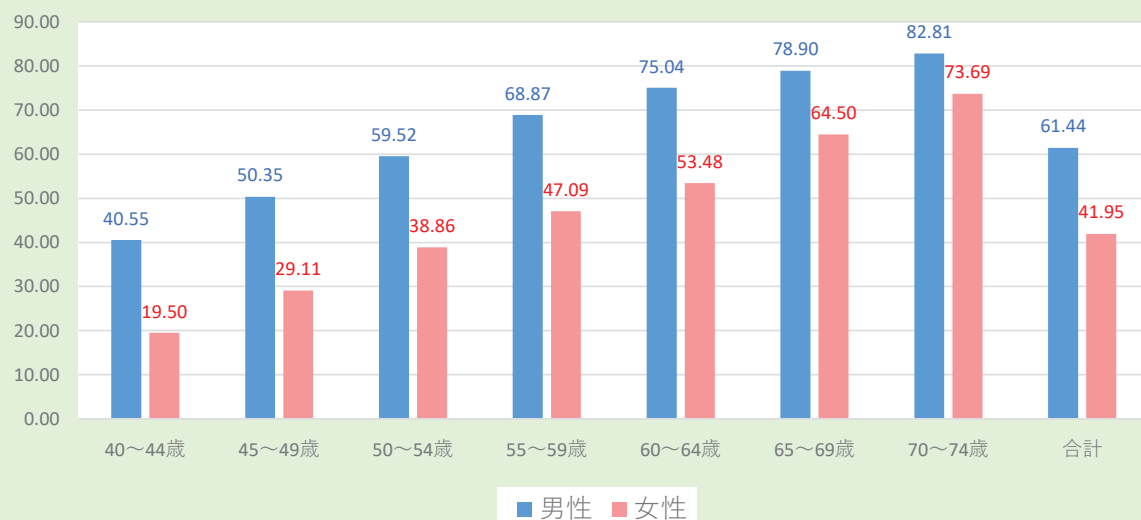
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
対象者(人)	2,124	2,888	3,617	3,932	6,769	15,416	23,658	58,404
該当者(人)	534	1,027	1,610	2,002	4,071	10,429	17,866	37,539
割合(%)	25.14	35.56	44.51	50.92	60.14	67.65	75.52	64.27



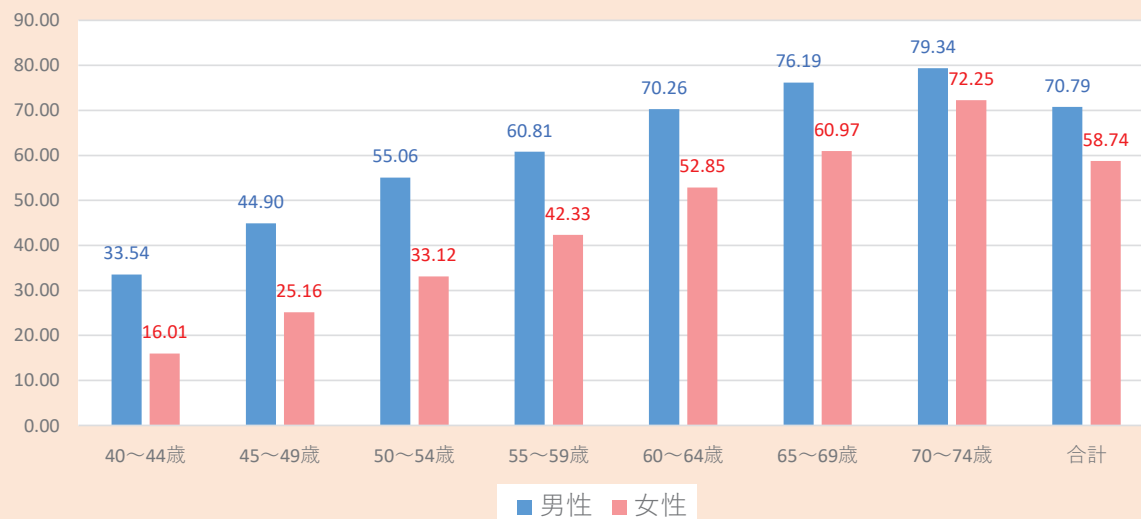
(%) 【協会けんぽ+国保】年齢階層別性別血圧リスクありの割合（令和4年度）



(%) 【協会けんぽ】年齢階層別性別血圧リスクありの割合（令和4年度）



(%) 【国保】年齢階層別性別血圧リスクありの割合（令和4年度）



5 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（血糖リスク）

＜血糖リスクありの判定基準＞

下記のいずれかを満たす健診受診者

- ①空腹時血糖 $\geq 100\text{mg/dl}$
- ②HbA1c $\geq 5.6\%$
- ③血糖：服薬あり

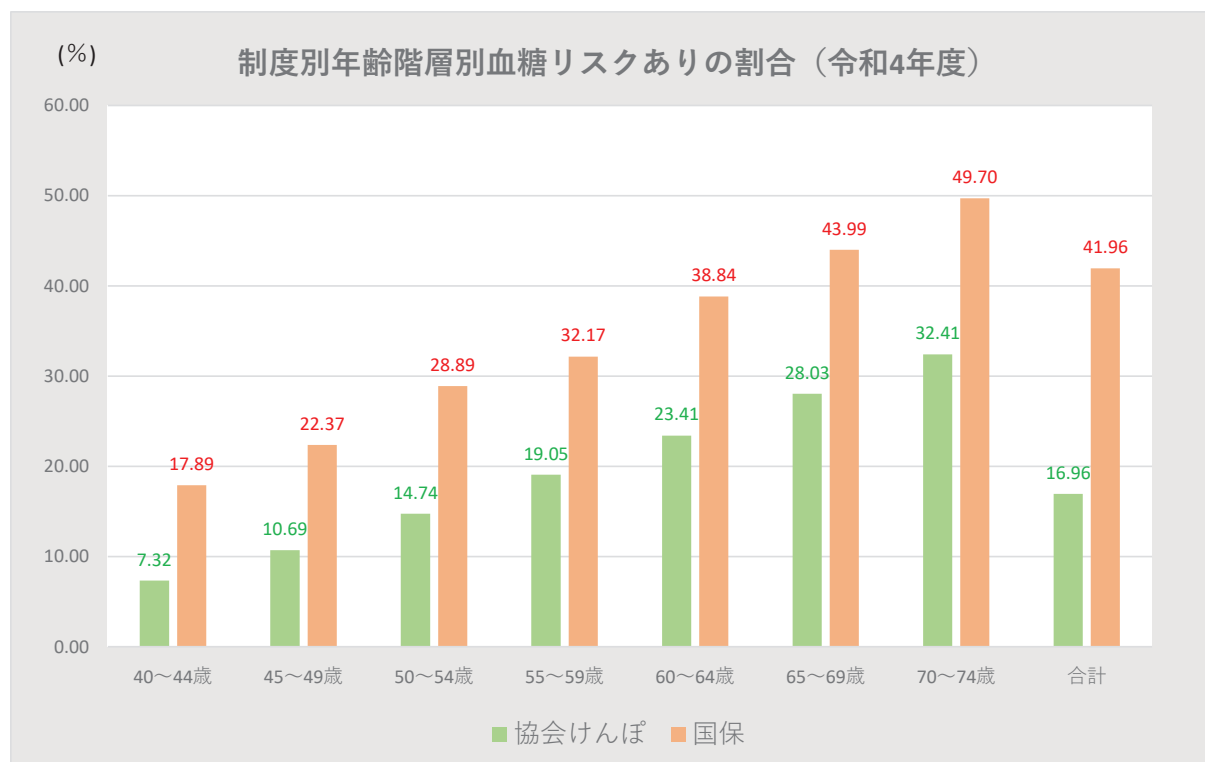
血糖リスク割合をみると、協会けんぽ、国保ともに全ての年齢階層で女性に比べて男性の血糖リスク割合が高い。また、国保は協会けんぽに比べて全ての年齢階層で高く、男性は約2倍、女性は約3倍高い。

【協会けんぽ】年齢階層別血糖リスクありの人数、割合（男女合計）

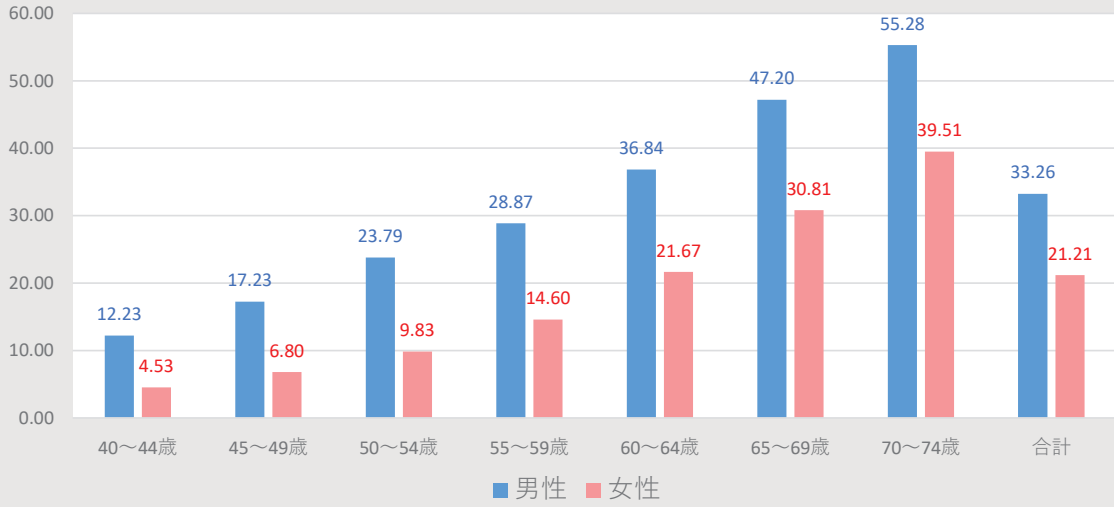
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
対象者(人)	12,862	15,797	15,905	13,804	11,577	7,775	4,440	82,160
該当者(人)	942	1,689	2,345	2,630	2,710	2,179	1,439	13,934
割合(%)	7.32	10.69	14.74	19.05	23.41	28.03	32.41	16.96

【国保】年齢階層別血糖リスクありの人数、割合（男女合計）

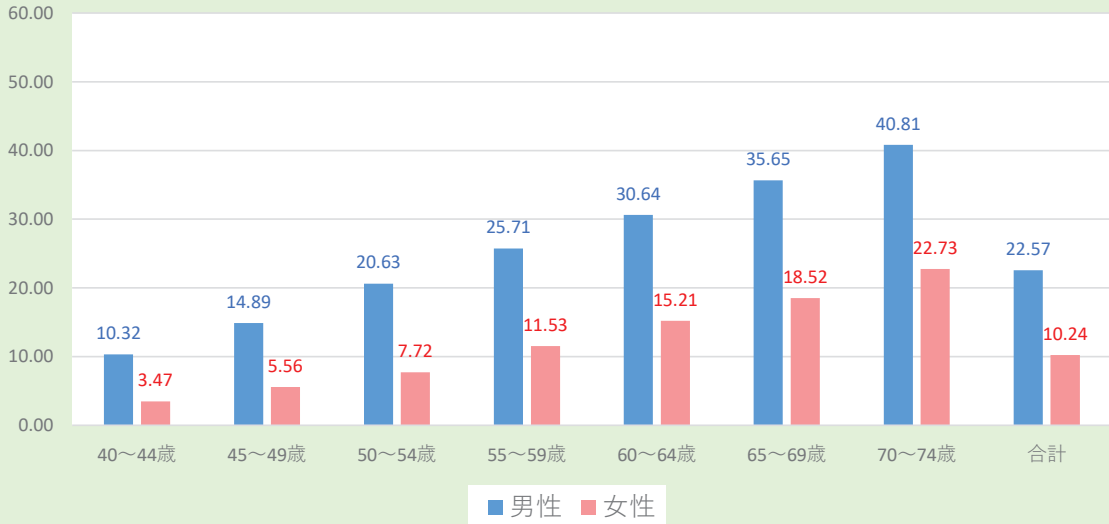
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
対象者(人)	2,124	2,888	3,617	3,932	6,769	15,416	23,658	58,404
該当者(人)	380	646	1,045	1,265	2,629	6,781	11,758	24,504
割合(%)	17.89	22.37	28.89	32.17	38.84	43.99	49.70	41.96



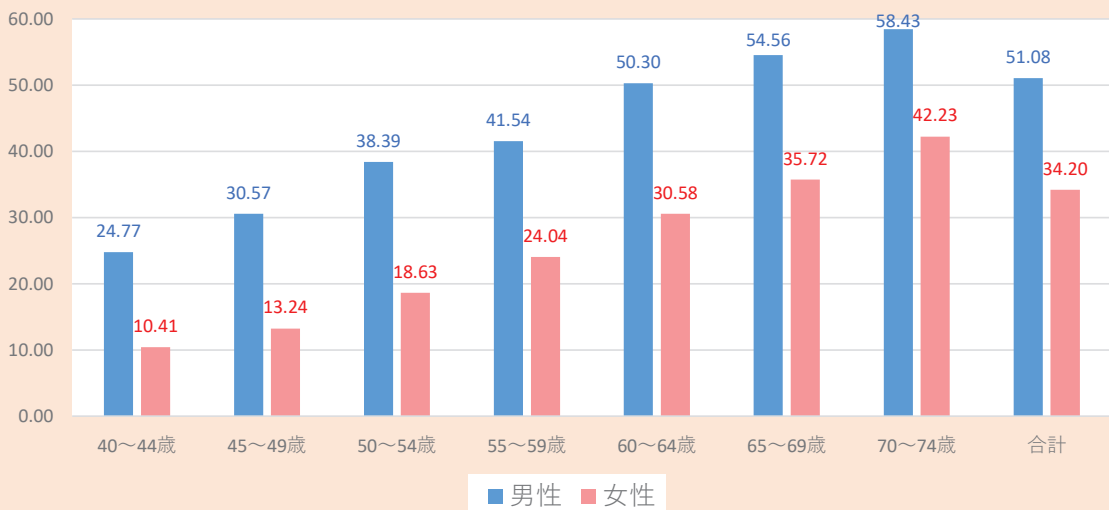
(%) 【協会けんぽ+国保】年齢階層別性別血糖リスクありの割合（令和4年度）



(%) 【協会けんぽ】年齢階層別性別血糖リスクありの割合（令和4年度）



(%) 【国保】年齢階層別性別血糖リスクありの割合（令和4年度）



6 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（脂質リスク）

<脂質リスクありの判定基準>

下記のいずれかを満たす健診受診者

- ①中性脂肪 $\geq 150\text{mg/dl}$
- ②HDL $< 40\text{mg/dl}$
- ③脂質：服薬あり

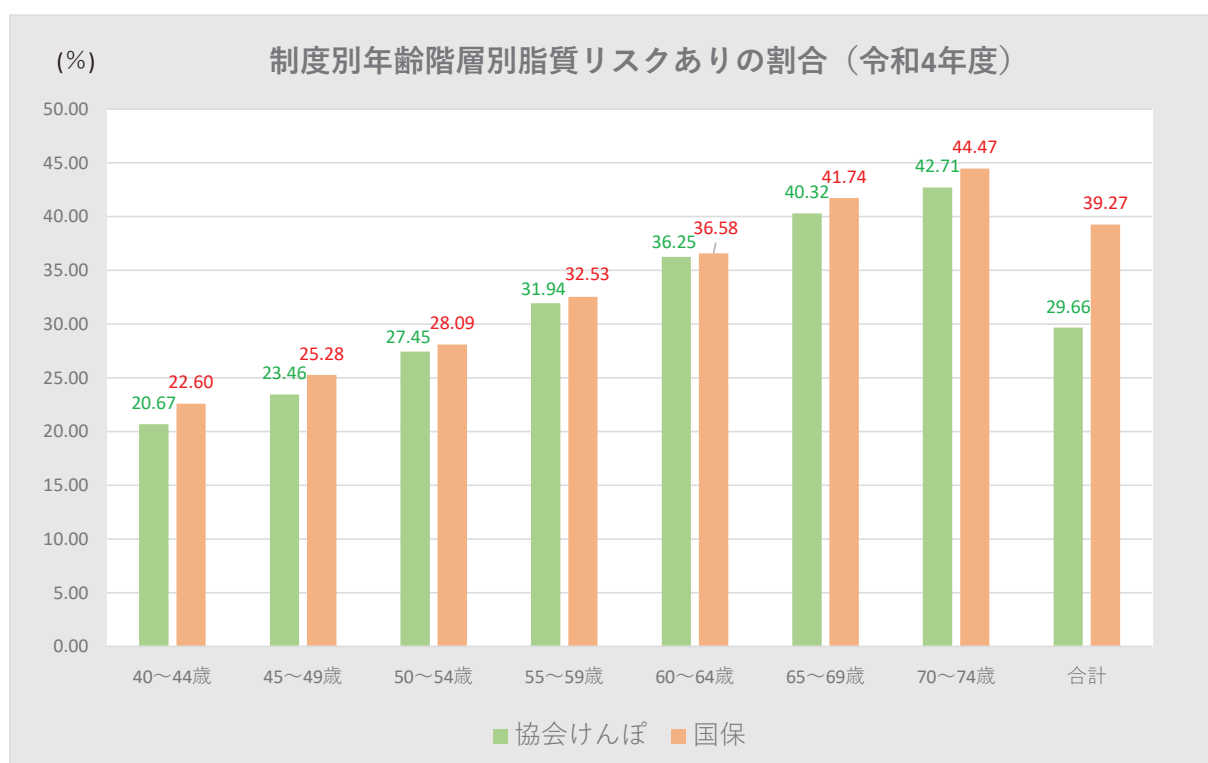
脂質リスク割合を年齢階層別にみると、国保は協会けんぽに比べて、同程度かやや高く、男女別にみても国保がやや高い。また、協会けんぽ、国保ともに、女性より男性が高く、特に、40歳代男性では女性の約3倍以上脂質リスク割合が高い。

【協会けんぽ】年齢階層別脂質リスクありの人数、割合（男女合計）

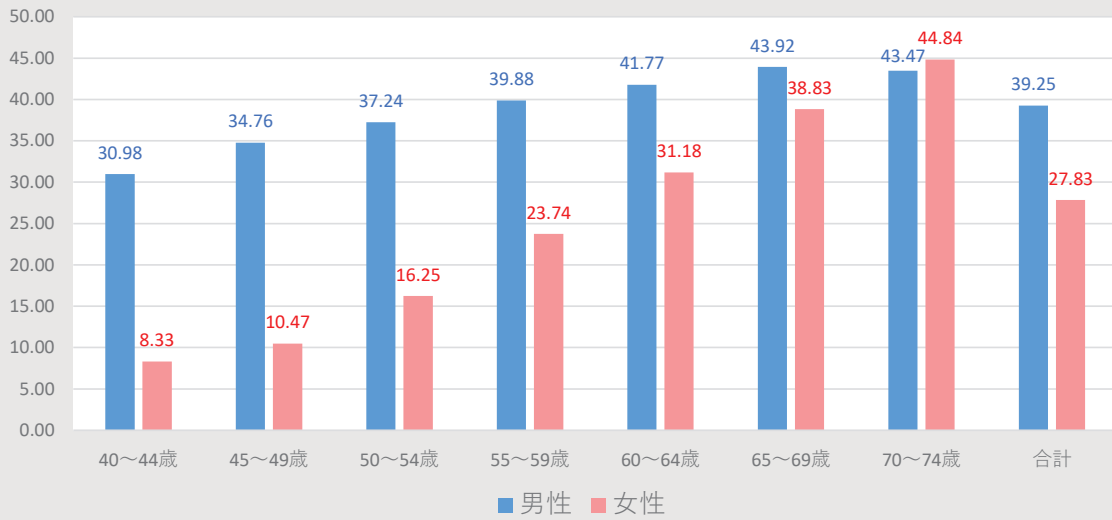
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
対象者(人)	12,896	15,839	15,948	13,852	11,620	7,806	4,460	82,421
該当者(人)	2,666	3,716	4,378	4,424	4,212	3,147	1,905	24,448
割合(%)	20.67	23.46	27.45	31.94	36.25	40.32	42.71	29.66

【国保】年齢階層別脂質リスクありの人数、割合（男女合計）

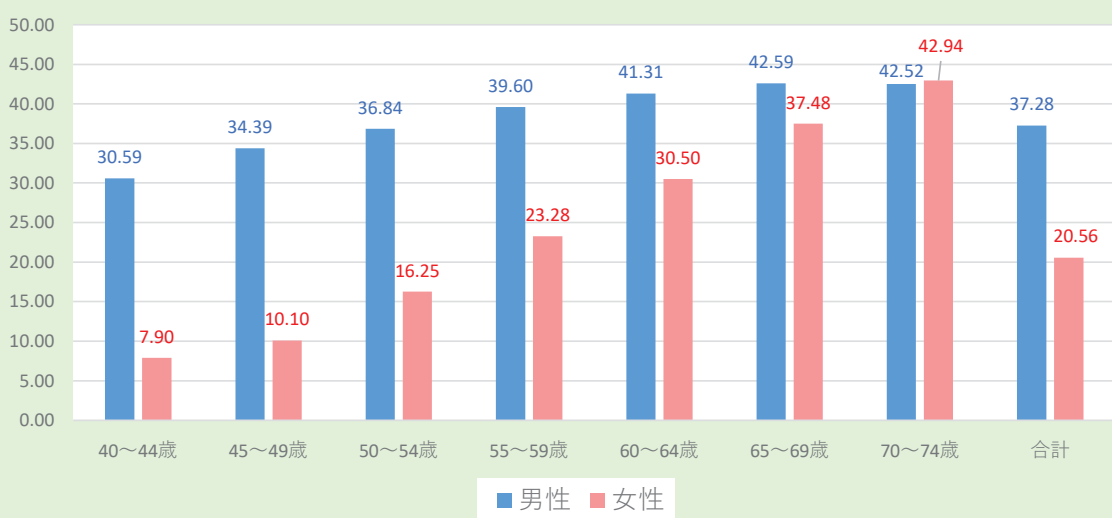
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
対象者(人)	2,124	2,888	3,617	3,932	6,769	15,416	23,658	58,404
該当者(人)	480	730	1,016	1,279	2,476	6,435	10,521	22,937
割合(%)	22.60	25.28	28.09	32.53	36.58	41.74	44.47	39.27



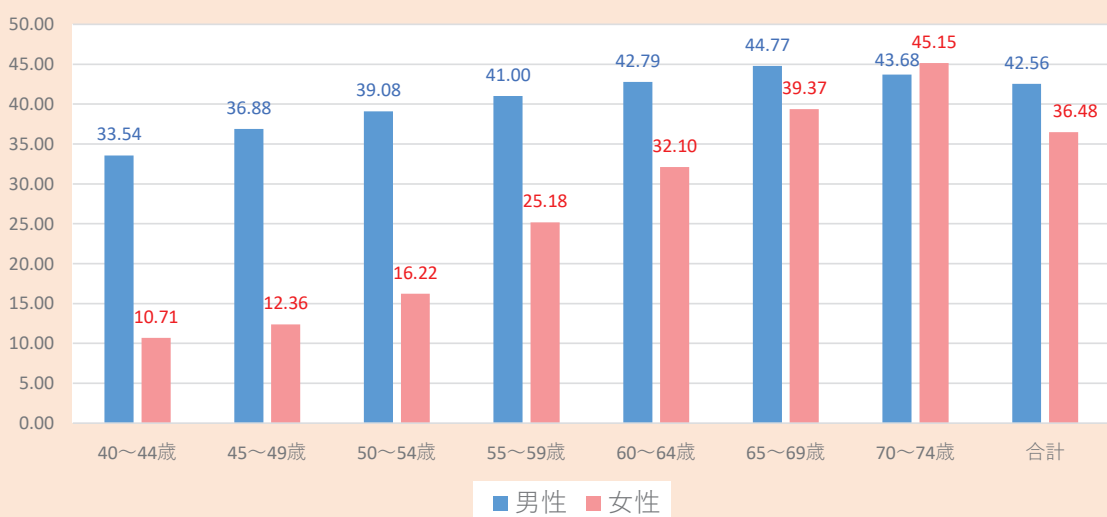
(%) 【協会けんぽ+国保】年齢階層別性別脂質リスクありの割合（令和4年度）



(%) 【協会けんぽ】年齢階層別性別脂質リスクありの割合（令和4年度）



(%) 【国保】年齢階層別性別脂質リスクありの割合（令和4年度）



7 生活習慣病リスク保有者の人数、割合（喫煙）

〈喫煙ありの判定基準〉

標準的な質問票の質問項目

8 現在、たばこを習慣的に吸っていますか。

① はい

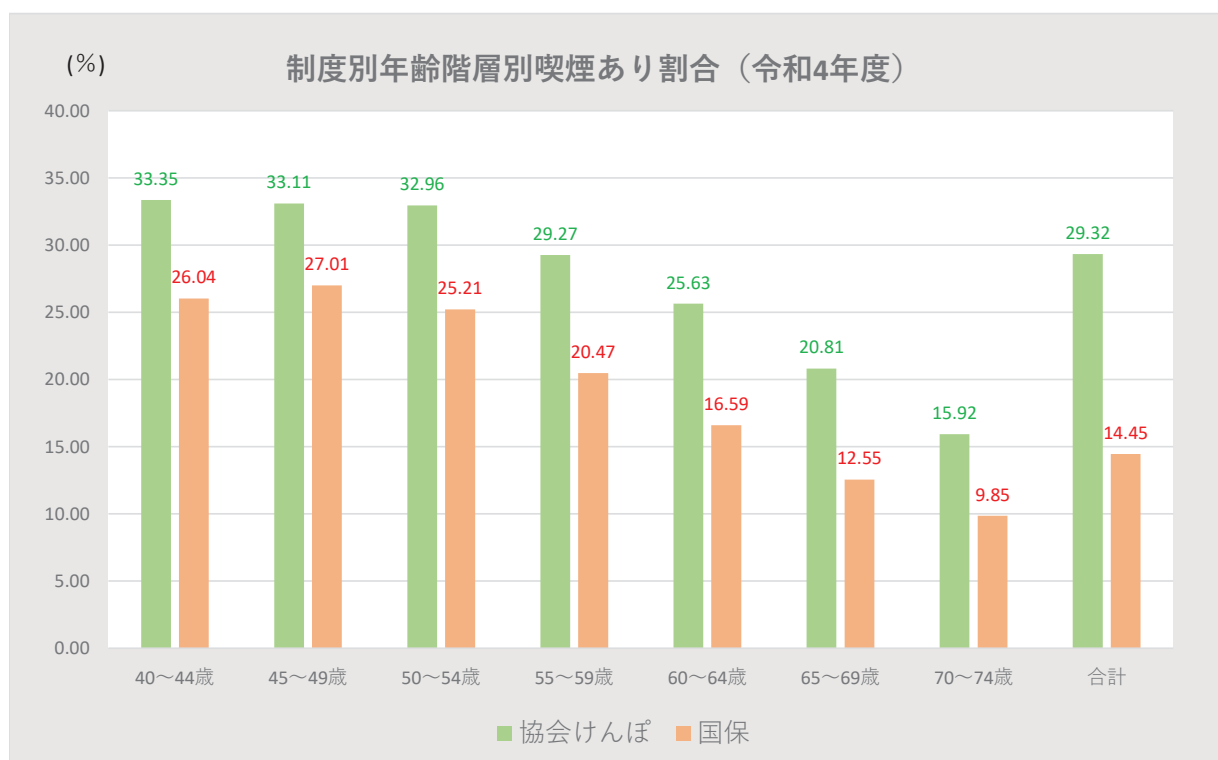
制度別に喫煙ありの割合をみると、協会けんぽは国保より全ての年齢階層で男女とも高く、合計では国保の約2倍高い。また、男女別にみると、男性は女性の約3倍高く、40歳代男性は、協会けんぽでは45%以上、国保では36%以上が喫煙しており、年齢とともに喫煙率は減少する。

【協会けんぽ】年齢階層別喫煙ありの人数、割合（男女合計）

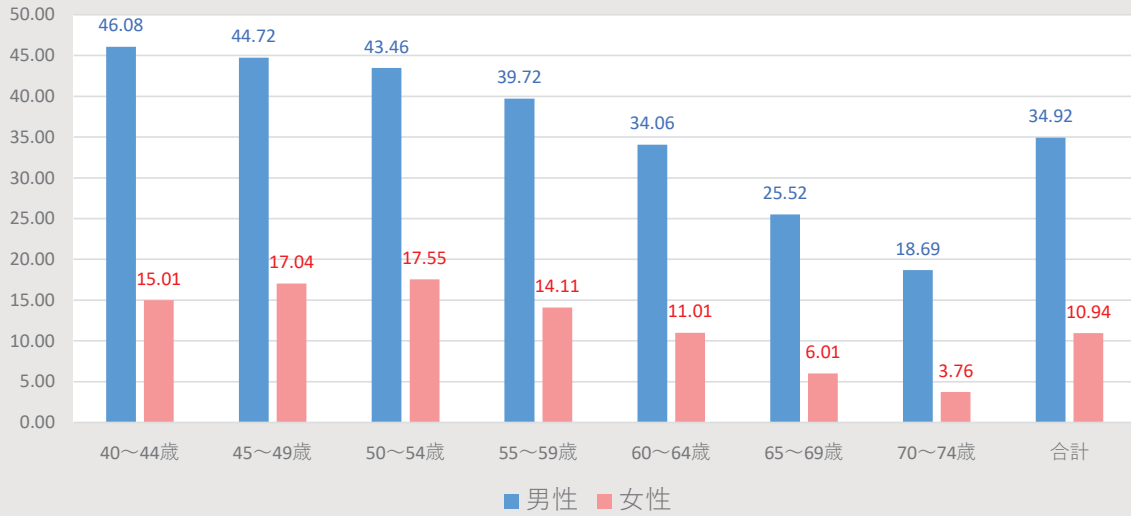
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
回答者(人)	12,896	15,840	15,950	13,854	11,621	7,807	4,460	82,428
該当者(人)	4,301	5,244	5,257	4,055	2,979	1,625	710	24,171
割合(%)	33.35	33.11	32.96	29.27	25.63	20.81	15.92	29.32

【国保】年齢階層別喫煙ありの人数、割合（男女合計）

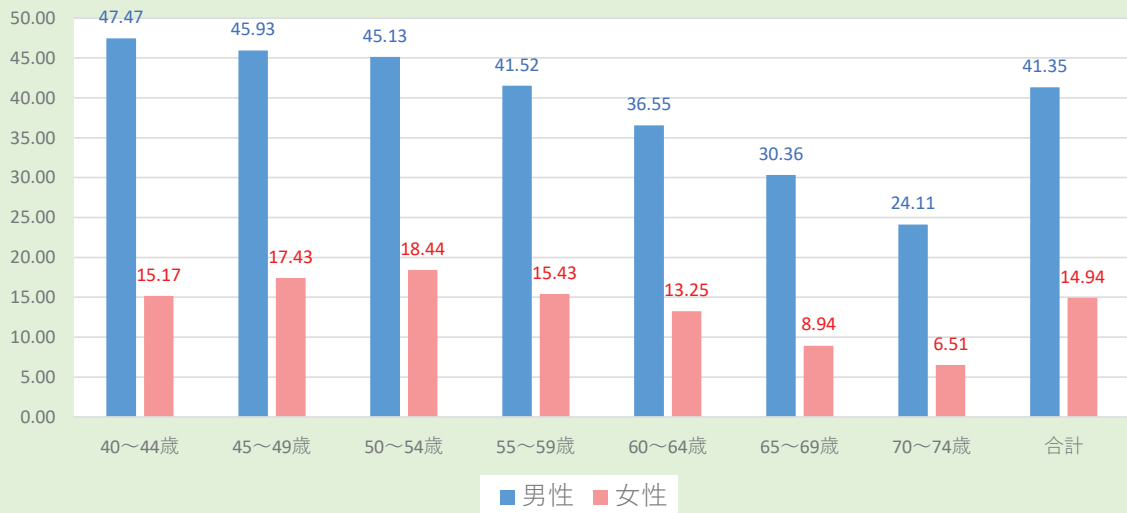
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
回答者(人)	2,124	2,888	3,617	3,932	6,769	15,415	23,658	58,403
該当者(人)	553	780	912	805	1,123	1,934	2,331	8,438
割合(%)	26.04	27.01	25.21	20.47	16.59	12.55	9.85	14.45



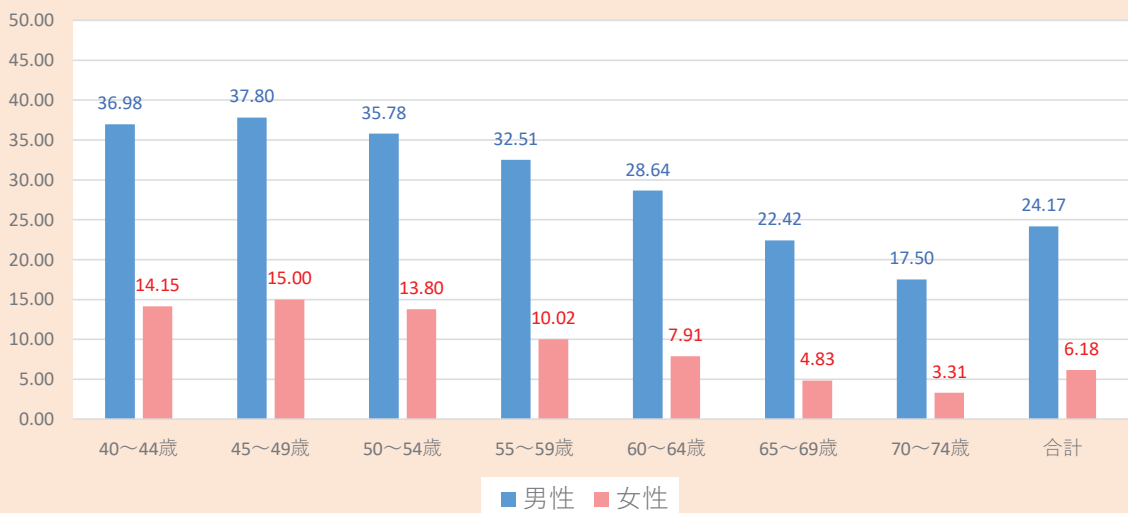
(%) 【協会けんぽ+国保】年齢階層別性別喫煙ありの割合（令和4年度）



(%) 【協会けんぽ】年齢階層別性別喫煙ありの割合（令和4年度）



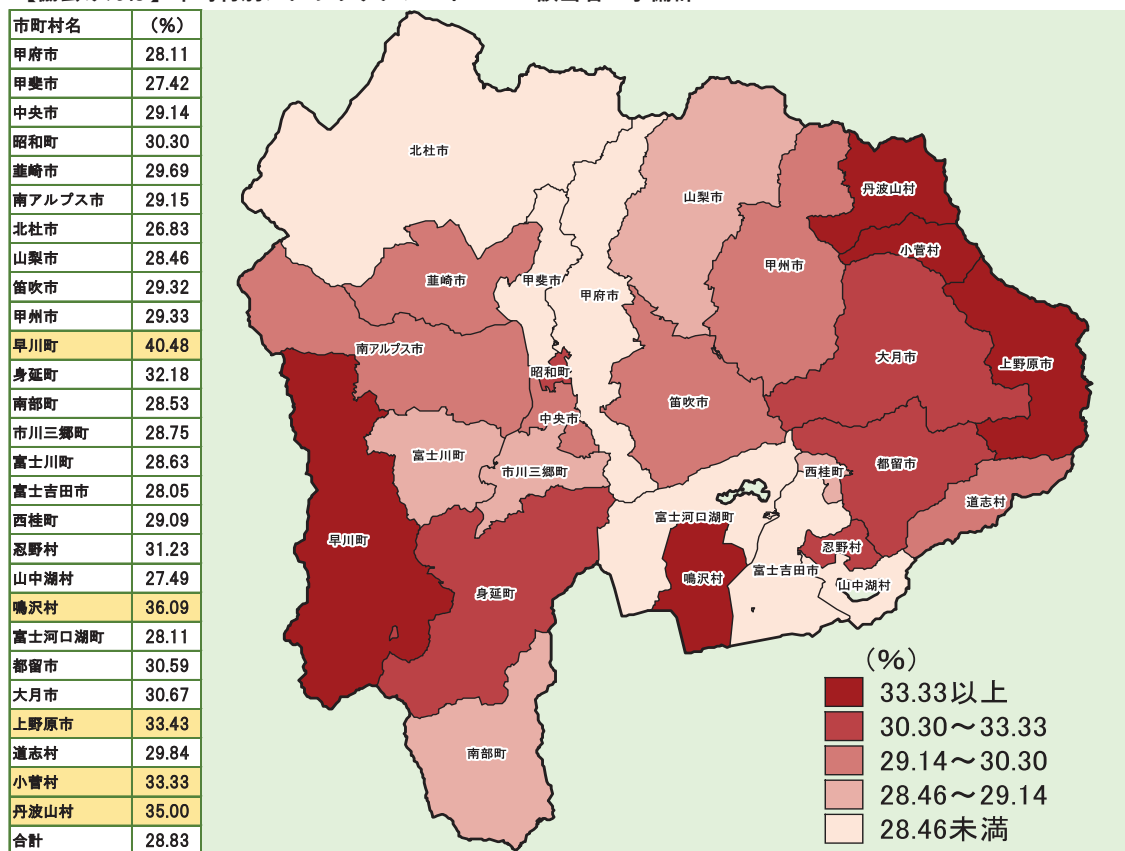
(%) 【国保】年齢階層別性別喫煙ありの割合（令和4年度）



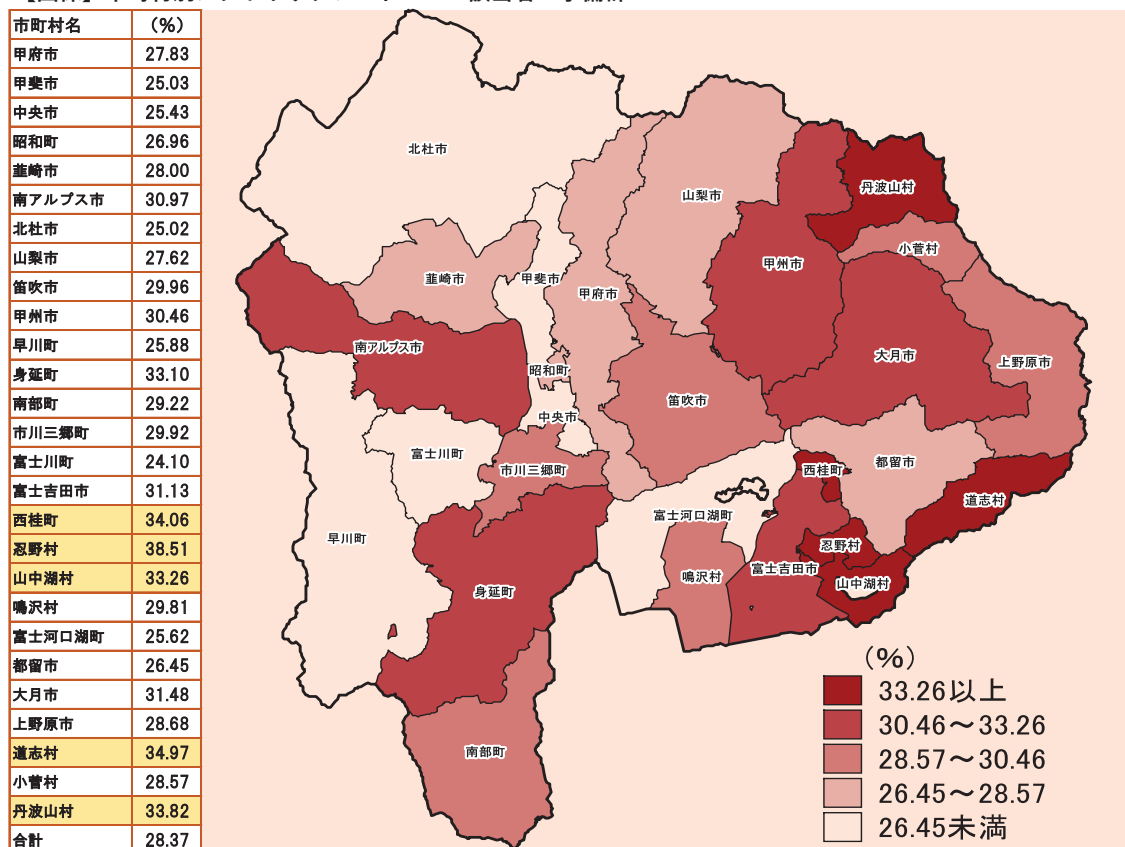
8 市町村別生活習慣病リスク保有者の割合

(1) メタボリックシンドローム該当者・予備軍

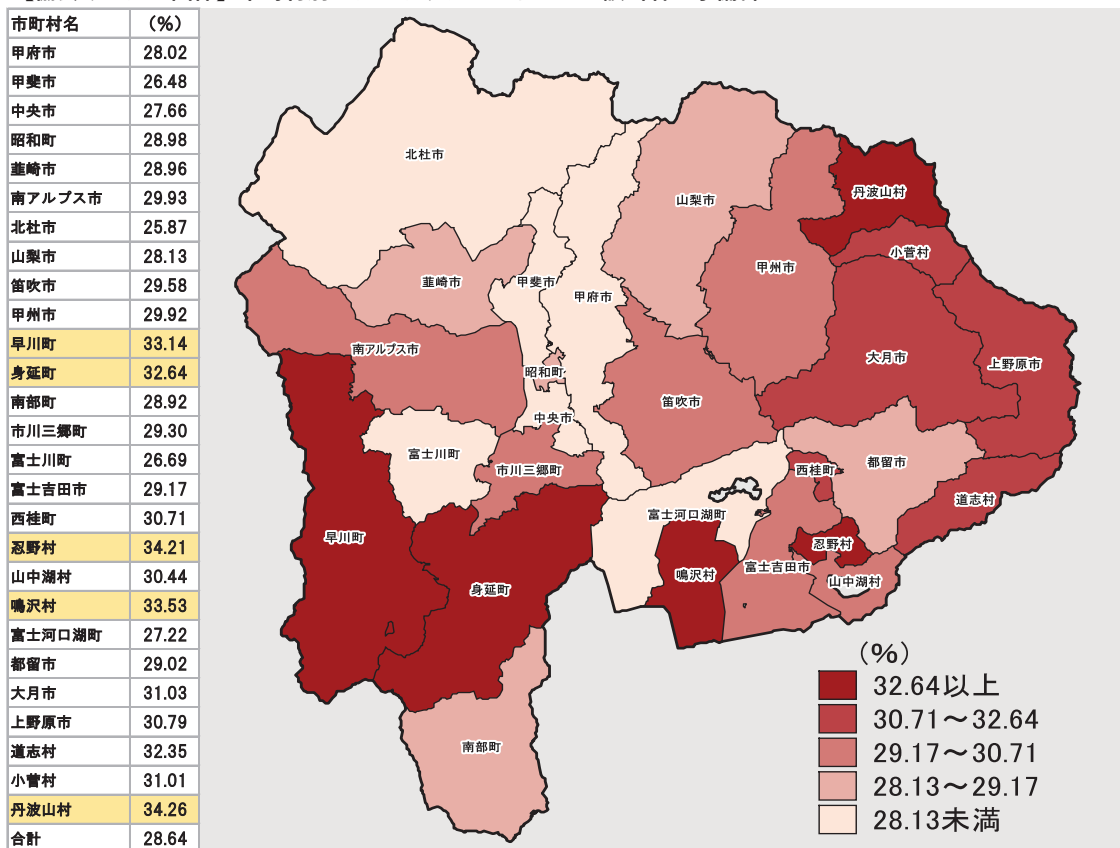
【協会けんぽ】市町村別メタボリックシンドローム該当者・予備群



【国保】市町村別メタボリックシンドローム該当者・予備群



【協会けんぽ+国保】市町村別メタボリックシンドローム該当者・予備群

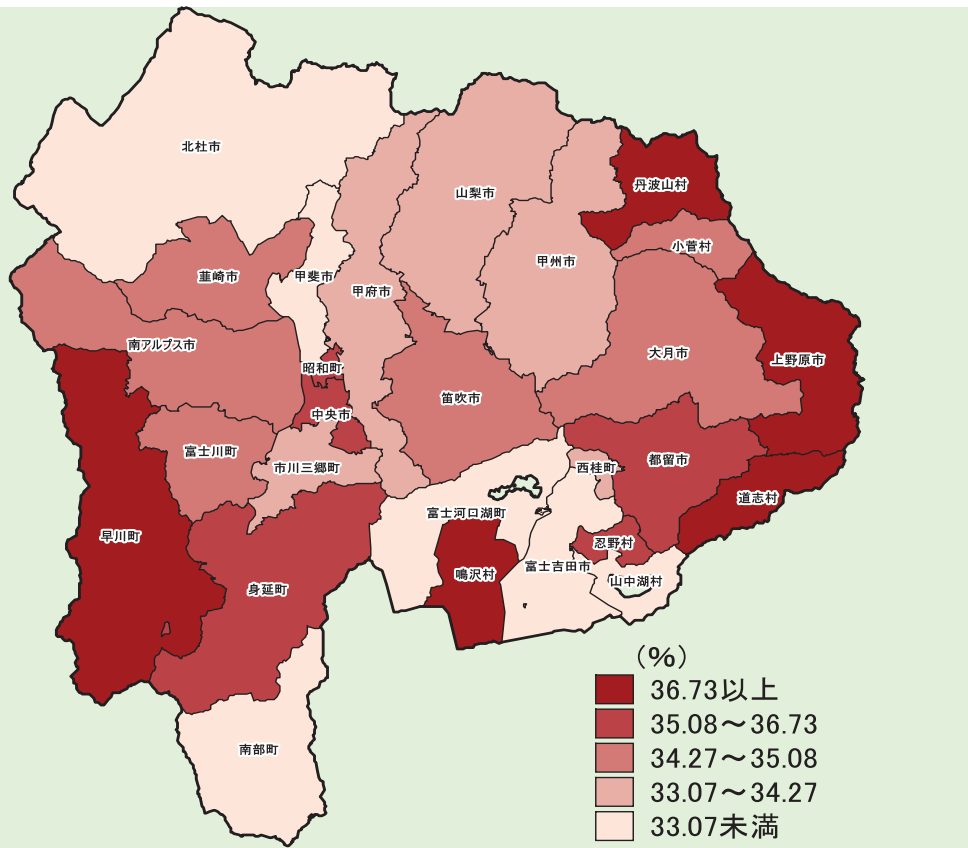


市町村別にメタボリックシンドローム該当者・予備群の割合をみると、協会けんぽでは、早川町、鳴沢村、丹波山村、上野原市、小菅村の順に高く、国保では、忍野村、道志村、西桂町、丹波山村、山中湖村の順に高い。メタボリックシンドローム該当者・予備群割合の高い市町村は、富士・東部地域、峡南地域にやや多い。

(2) 肥満リスク

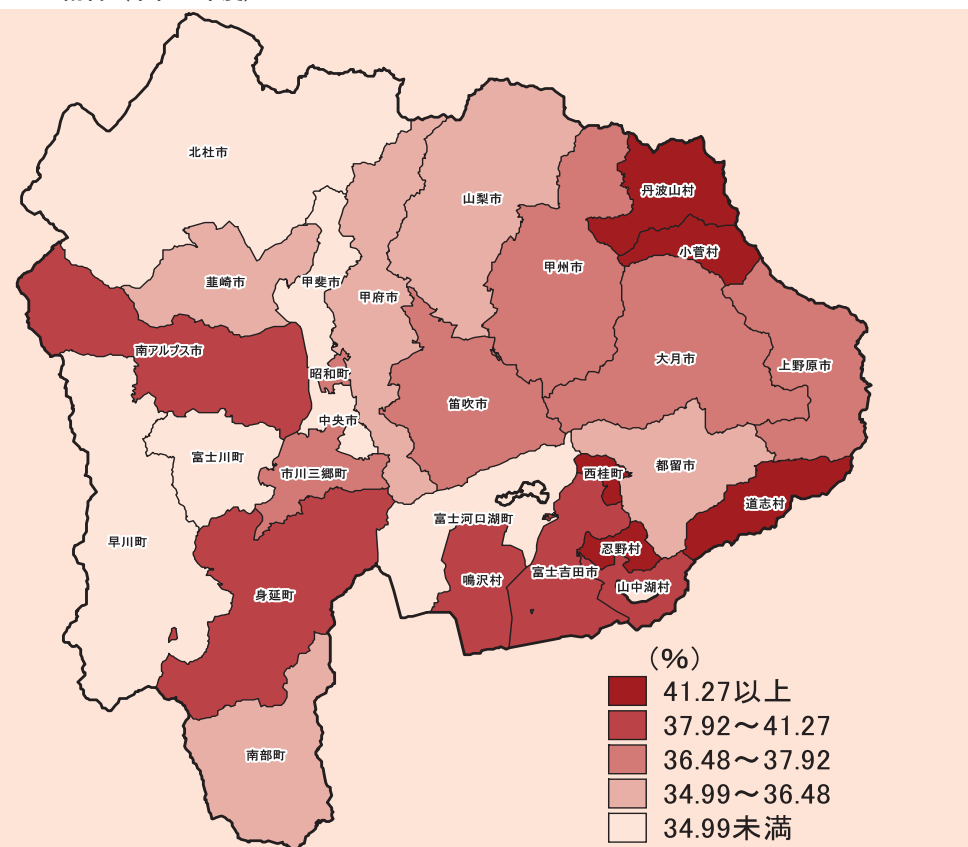
【協会けんぽ】市町村別肥満リスクの割合（令和4年度）

市町村名	(%)
甲府市	33.81
甲斐市	32.92
中央市	35.08
昭和町	36.62
韮崎市	34.57
南アルプス市	34.54
北社市	31.24
山梨市	33.07
笛吹市	34.85
甲州市	33.76
早川町	45.24
身延町	36.25
南部町	33.03
市川三郷町	33.92
富士川町	34.27
富士吉田市	32.02
西桂町	33.33
忍野村	35.29
山中湖村	30.95
鳴沢村	40.73
富士河口湖町	32.36
都留市	35.11
大月市	34.70
上野原市	36.73
道志村	38.74
小菅村	34.85
丹波山村	40.00
合計	33.94

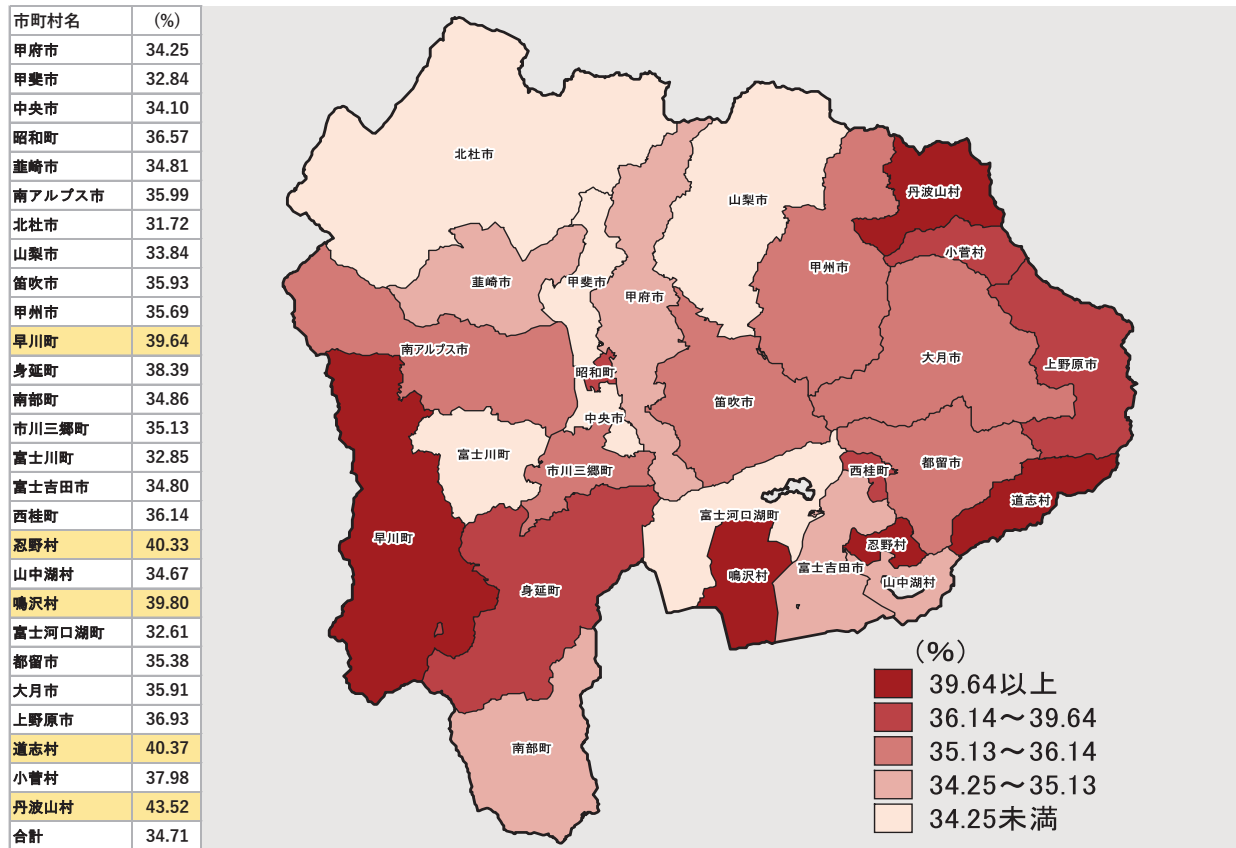


【国保】市町村別肥満リスクの割合（令和4年度）

市町村名	(%)
甲府市	35.08
甲斐市	32.72
中央市	32.60
昭和町	36.49
韮崎市	35.13
南アルプス市	37.92
北社市	32.15
山梨市	34.99
笛吹市	37.53
甲州市	37.43
早川町	34.12
身延町	40.58
南部町	36.24
市川三郷町	36.48
富士川町	30.95
富士吉田市	39.66
西桂町	41.92
忍野村	47.58
山中湖村	38.22
鳴沢村	38.46
富士河口湖町	33.05
都留市	35.83
大月市	37.42
上野原市	37.09
道志村	42.08
小菅村	41.27
丹波山村	45.59
合計	35.80



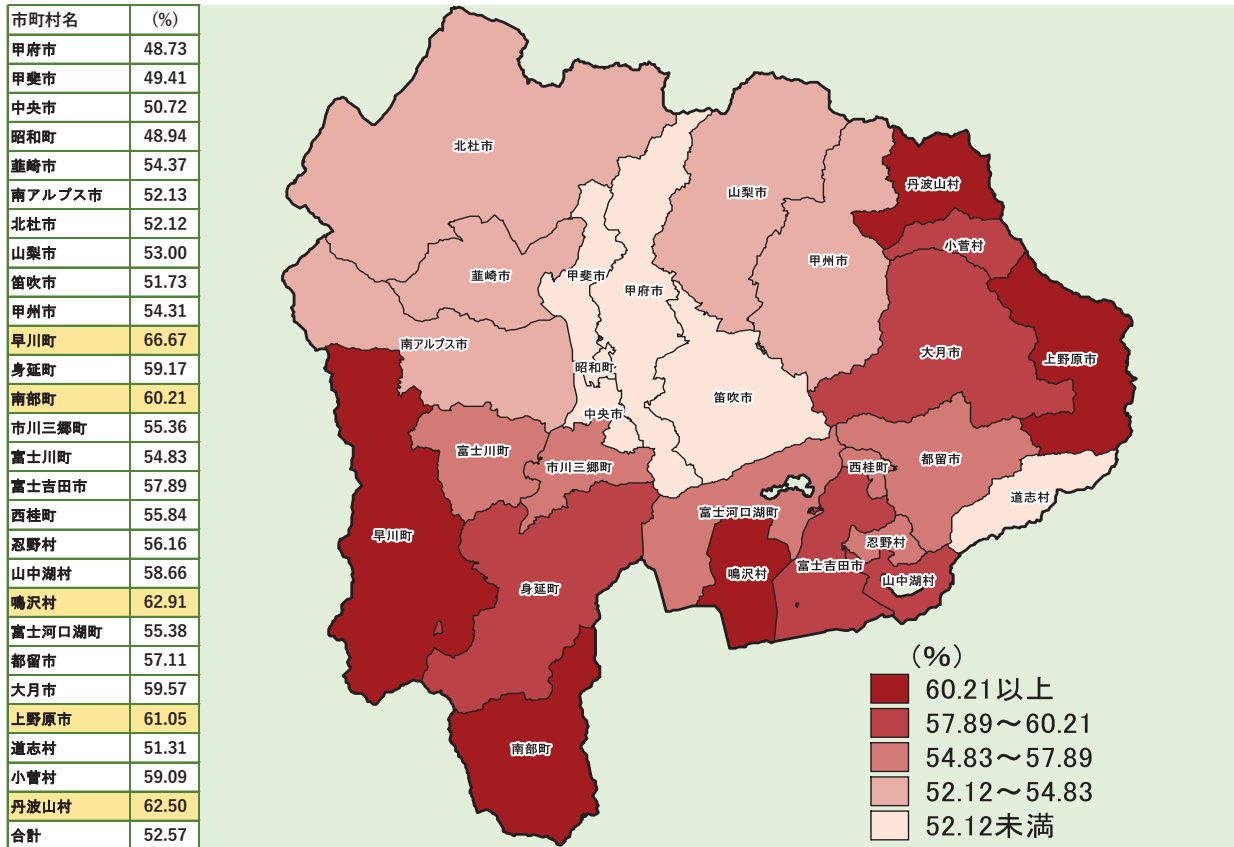
【協会けんぽ+国保】市町村別肥満リスクの割合（令和4年度）



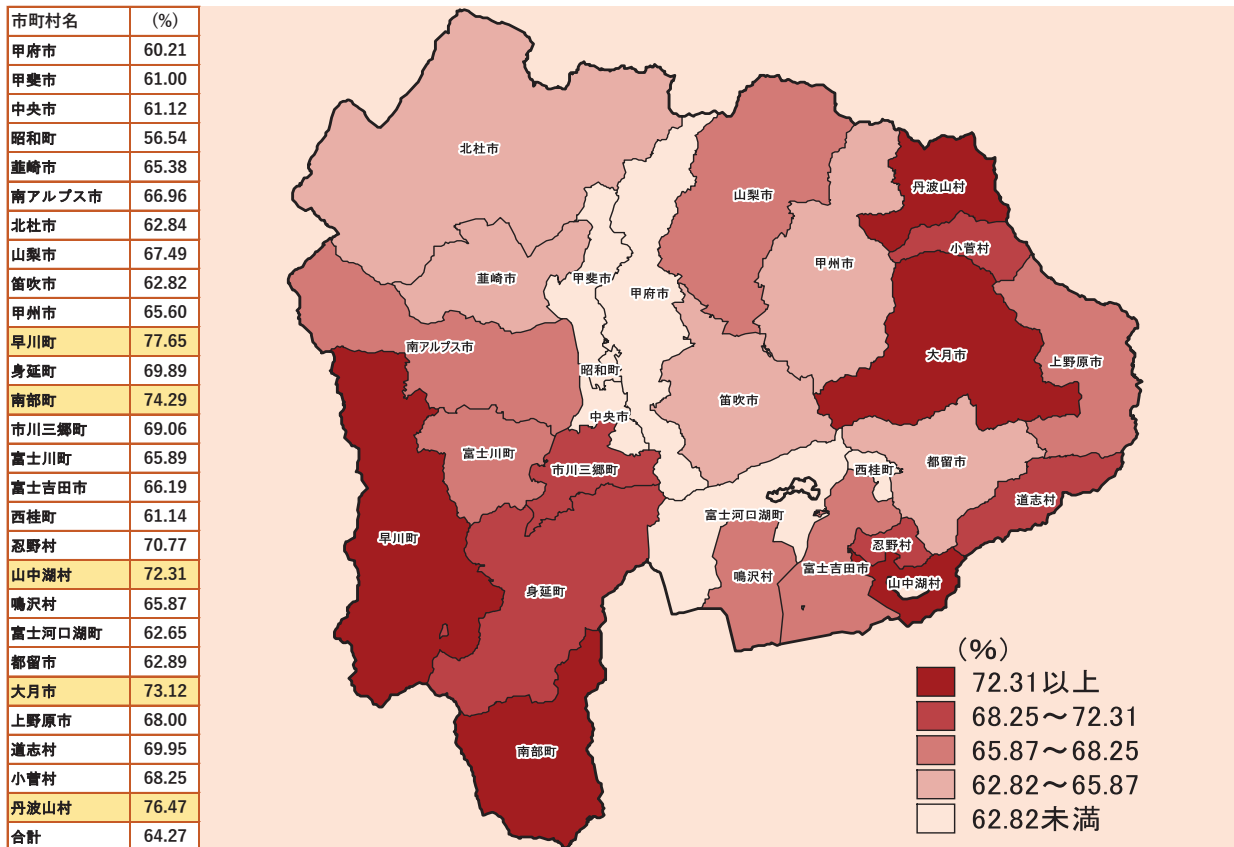
市町村別の肥満リスク割合をみると、協会けんぽでは、早川町、鳴沢村、丹波山村、道志村、上野原市の順に高く、国保では、忍野村、丹波山村、道志村、西桂町、道志村の順に高い。割合が高い市町村は、富士・東部地域にやや多くみられる。

(3) 血圧リスク

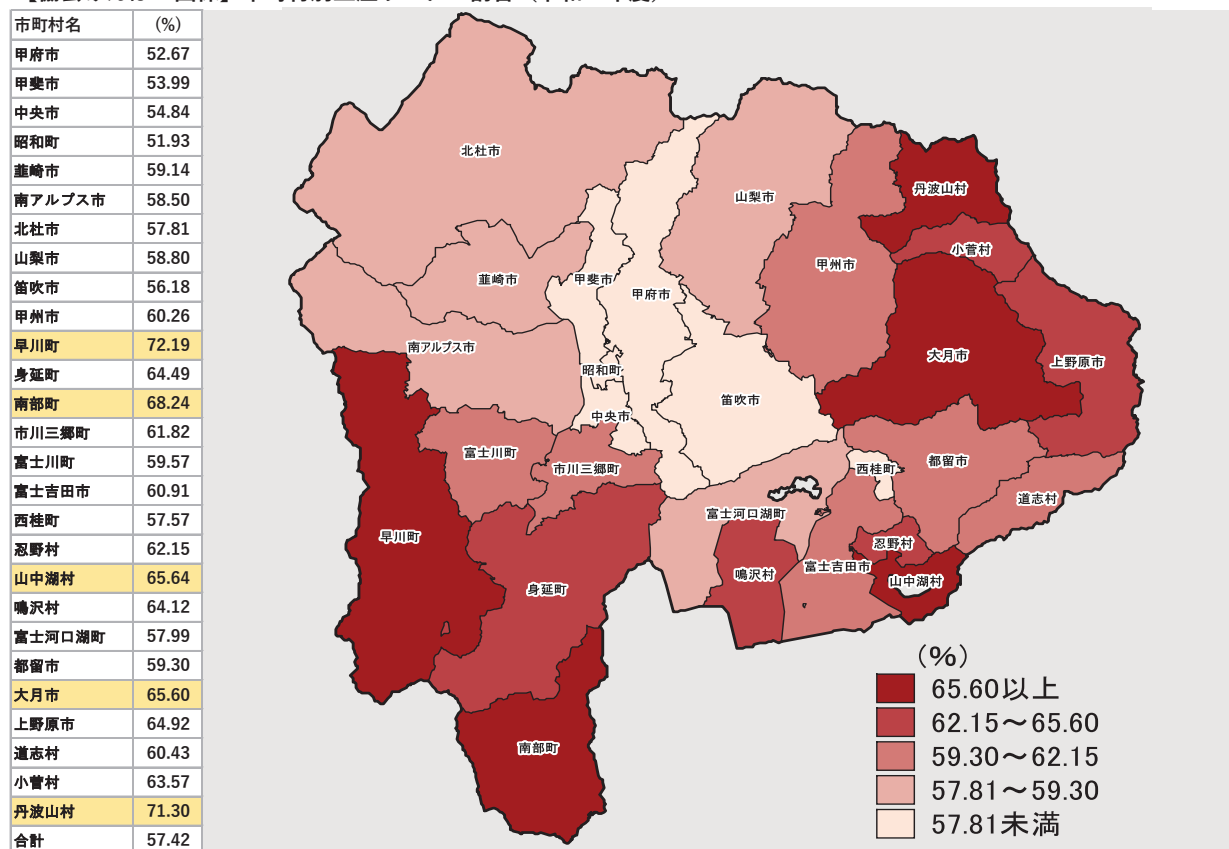
【協会けんぽ】市町村別血圧リスクの割合（令和4年度）



【国保】市町村別血圧リスクの割合（令和4年度）



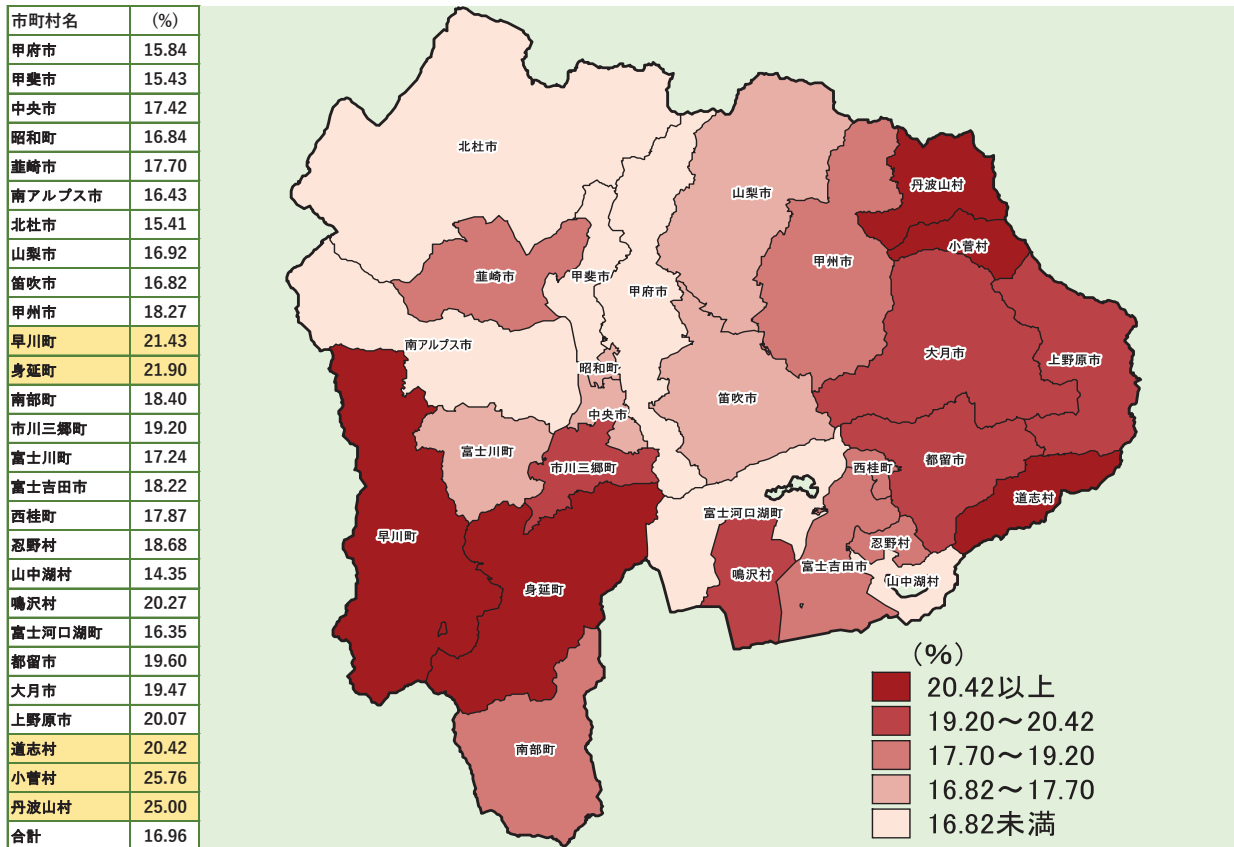
【協会けんぽ+国保】市町村別血圧リスクの割合（令和4年度）



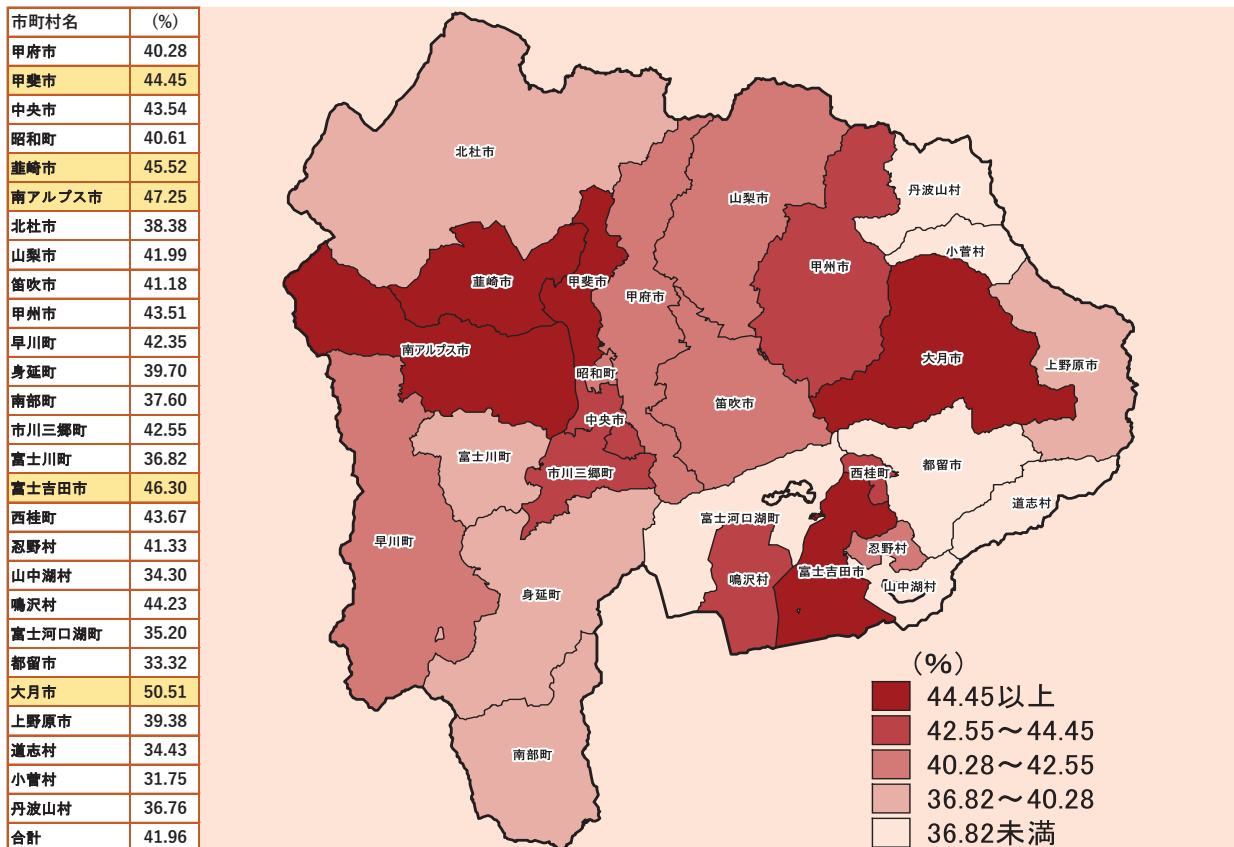
市町村別の血圧リスク割合をみると、協会けんぽでは、早川町、鳴沢村、丹波山村、上野原市、南部町の順に高く、国保では、早川町、丹波山村、南部町、大月市、山中湖村の順に高い。血圧リスク割合の高い市町村、低い市町村は、協会けんぽ、国保でほぼ同じで、割合が高い市町村は、富士・東部地域、峡南地域にやや多くみられる。

(4) 血糖リスク

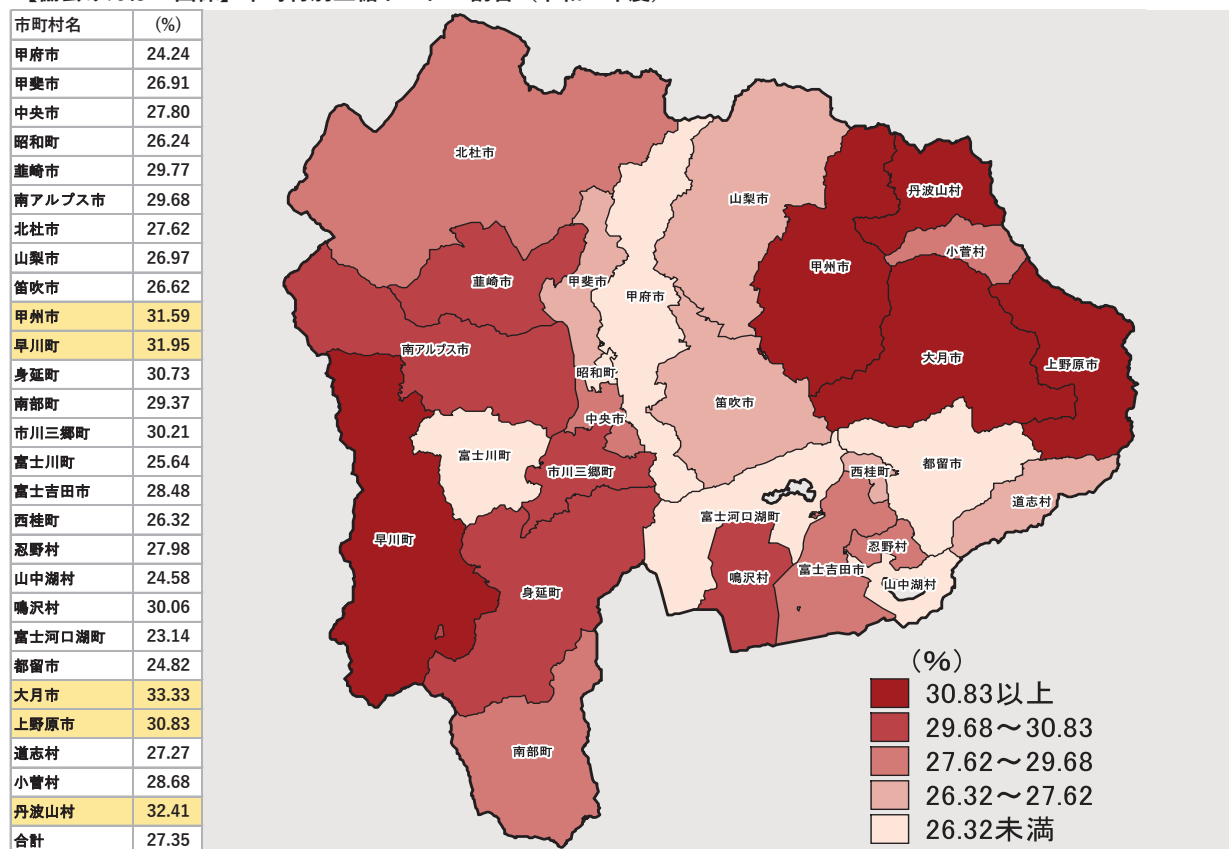
【協会けんぽ】市町村別血糖リスクの割合（令和4年度）



【国保】市町村別血糖リスクの割合（令和4年度）



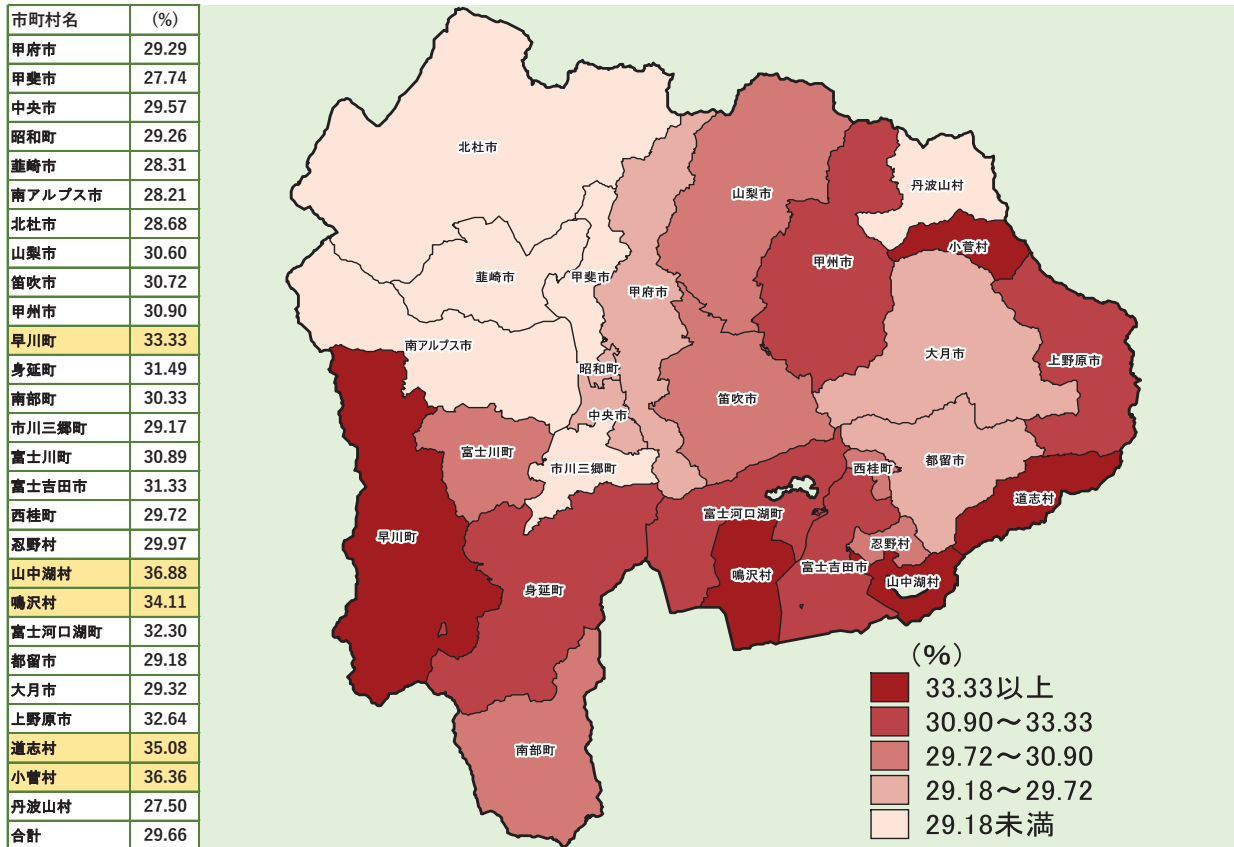
【協会けんぽ+国保】市町村別血糖リスクの割合（令和4年度）



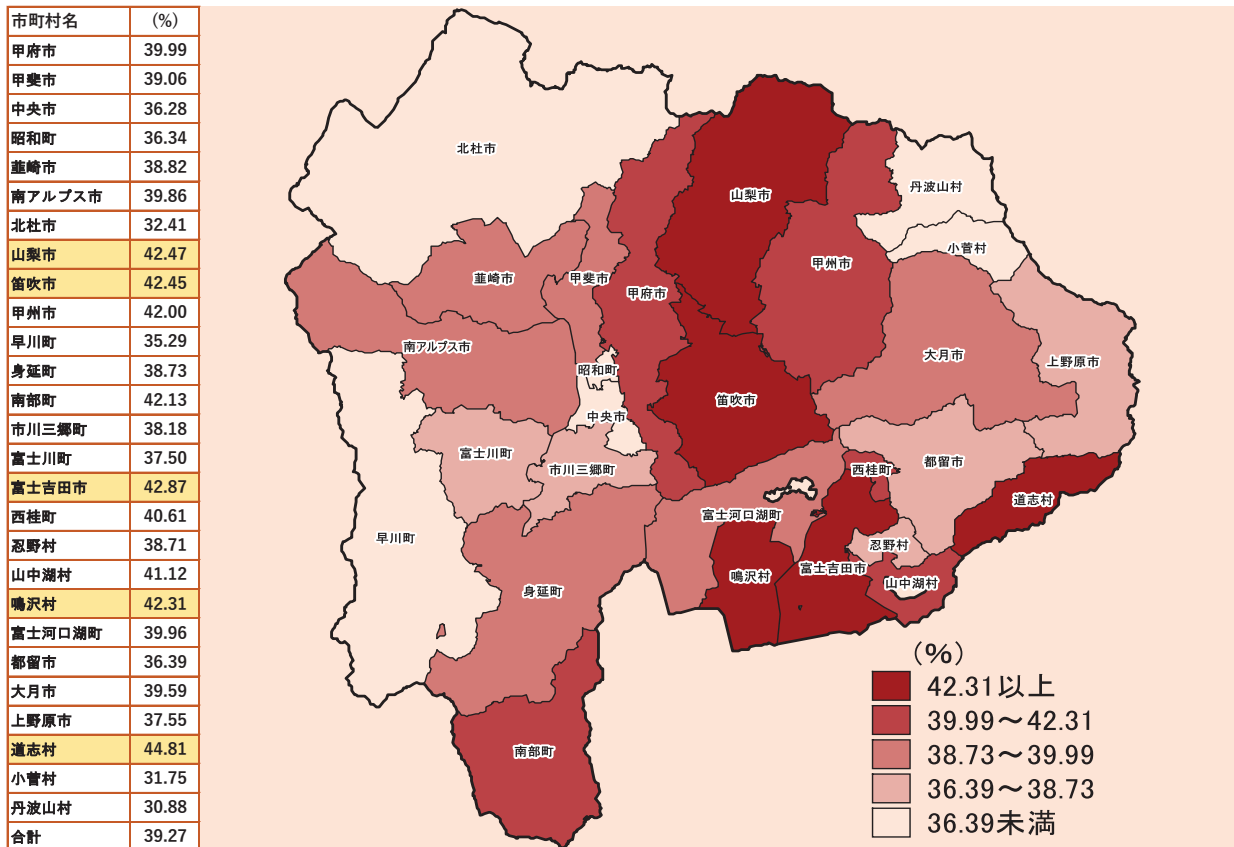
市町村別の血糖リスク割合をみると、協会けんぽでは、小菅村、丹波山村、身延町、早川町、道志村の順に高く、国保では、大月市、南アルプス市、富士吉田市、韮崎市、甲斐市の順に高い。血糖リスク割合の高い市町村が、協会けんぽでは富士・東部地域、峡南地域に多く、国保では中北地域、富士・東部地域に多い。

(5) 脂質リスク

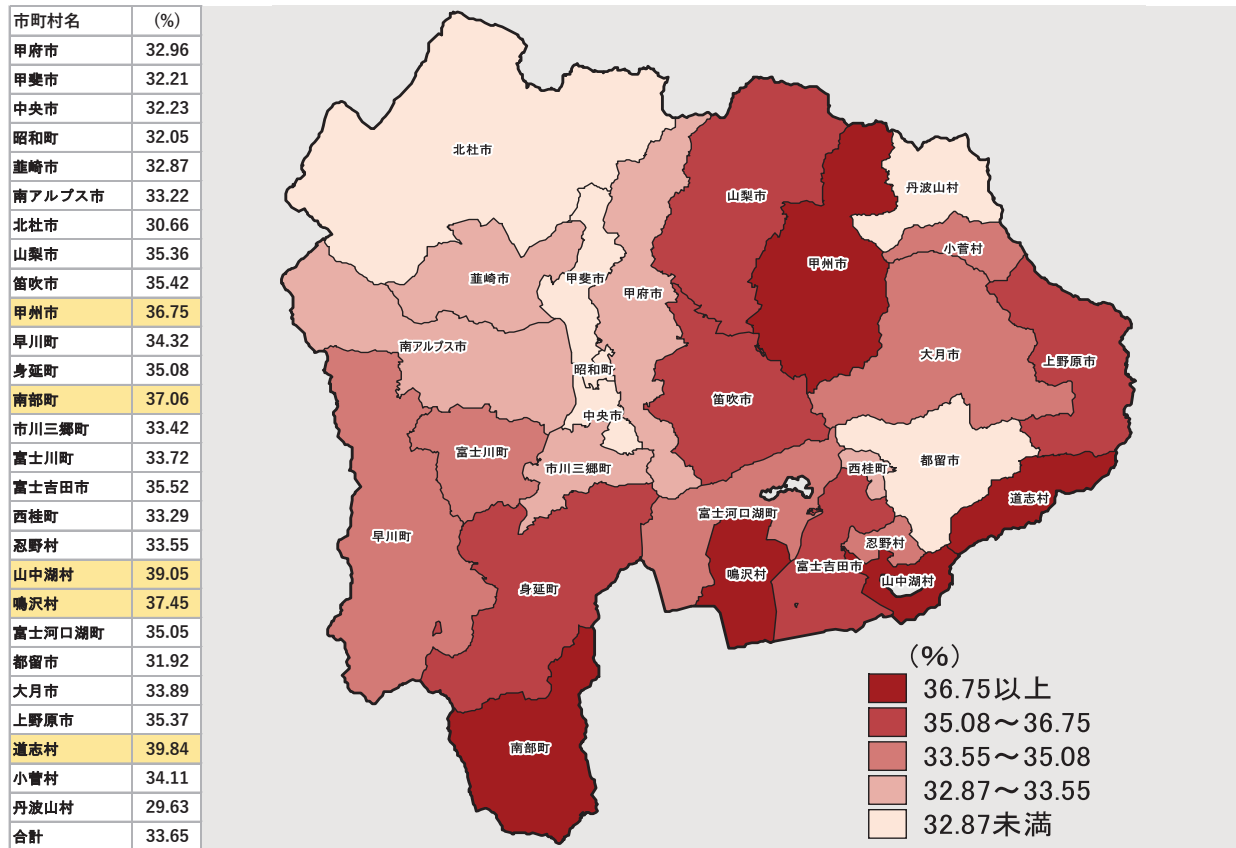
【協会けんぽ】市町村別脂質リスクの割合（令和4年度）



【国保】市町村別脂質リスクの割合（令和4年度）



【協会けんぽ+国保】市町村別脂質リスクの割合（令和4年度）

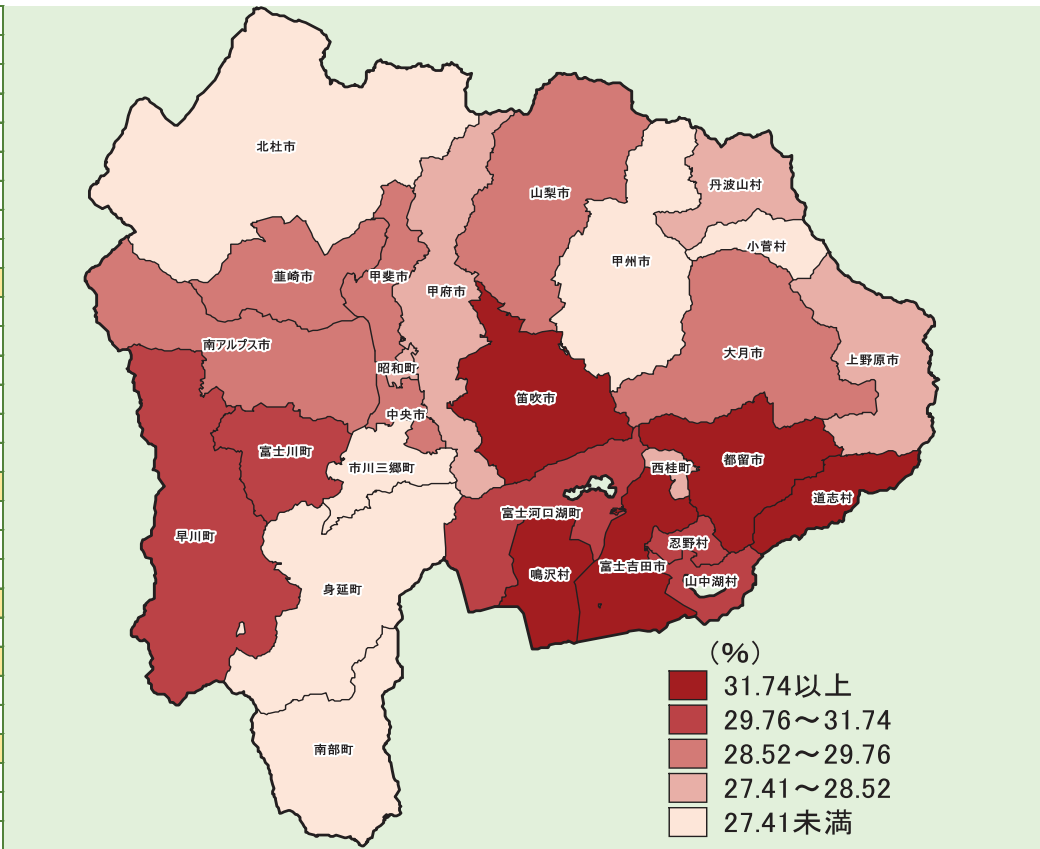


市町村別の脂質リスク割合をみると、協会けんぽでは、山中湖村、小菅村、道志村、鳴沢村、早川町の順に高く、国保では、道志村、富士吉田市、山梨市、笛吹市、鳴沢村の順に高い。脂質リスク割合の高い市町村は、富士・東部地域に多く、峡東地域もやや多い。

(6) 喫煙

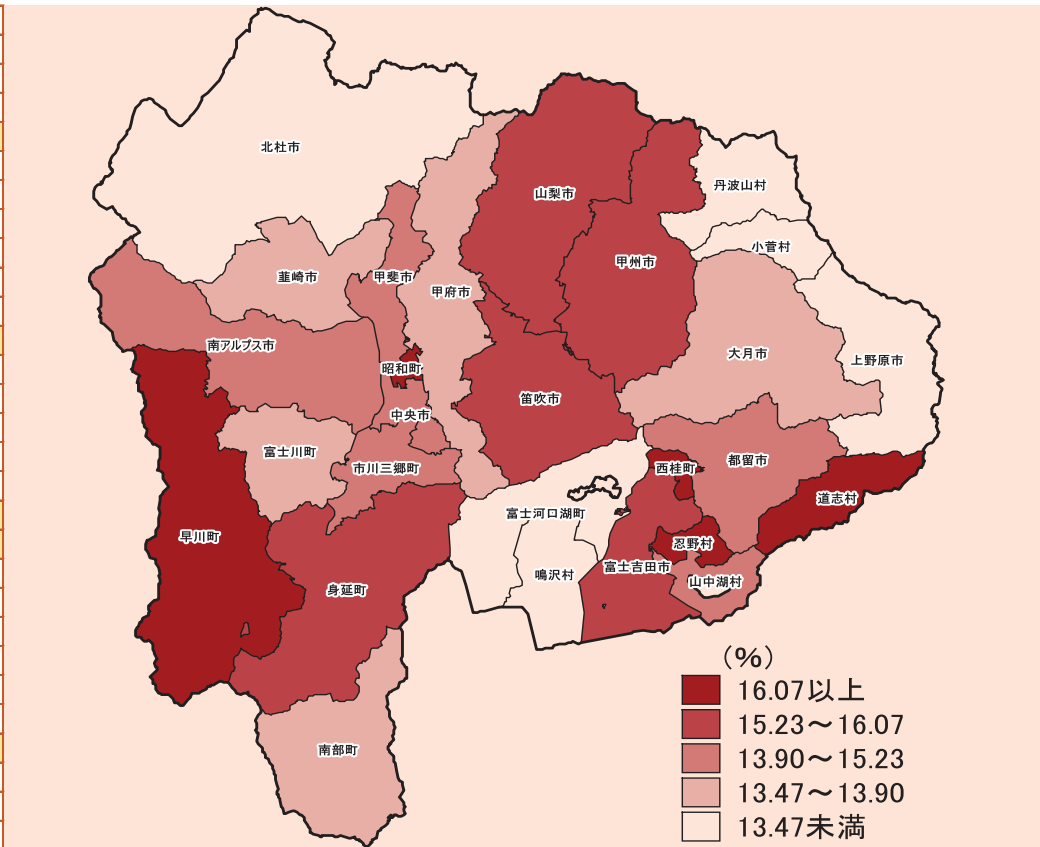
【協会けんぽ】市町村別喫煙ありの割合（令和4年度）

市町村名	(%)
甲府市	28.40
甲斐市	29.67
中央市	29.34
昭和町	27.41
韭崎市	29.28
南アルプス市	29.51
北杜市	26.13
山梨市	28.52
笛吹市	31.74
甲州市	26.57
早川町	29.76
身延町	26.82
南部町	26.43
市川三郷町	26.80
富士川町	31.34
富士吉田市	31.78
西桂町	28.03
忍野村	31.37
山中湖村	31.60
鳴沢村	31.79
富士河口湖町	30.83
都留市	32.95
大月市	28.92
上野原市	28.48
道志村	32.98
小菅村	25.76
丹波山村	27.50
合計	29.32

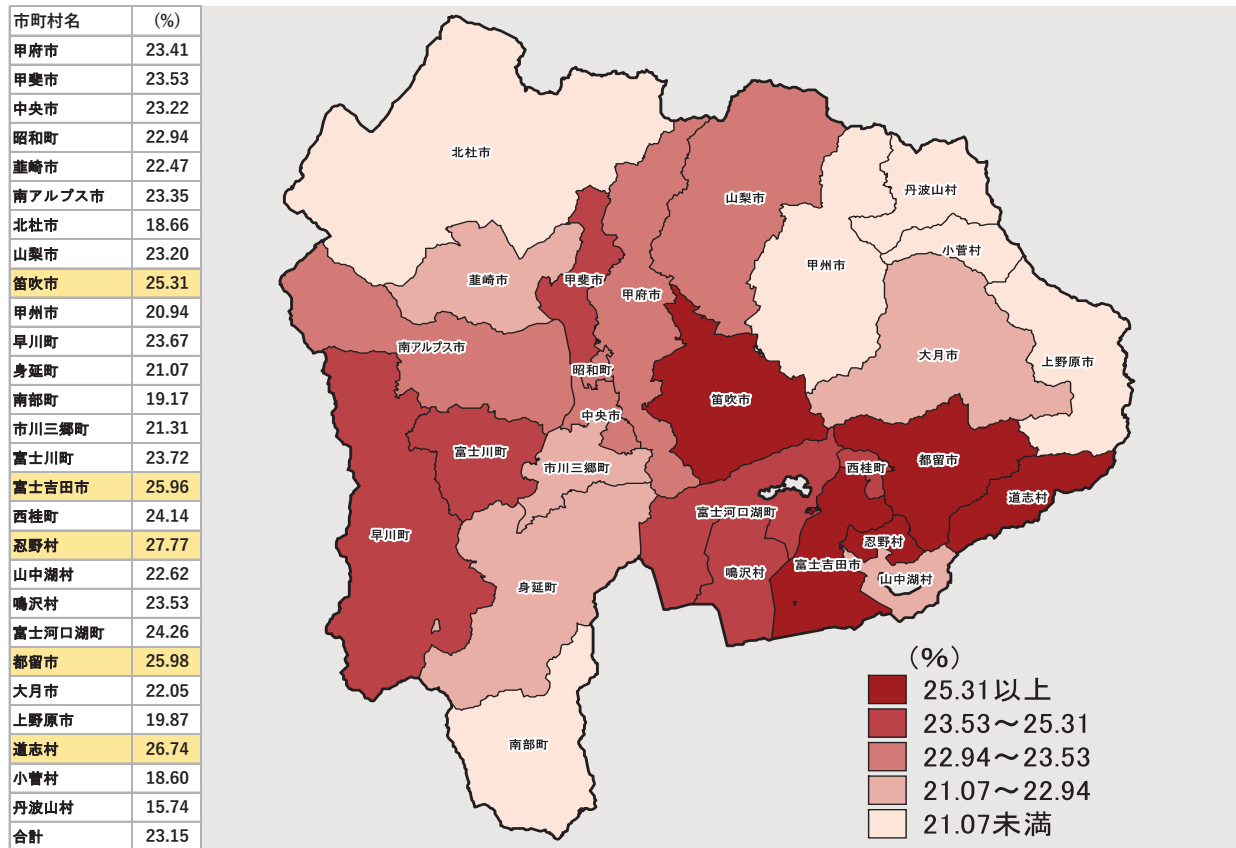


【国保】市町村別喫煙ありの割合（令和4年度）

市町村名	(%)
甲府市	13.87
甲斐市	14.14
中央市	13.90
昭和町	16.07
韭崎市	13.58
南アルプス市	15.17
北杜市	12.06
山梨市	15.25
笛吹市	15.70
甲州市	15.89
早川町	17.65
身延町	15.23
南部町	13.70
市川三郷町	15.16
富士川町	13.55
富士吉田市	15.77
西桂町	16.16
忍野村	22.58
山中湖村	14.05
鳴沢村	11.54
富士河口湖町	12.52
都留市	14.61
大月市	13.47
上野原市	12.99
道志村	20.22
小菅村	11.11
丹波山村	8.82
合計	14.45



【協会けんぽ+国保】市町村別喫煙ありの割合（令和4年度）



市町村別の喫煙割合をみると、協会けんぽでは、道志村、都留市、鳴沢村、富士吉田市、早川町の順に高く、国保では、忍野村、道志村、早川町、西桂町、笛吹市の順に高い。喫煙割合の高い市町村は、富士・東部地域に多い。

◆まとめ

1 医療費統計（協会けんぽ・国保・後期高齢者）

- 加入者の総数は、約59万人で県人口の約74%を占め、制度加入者の割合は、協会けんぽが46.8%、国保が30%、後期高齢者が23.1%。
- 医療機関への受診率は、後期高齢者が全体的に高い。協会けんぽ及び国保は0～4歳で高く、徐々に下がり20～24歳で最も低い。その後、年齢に伴い上がり、協会けんぽは70～74歳で、国保は65～69歳で最も高い。
- 1人当たり医療費（年額）は、後期高齢者756,000円、国保309,000円、協会けんぽ197,000円の順に高く、後期高齢者は国保の約2.5倍、協会けんぽの約3.8倍になっている。
- 疾病別医療費割合、1人当たり医療費ともに、後期高齢者では①循環器系の疾患、②筋骨格系及び結合組織の疾患、③新生物の順に高く、国保では①新生物、②循環器系の疾患、③筋骨格系及び結合組織の疾患と腎尿路生殖器系の疾患の順に高い。また、協会けんぽでは①新生物、②循環器系の疾患、③呼吸器系の疾患の順に高い。
- 協会けんぽ、国保、後期高齢者を合計した医療費を市町村別疾病別にみると、第1位は23市町村が循環器系の疾患で、第2位は20市町村で新生物、第3位は20市町村で筋骨格系及び結合組織の疾患であった。

2 特定健康診査（協会けんぽ・国保）

- 特定健診の令和4年度の受診率は、協会けんぽ63.9%、国保46.9%で、新型コロナウイルス感染症流行の影響もあり、令和2年度に減少したが、協会けんぽ、国保ともに新型コロナウイルス感染症流行以前の受診率を上回っている。
- 国保の特定健診受診率は、40～44歳が最も低く、年齢が上がるとともに高くなり、65～69歳が最も高い。
- メタボリックシンドローム該当者・予備軍は、全ての年齢階層で国保に比べて協会けんぽの割合がやや高い。特に、50歳以上の男性は協会けんぽ、国保ともに4割以上がメタボリックシンドローム該当者及び予備軍で、女性の約3～4倍高い。
- 肥満リスクは、60～64歳以下は協会けんぽに比べて国保の割合が高く、65～69歳以上は協会けんぽの割合がやや高い。男性は協会けんぽ、国保ともに5割前後に肥満リスクがあり、女性の約2～3倍高い。また、国保の女性は協会けんぽの女性に比べて全ての年齢階層で肥満リスク割合が高い。
- 血圧リスクは、協会けんぽ、国保ともに全ての年齢階層で女性に比べて男性のリスク割合が高い。また、男女ともに国保より協会けんぽが高く、特に、若い世代の40歳代で男性の4～5割、女性の2～3割に血圧リスクがある。
- 血糖リスクは、協会けんぽ、国保ともに全ての年齢階層で女性に比べて男性の血糖リスク割合が高い。また、国保は協会けんぽに比べて全ての年齢階層で血糖リスク割合が高く、男性は約2倍、女性は約3倍高い。

- 脂質リスク割合をみると、国保は協会けんぽに比べてやや高い。また、協会けんぽ、国保ともに女性より男性が高く、特に、40歳代男性では女性の約3倍以上脂質リスク割合が高い。
- 喫煙ありの割合をみると、男性は女性の約3倍高く、40歳代男性は、協会けんぽでは45%以上、国保では36%以上が喫煙している。また、協会けんぽは国保より全ての年齢階層で男女ともに高く、国保の約2倍高い。
- メタボリックシンドローム該当者・予備軍割合の高い市町村は、富士・東部地域、峡南地域にやや多い。
- 肥満リスク割合が高い市町村は、富士・東部地域にやや多い。
- 血圧リスク割合の高い市町村、低い市町村は、協会けんぽ、国保でほぼ同じで、割合が高い市町村は、富士・東部地域、峡南地域にやや多い。
- 血糖リスク割合の高い市町村が、協会けんぽでは富士・東部地域、峡南地域に多く、国保では中北地域、富士・東部地域に多い。
- 脂質リスク割合の高い市町村は、富士・東部地域に多く、峡東地域もやや多い。
- 喫煙割合の高い市町村は、富士・東部地域に多い。

3 保険者を横断的にみた健康課題

- 1人当たり医療費は、後期高齢者医療が国保の約2.5倍、協会けんぽの約3.8倍高い。
- 医療費割合が高い疾患は、循環器疾患（高血圧症、心疾患、脳血管疾患等）新生物（がん等）、筋骨格系及び結合組織の疾患（関節疾患、骨粗しょう症等）、腎尿路生殖器系の疾患（腎炎、腎不全等）、内分泌、栄養及び代謝疾患（糖尿病、脂質異常症等）。
- 特定健診受診率は増加しているが、若い世代の受診率が低い。
- 肥満リスクは、国保が協会けんぽより高いが、メタボリックシンドローム該当者・予備軍は、協会けんぽがやや高い。特に、男性は約5割に肥満リスクがあり、約4割にメタボリックシンドロームがある。
- 血圧リスクは、協会けんぽが国保より男女ともに高く、男性が女性より高い。
- 血糖リスクは、国保が協会けんぽより男女ともに高く、男性が女性より高い。
- 脂質リスクは、協会けんぽ、国保ともに若い世代から男性が高い。
- 喫煙割合は、男性が女性の約3倍高く、協会けんぽが国保の約2倍高い。
- 市町村別の特定健診有所見者割合は、高齢者の割合が高い富士・東部地域、峡南地域が高い傾向にあるが、血糖リスクは国保の中北地域で高い。

KDBシステムに関する補足資料 疾病大・中・細小分類表 (1 / 2)

○ 医療費の分類の集計要件について
 大・中分類：社会保険表章用疾病分類 (※) に基づき集計しているものとなっています。
 細小分類：KDBシステム開発の際、国保中央会が生活習慣病を中心に年齢の変化 (加齢) に伴い着目する疾病を定義したものと なっています。

大分類	中分類	細小分類	大分類	中分類	細小分類
感染症及び寄生虫症	腸管感染症		神経系の疾患	パーキンソン病	パーキンソン病
	結核	肺結核、胸膜炎		アルツハイマー病	
	主として性的伝播様式をとる感染症			てんかん	
	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患			脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	
	ウイルス性肝炎	B型肝炎、C型肝炎		自律神経系の障害	
	その他のウイルス性疾患			その他の神経系の疾患	一過性脳虚血発作、睡眠時無呼吸症候群、パーキンソン病
	真菌症		眼及び付属器の疾患	結膜炎	
	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症			白内障	白内障
	その他の感染症及び寄生虫症	非定型 (非結核性) 抗酸菌症、ヘリコバクターヒドリ感染症		屈折及び調節の障害	
新生物 <腫瘍>	胃の悪性新生物 <腫瘍>	胃がん、(再) スキルス	その他の眼及び付属器の疾患	その他の眼及び付属器の疾患	緑内障、糖尿病網膜症
	結腸の悪性新生物 <腫瘍>	大腸がん	耳及び乳突突起の疾患	外耳炎	
	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物 <腫瘍>		その他の外耳疾患	その他の外耳疾患	
	肝及び肝内胆管の悪性新生物 <腫瘍>	肝がん	中耳炎	中耳炎	
	気管、気管支及び肺の悪性新生物 <腫瘍>	肺がん	その他の中耳及び乳突突起の疾患	その他の中耳及び乳突突起の疾患	
	乳房の悪性新生物 <腫瘍>	乳がん	メニール病	メニール病	
	子宮の悪性新生物 <腫瘍>	子宮頸がん、子宮体がん	その他の内耳疾患	その他の内耳疾患	
	悪性リンパ腫		難聴	難聴	
	白血病	白血病	循環器系の疾患	高血圧性疾患	高血圧症
	その他の悪性新生物 <腫瘍>	食道がん、喉頭がん、膀胱がん、骨がん、食道腫瘍、甲状腺がん、腎臓がん、膀胱がん、前立腺がん、卵巣腫瘍 (悪性)	虚血性心疾患	虚血性心疾患	狭心症、心筋梗塞
	良性新生物 <腫瘍> 及びその他新生物 <腫瘍>	子宮筋腫、卵巣腫瘍 (良性)	その他の心疾患	その他の心疾患	不整脈、心臓弁膜症、心房・心室中隔欠損症
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	貧血	貧血	くも膜下出血	くも膜下出血	
	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		脳内出血	脳内出血	
内分泌、栄養及び代謝疾患	甲状腺障害	甲状腺機能低下症、甲状腺機能亢進症	脳梗塞	脳梗塞	
	糖尿病	糖尿病	脳動脈硬化 (症)	脳動脈硬化 (症)	
	脂質異常症	脂質異常症	その他の脳血管疾患	その他の脳血管疾患	
	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	痛風、尿酸値血症	動脈硬化 (症)	動脈硬化 (症)	
精神及び行動の障害	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	低血圧 (症)	低血圧 (症)	
	精神作用物質使用による精神及び行動の障害		その他の循環器系の疾患	その他の循環器系の疾患	大動脈瘤、食道静脈瘤
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	急性鼻咽頭炎 (かぜ)	急性鼻咽頭炎 (かぜ)	
	気分 (感情) 障害 (躁うつ病を含む)	うつ病	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	
	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害		その他の急性上気道感染症	その他の急性上気道感染症	
	知的障害 (精神遅滞)		肺炎	肺炎	
	その他の精神及び行動の障害	認知症	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎及び急性細気管支炎	
			アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	
			慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	
			急性又は慢性と明示されない気管支炎	急性又は慢性と明示されない気管支炎	
			慢性閉塞性肺疾患	慢性閉塞性肺疾患	肺炎腫、慢性閉塞性肺疾患 (COPD)

(※) 「社会保険表章用疾病分類」とは
 世界保健機関 (WHO) により公表されている「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」(略称、国際疾病分類; ICD) に準じて定められたものであり、社会保険の分野で疾病統計を作成する際の統一基準として広く用いられている。

KDBシステムに関する補足資料 疾病大・中・細小分類表（2 / 2）

大分類	中分類	細小分類
呼吸器系の疾患	喘息	気管支喘息
	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ、間質性肺炎、気胸
消化器系の疾患	う蝕	
	歯肉炎及び歯周疾患	
	その他の歯及び歯の支持組織の障害	
	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍、十二指腸潰瘍
	胃炎及び十二指腸炎	
	痔核	
	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害
	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	
	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変
	その他の肝疾患	脂肪肝、肝硬変
	胆石症及び胆のう炎	胆石症
	脾疾患	慢性脾炎
	その他の消化器系の疾患	逆流性食道炎、虫垂炎、大腸ポリープ、腸閉塞、クローン病、潰瘍性腸炎、肝硬変
皮膚及び皮下組織の疾患	皮膚及び皮下組織の感染症	
	皮膚炎及び湿疹	
	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	
筋骨格系及び結合組織の疾患	炎症性多発性関節障害	痛風・高尿酸血症、関節疾患
	関節症	関節疾患
	脊椎障害（脊椎症を含む）	
	椎間板障害	
	頸胸症候群	
	腰痛症及び坐骨神経痛	関節疾患
	その他の脊柱障害	
	肩の障害	
	骨の密度及び構造の障害	骨粗しょう症
	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	
泌尿器系の疾患	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	腎炎・ネフローゼ
	腎不全	慢性腎臓病（透析なし）、慢性腎臓病（透析あり）
	尿路結石症	腎結石、尿路結石（尿管・膀胱）
	その他の泌尿器系の疾患	

大分類	中分類	細小分類
尿路器系の疾患	前立腺肥大（症）	前立腺肥大
	その他の男性生殖器の疾患	
	月経障害及び閉経周辺期障害	
	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	乳腺症
	妊娠、分娩及び産じょく	流産
	妊娠高血圧症候群	
	単胎自然分娩	
	その他の妊娠、分娩及び産じょく	
	妊娠及び胎児発育に関連する障害	
	その他の周産期に発生した病態	
	先天奇形、変形及び染色体異常	心臓の先天奇形
	その他の先天奇形、変形及び染色体異常	
	症状、徴候及び異常臨床所見、異常、検査所見で他に分類されないもの	症状、徴候及び異常臨床所見、異常、検査所見で他に分類されないもの
	骨折	骨折
	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	
	熱傷及び腐食	
	中毒	
	その他損傷及びその他外因の影響	
	重症急性呼吸器症候群（SARS）	
	その他の特殊目的用コード	
	傷病及び死亡の外因	傷病及び死亡の外因
	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	検査及び診査のための保健サービスの利用者
	予防接種	
	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	
	歯の補綴	
	特定の処置（歯の補綴を除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	
	その他の理由による保健サービスの利用者	
	廃止傷病	廃止傷病